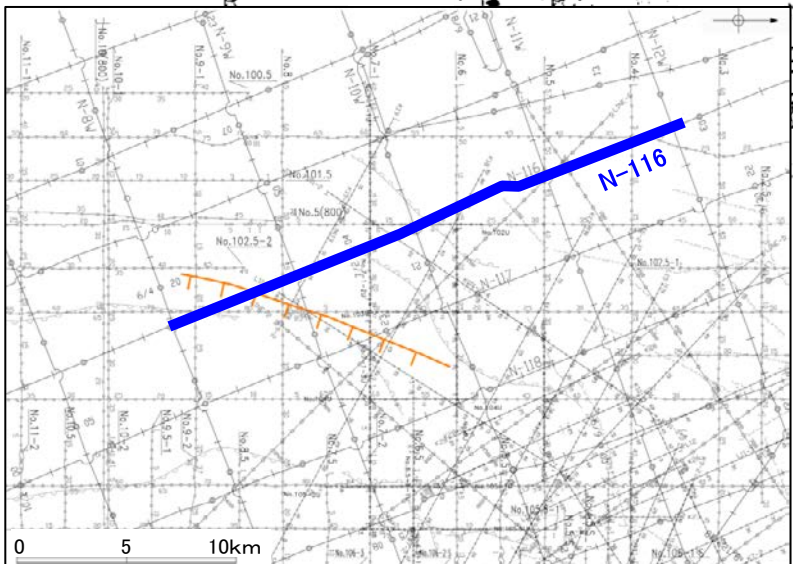
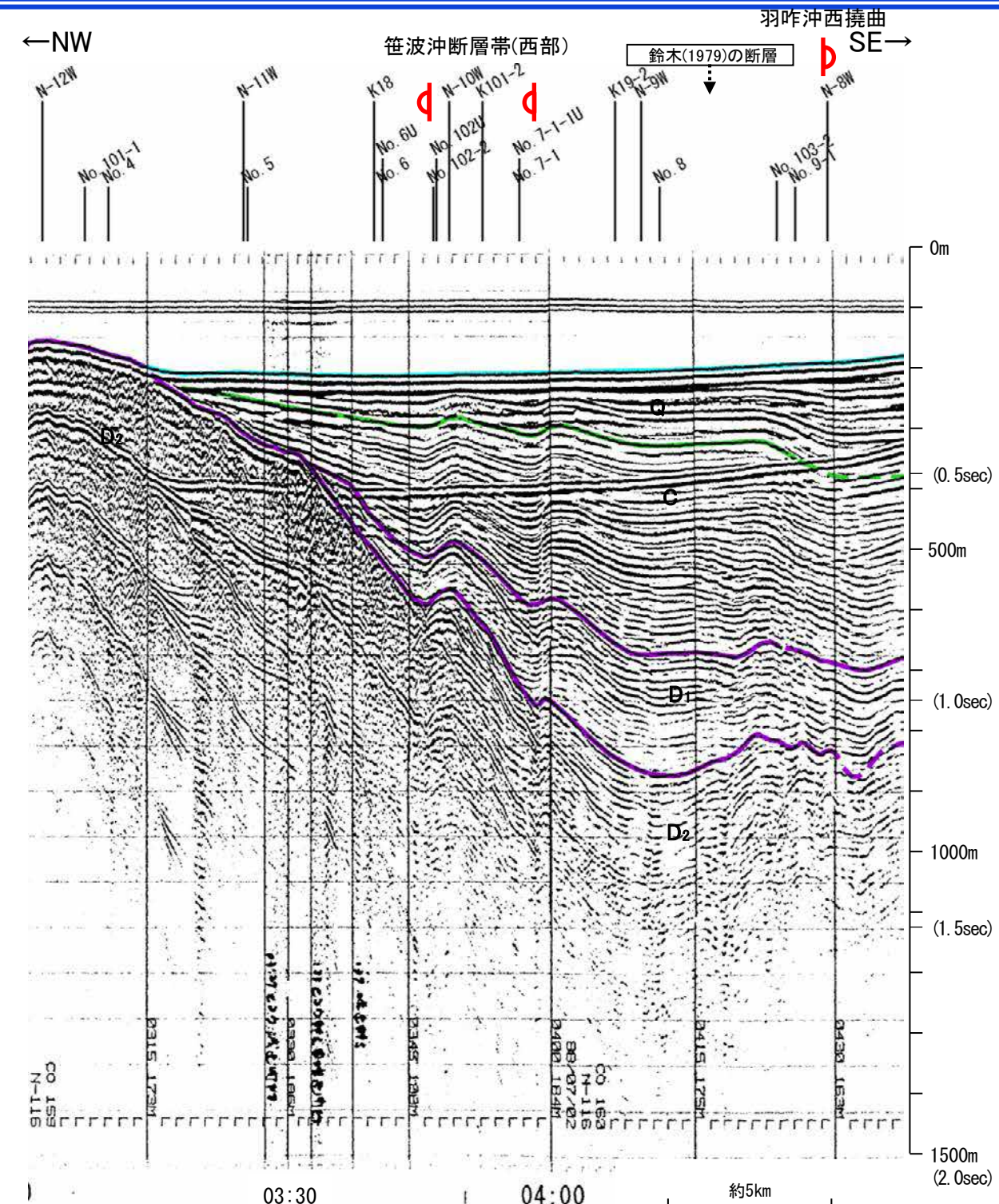
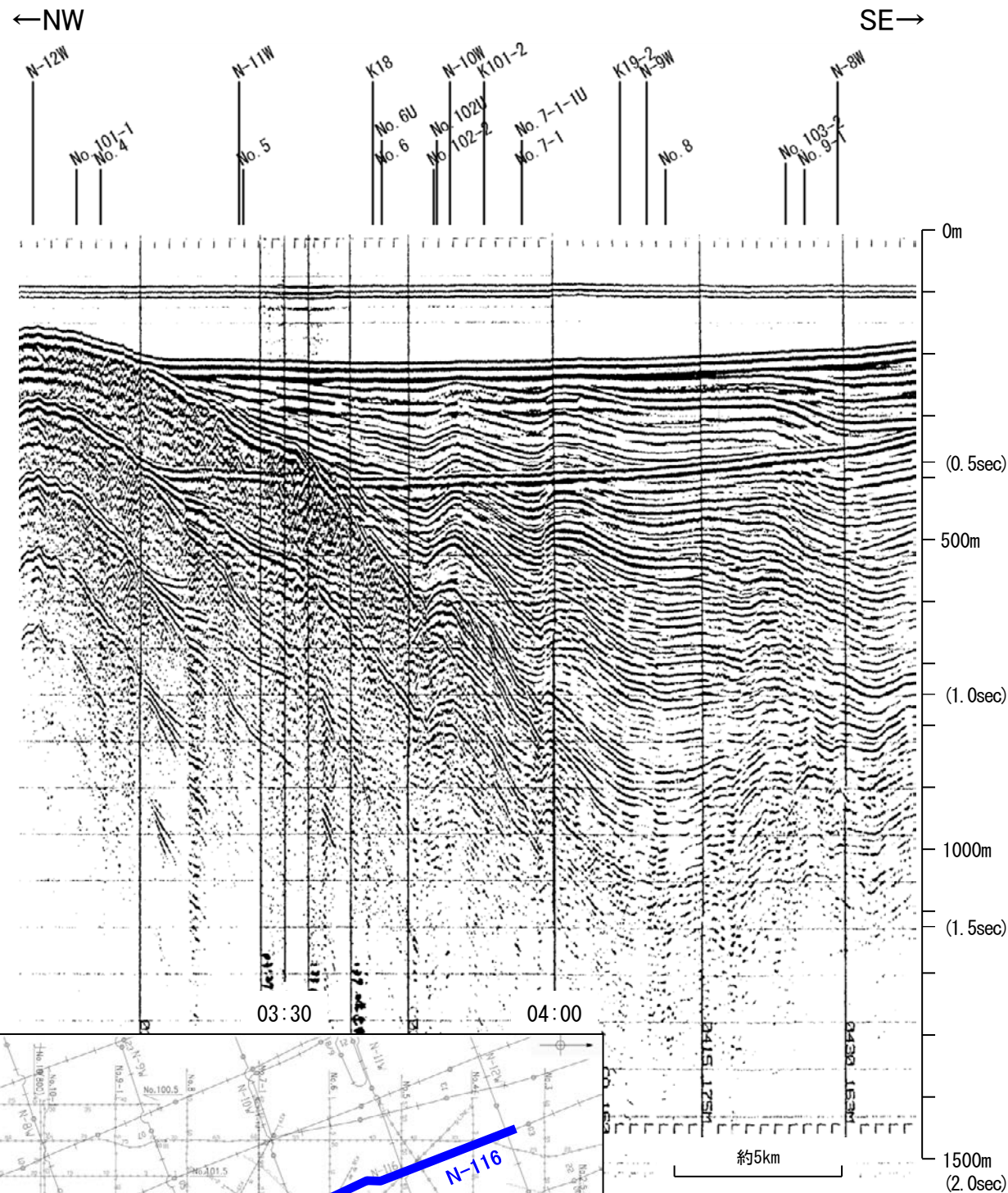


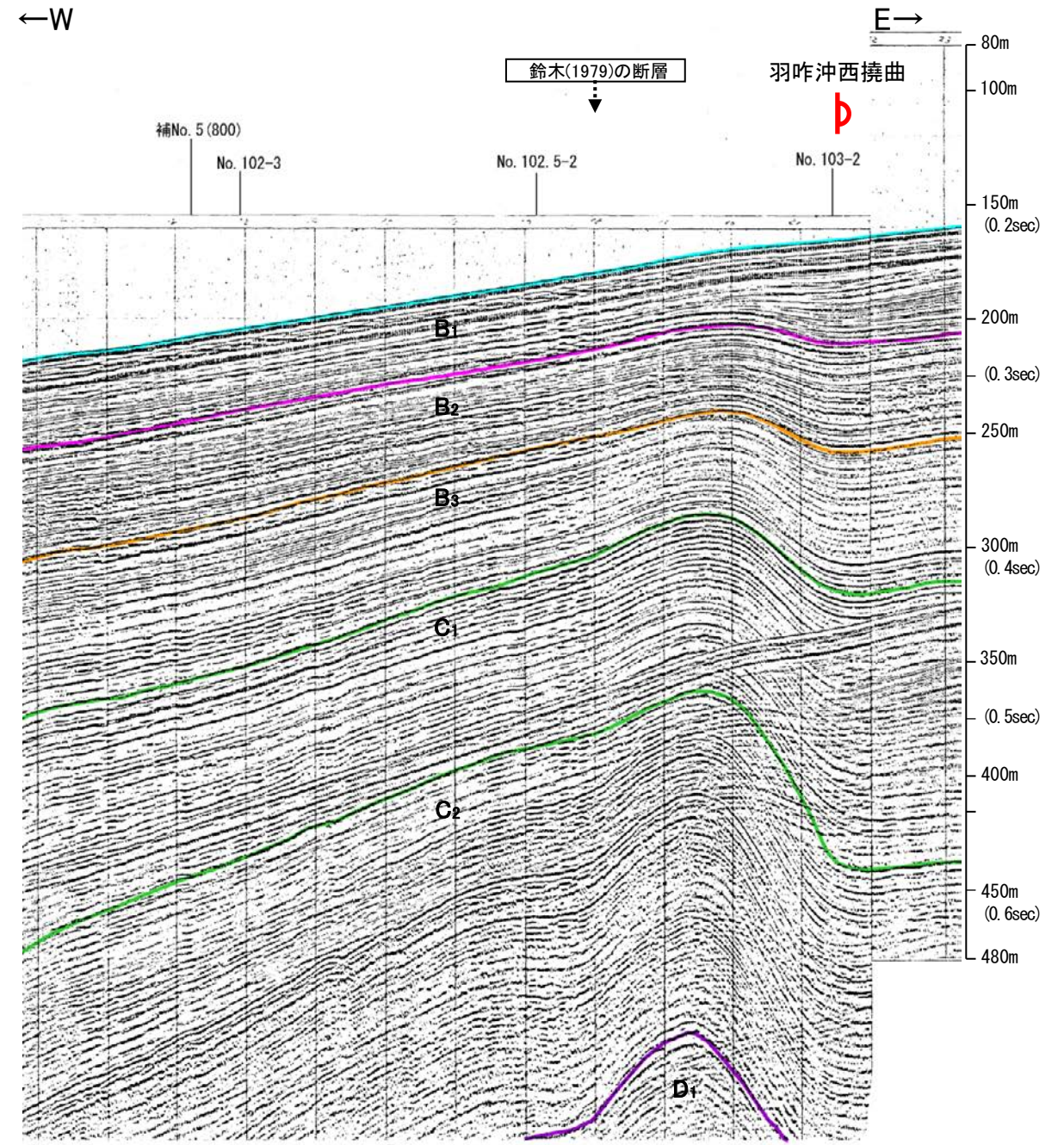
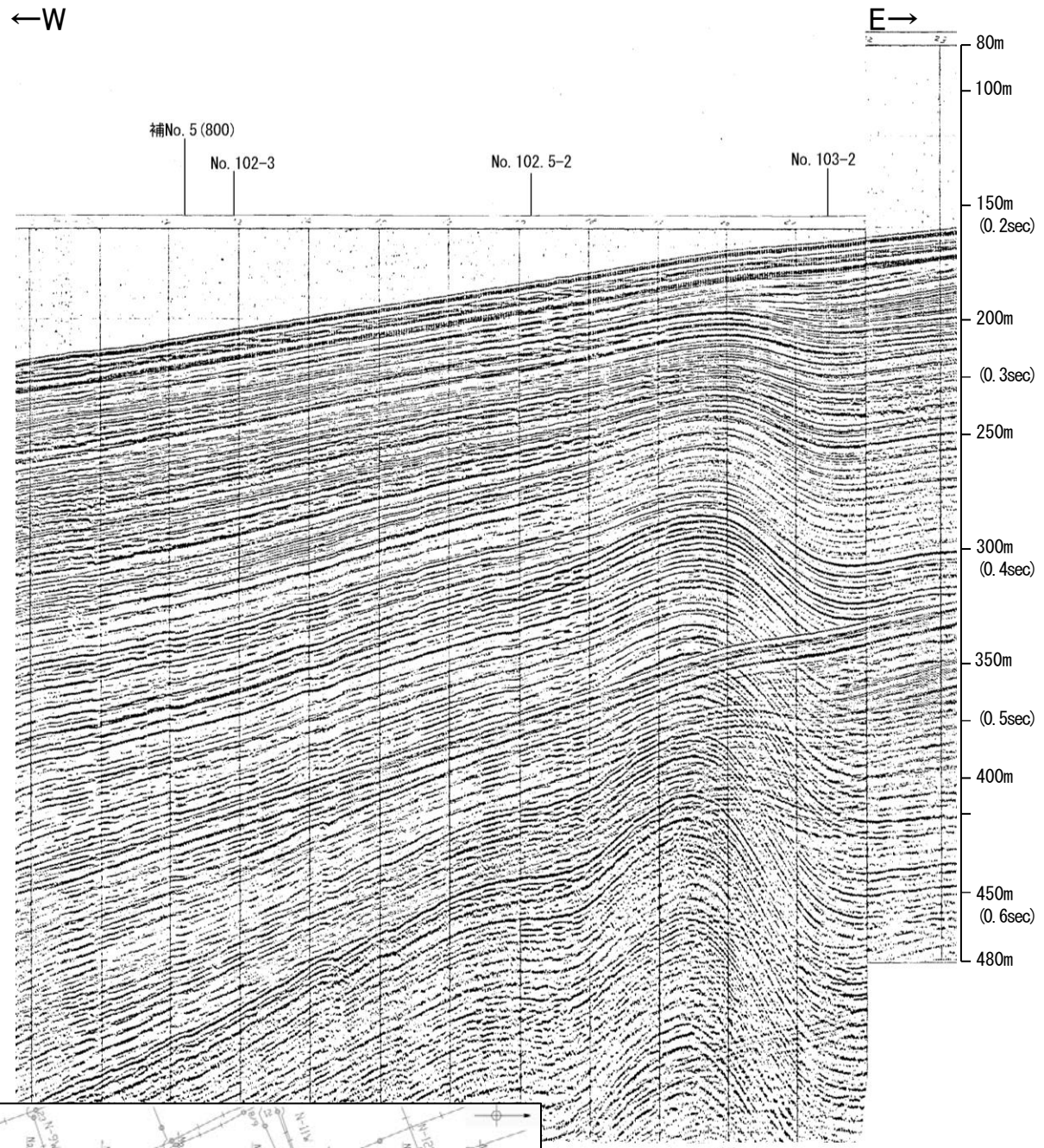
地質調査所エアガン N-116



地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	A層
	中世	Q層	B層
		B層	B層
		B層	B層
前期	C層	C層	
第三紀	鮮新世	C層	C層
	中新世	D層	D層
古第三紀		D層	D層
先第三紀		D層	D層

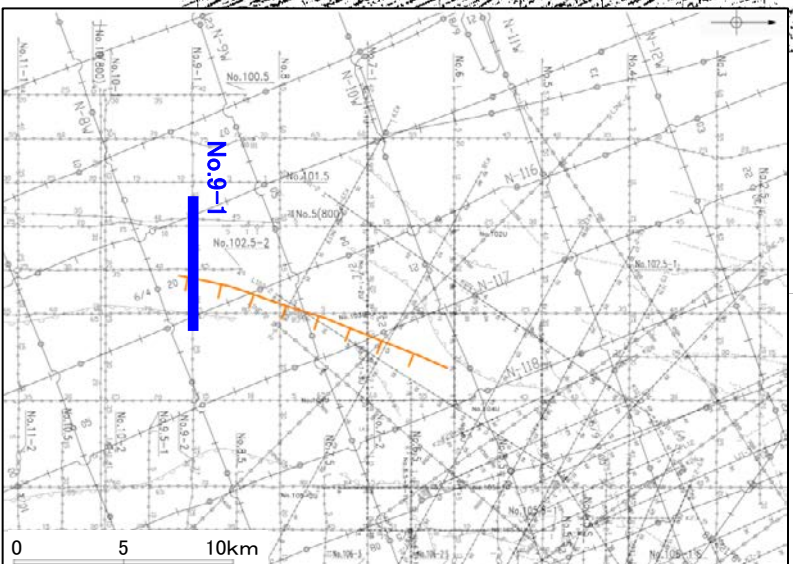
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.9-1



約1km

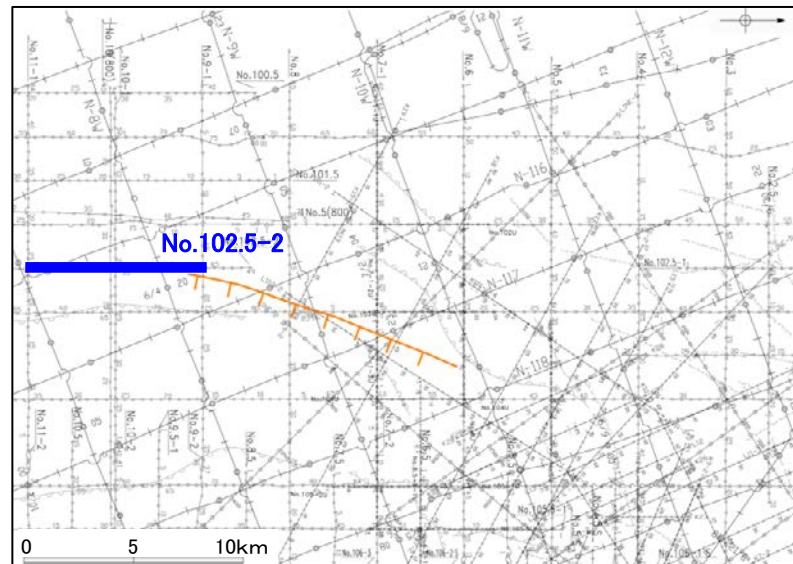
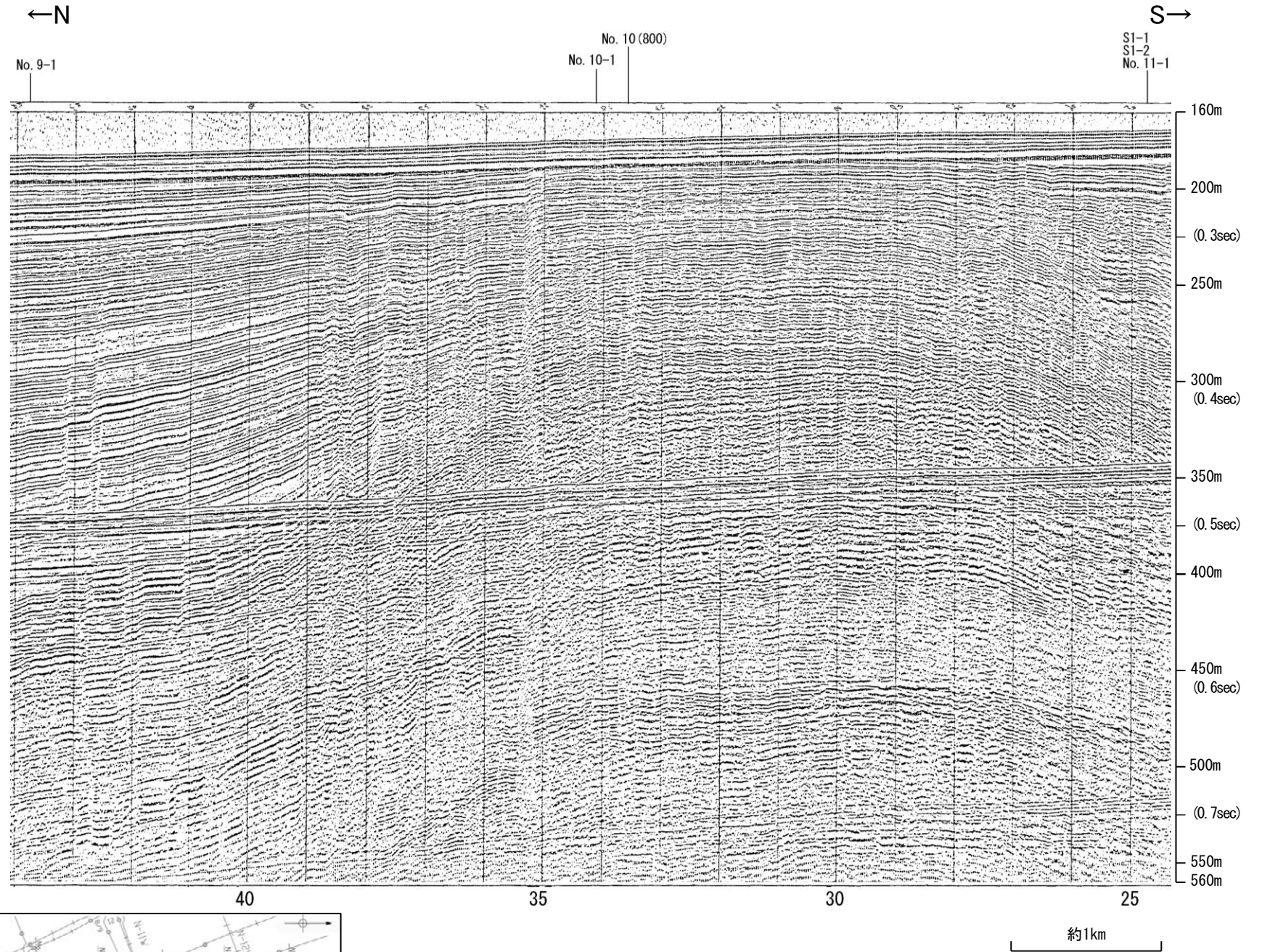
約1km



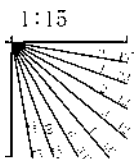
地質時代	地層名
第四紀 更新世	完新世 A層
	後期 B層
	中期 B層
	前期 C層
	鮮新世 C層
	中新世 D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層

1:15

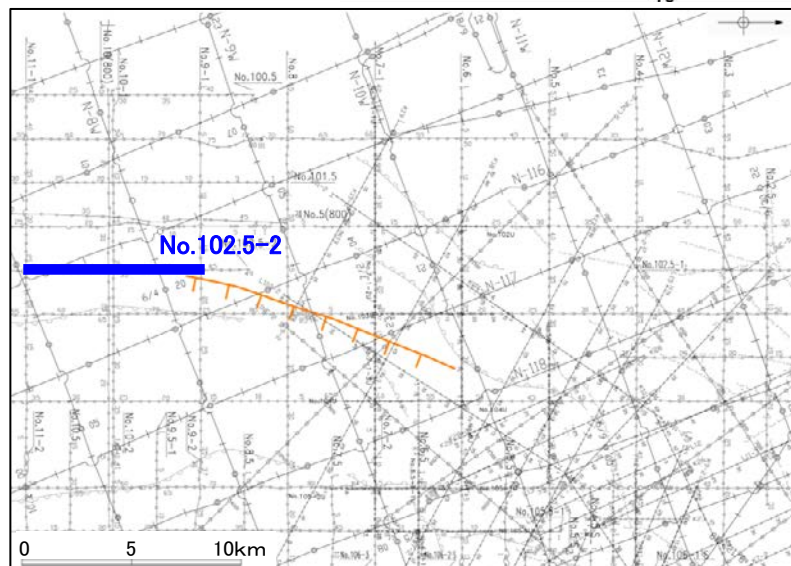
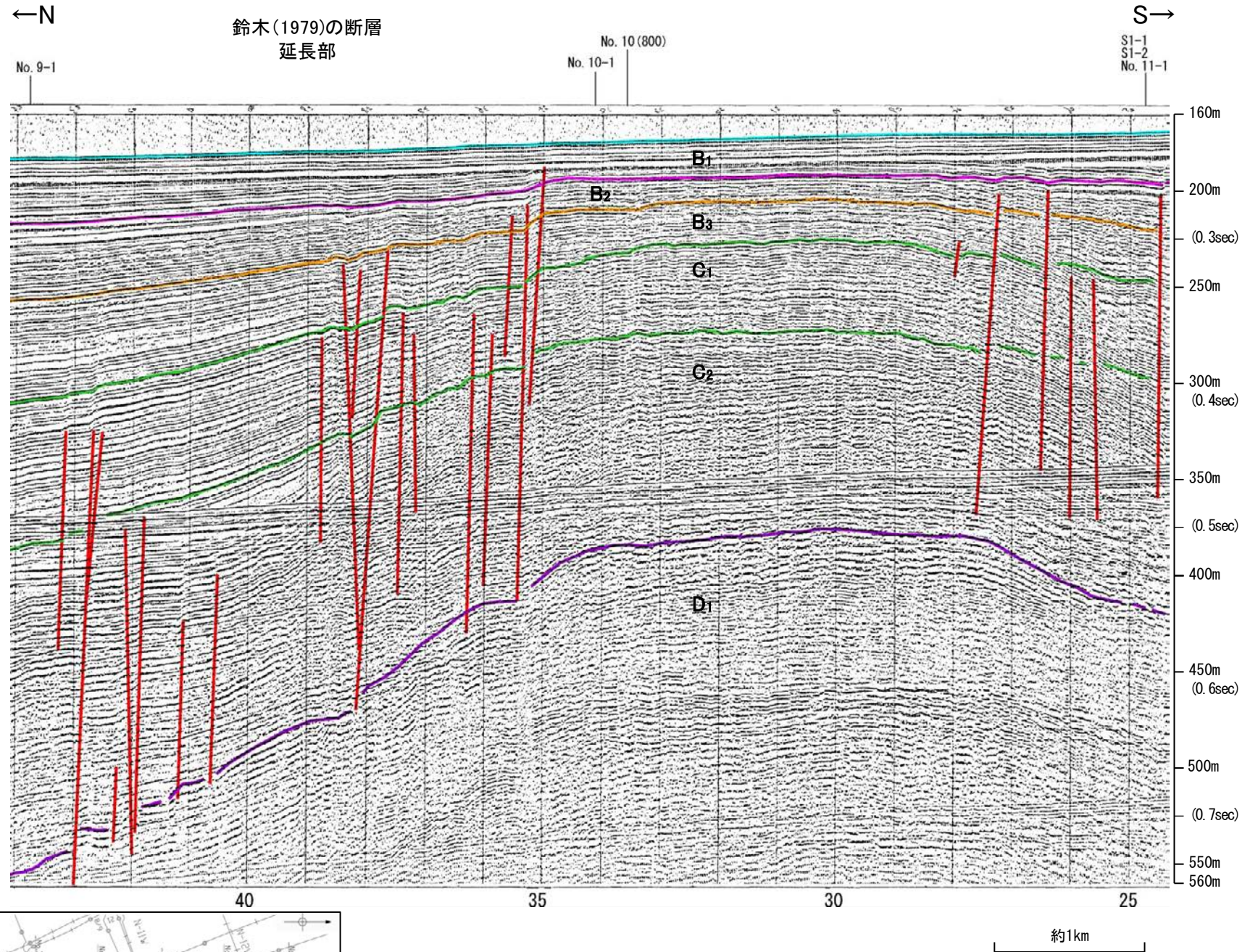
北陸電カスパーカー No.102.5-2



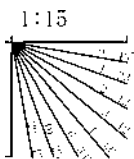
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
		前期	B ₂ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀		D層	



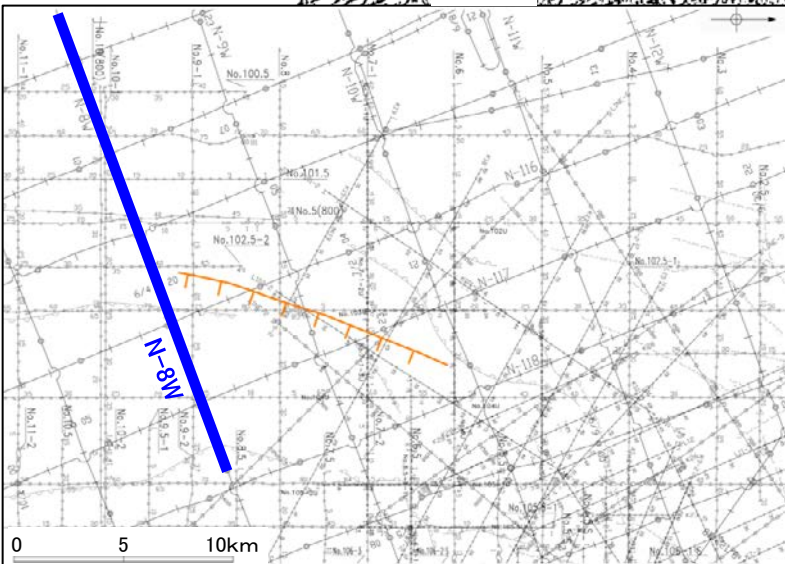
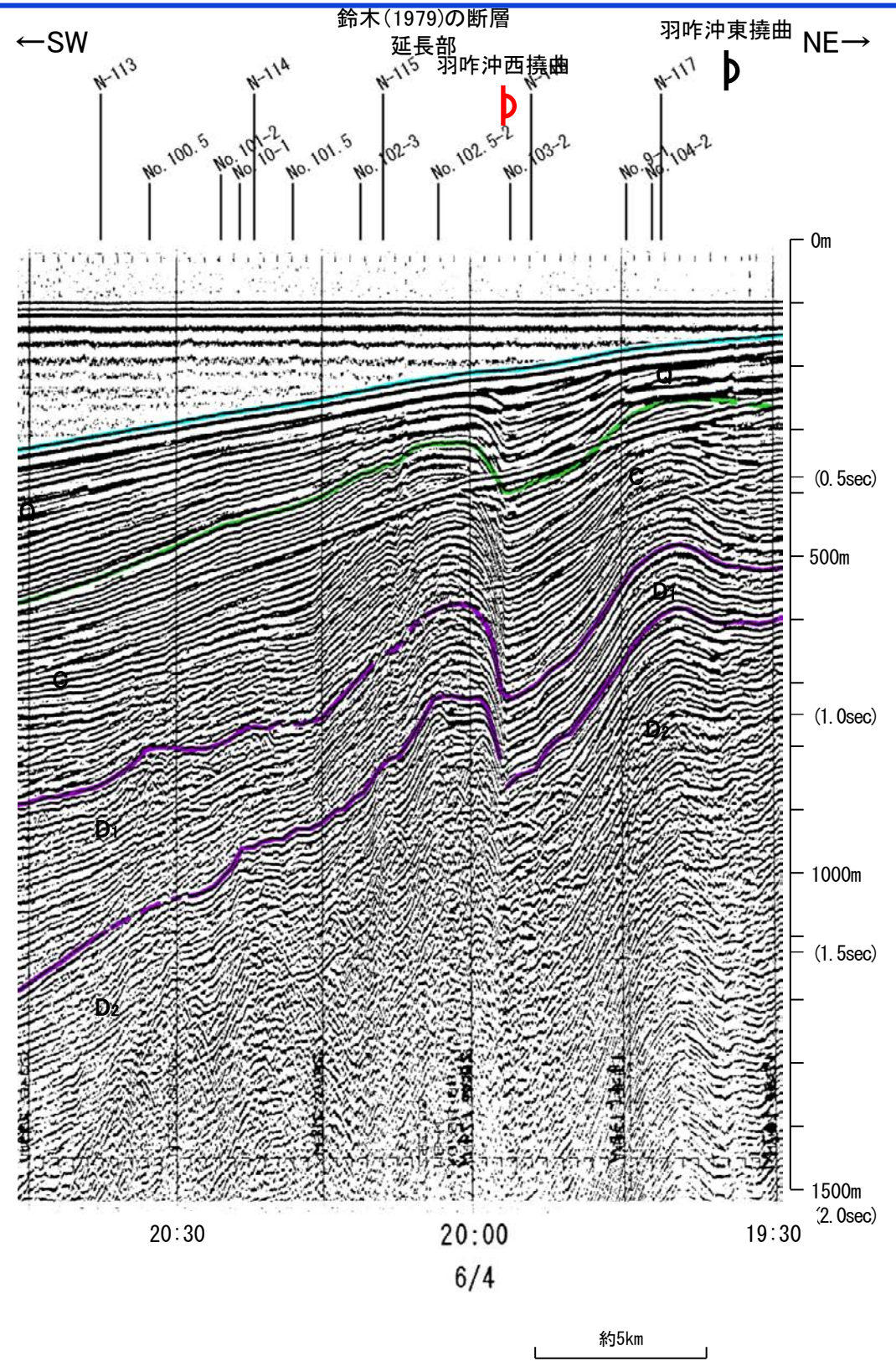
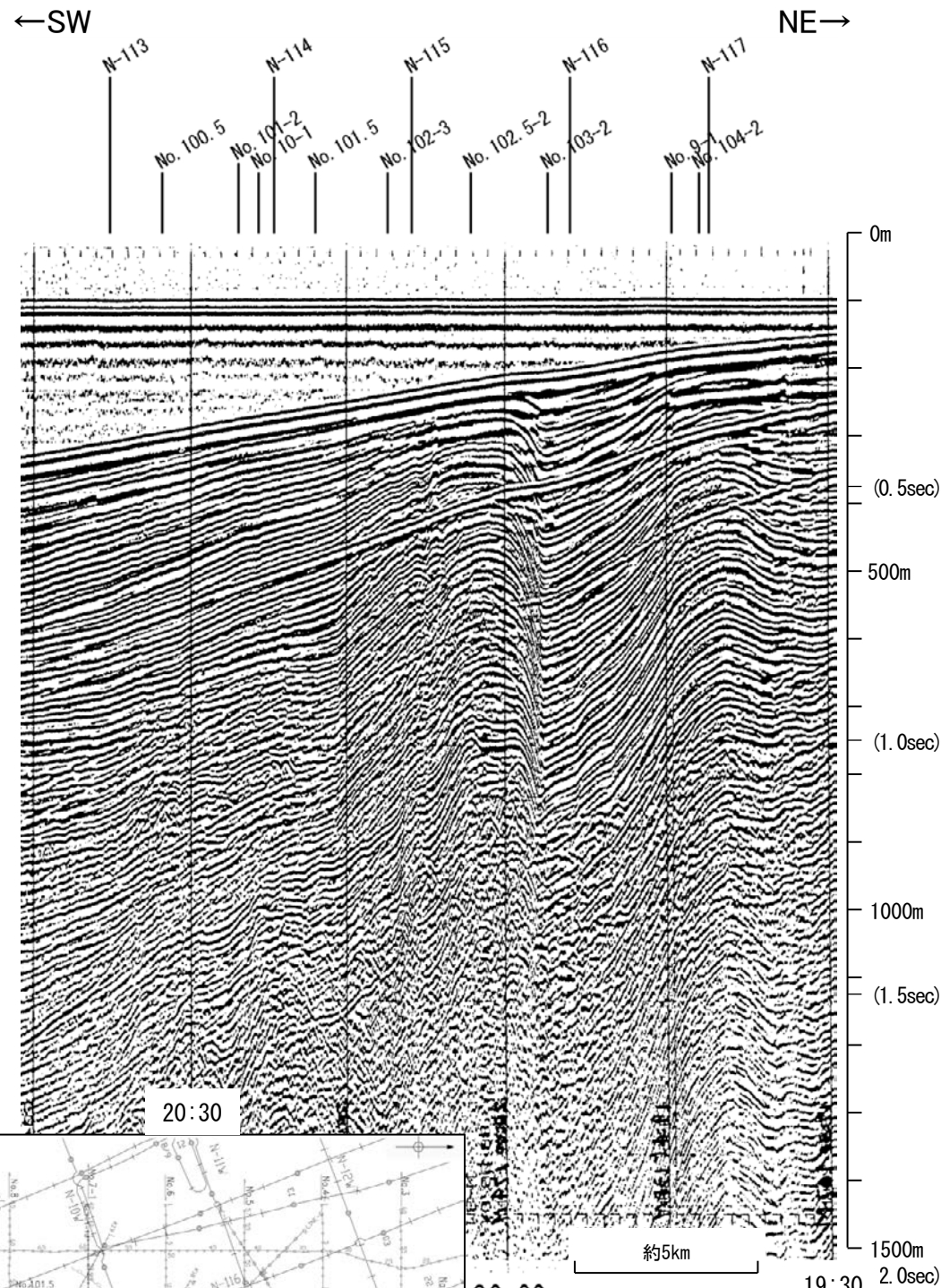
北陸電カスパーカー No.102.5-2



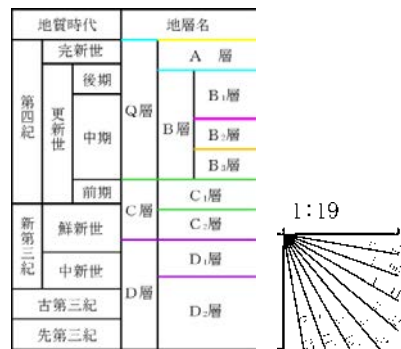
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層 B ₃ 層
		前期	C ₁ 層
	鮮新世	C ₂ 層	
新第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀			



地質調査所エアガン N-8W

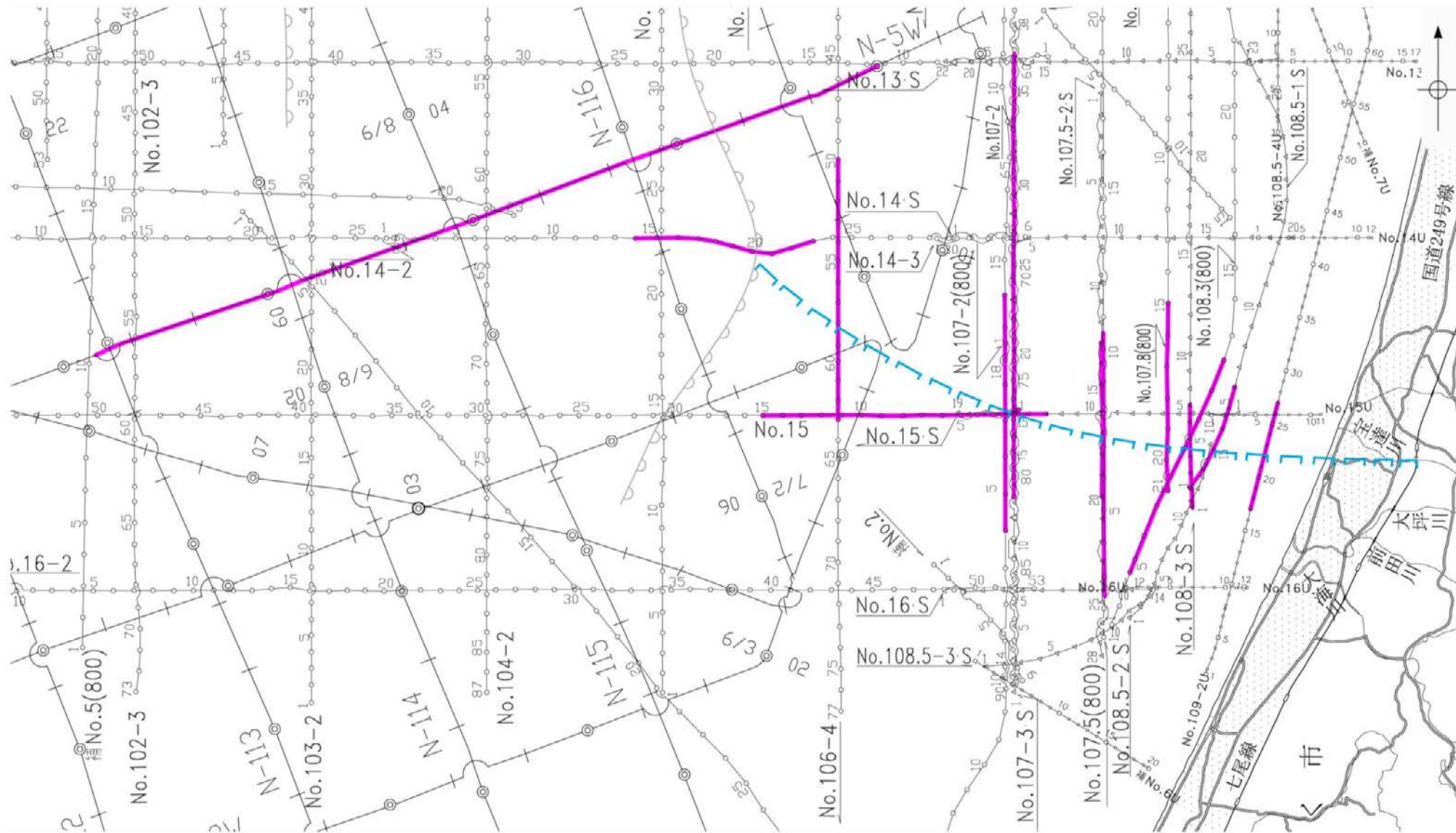


20:00
6/4



田中(1979)の断層

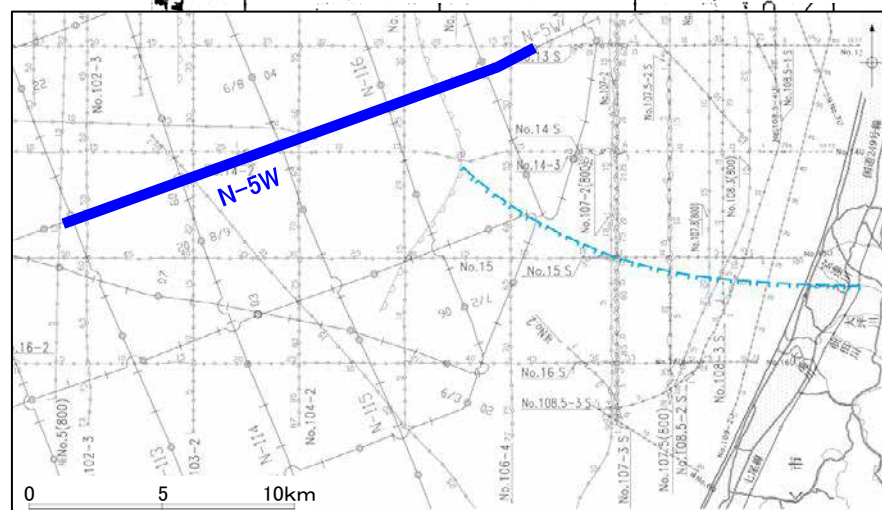
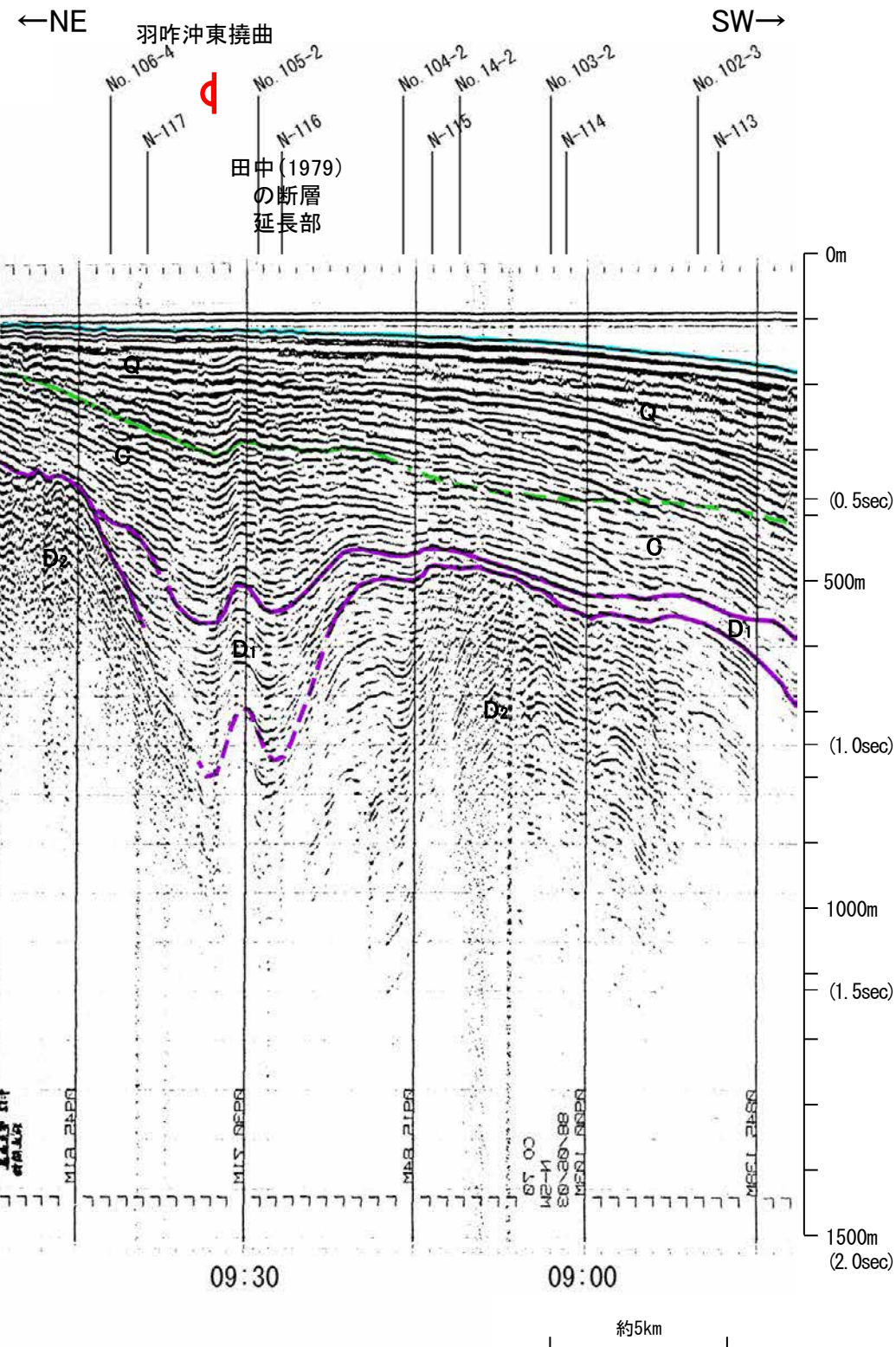
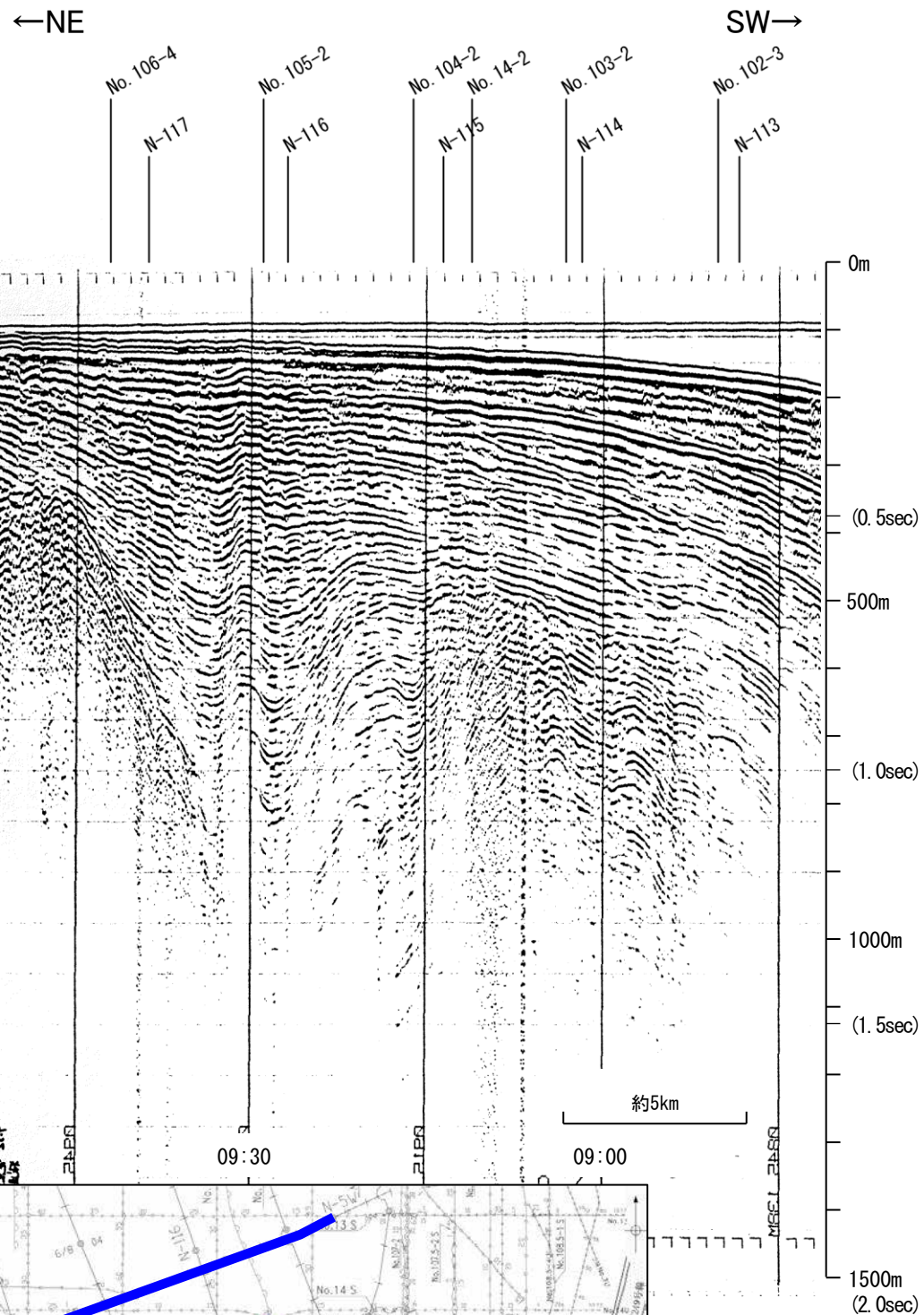
音波探査記録 添付測線(田中(1979)の断層)



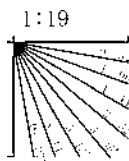
- 凡 例
- 断層 (伏在断層)
 - 断層 (断層)
 - 田中(1979)による断層
 - 添付した音波探査記録
 - No. 8 調査測線 (北陸電力：スーパー・シングルチャンネル・約2450ジュール)
 - No. 9 S 調査測線 (北陸電力：スーパー・シングルチャンネル・約360ジュール)
 - No. 8U 調査測線 (北陸電力：プーマー・マルチチャンネル・約200ジュール)
 - N-118 調査測線 (地質調査所：エアガン・シングルチャンネル)

0 5 10km

地質調査所エアガン N-5W

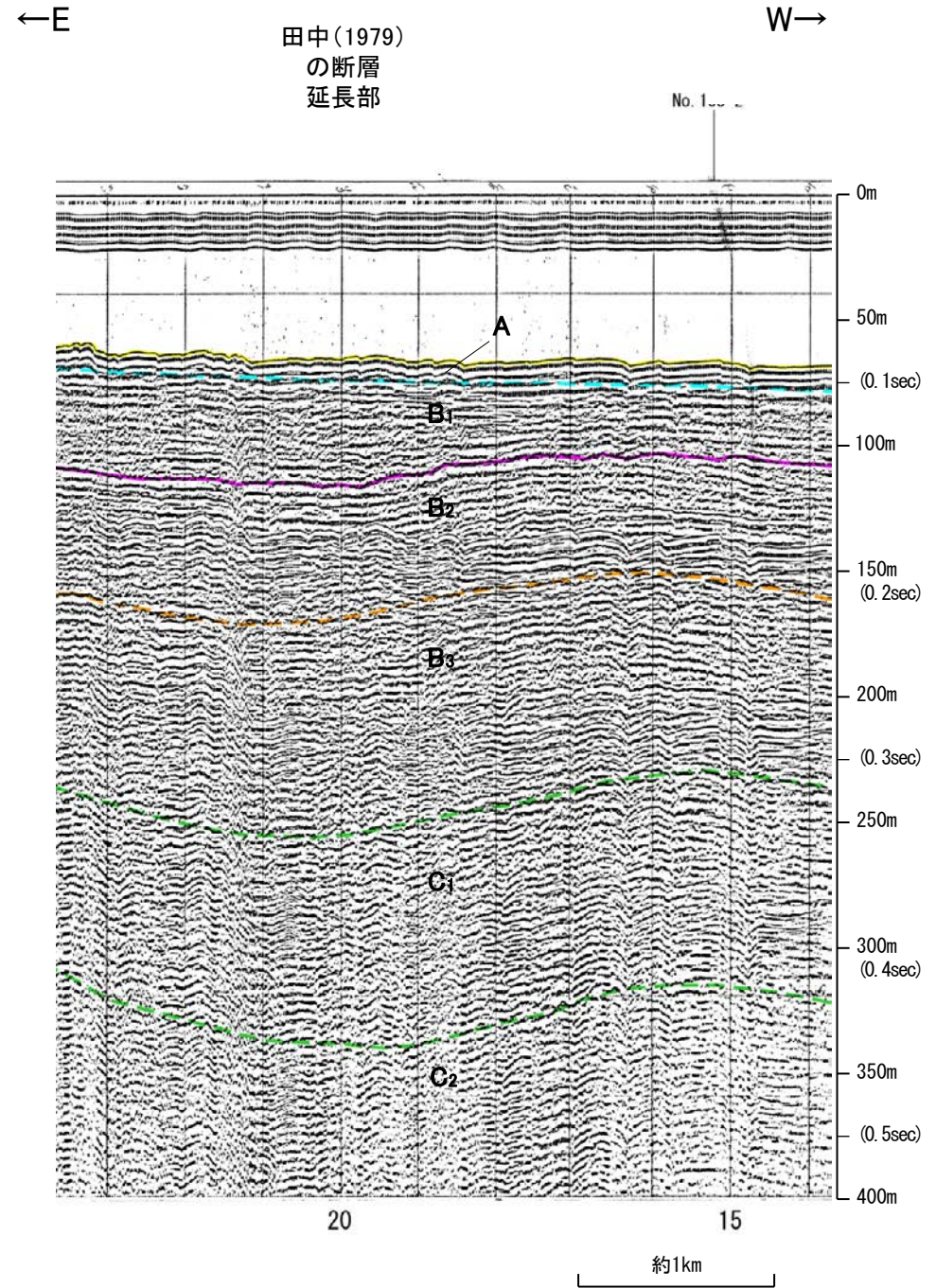
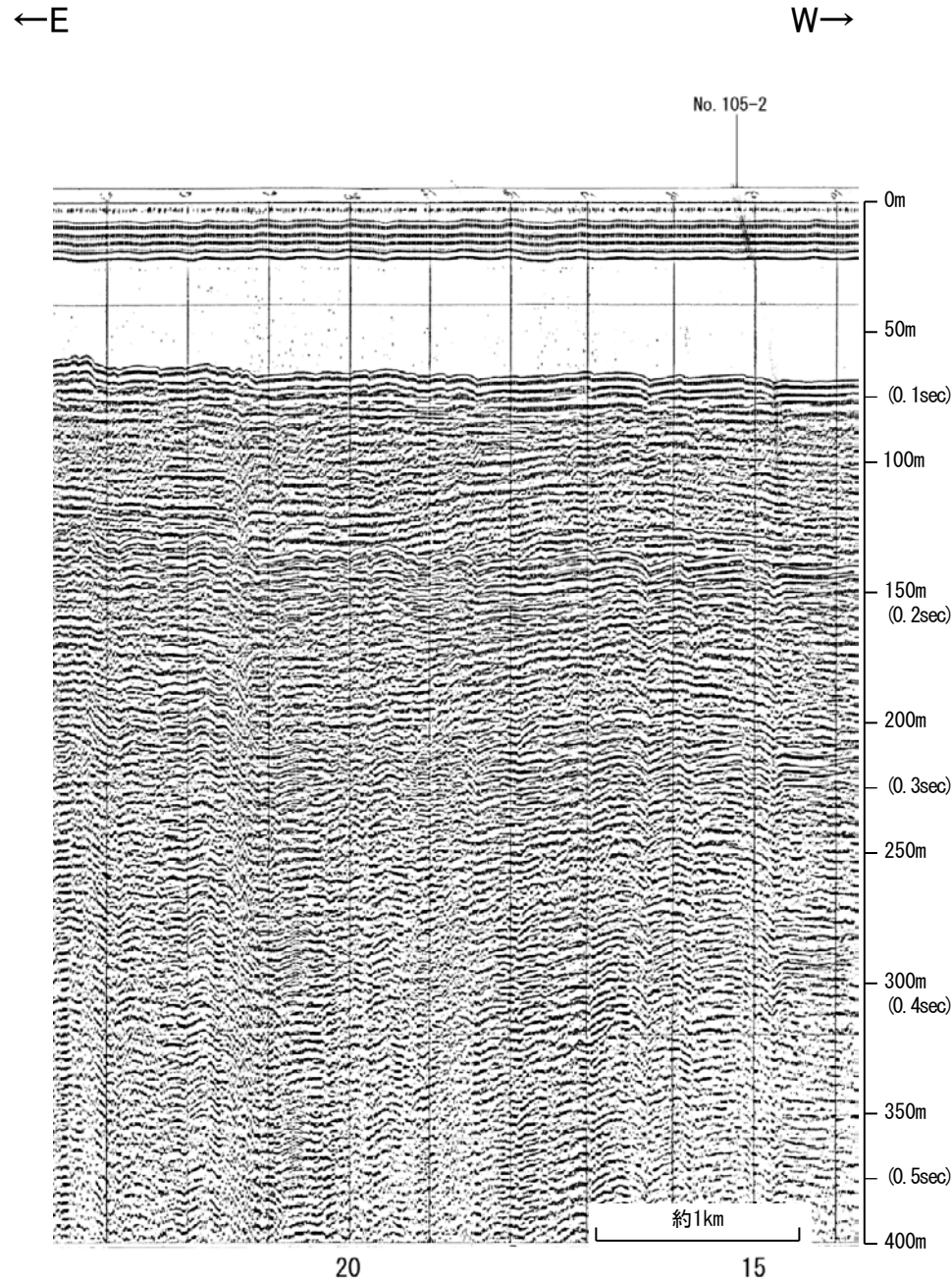


地質時代	地層名
第四紀 更新世	完新世 後期 A層
	Q層 B層
	中期 B層
	前期 B層
	C層
第三紀 鮮新世	C層
	D層
古第三紀	D層
先第三紀	D層



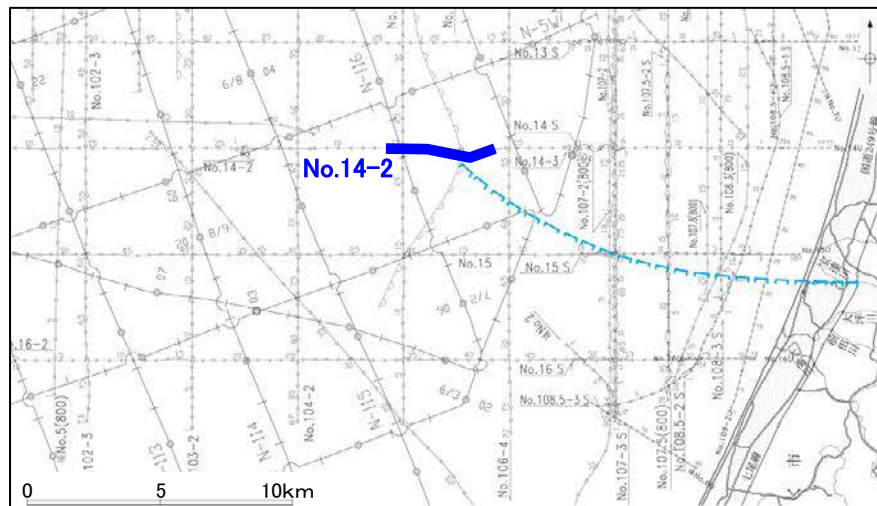
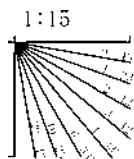
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.14-2

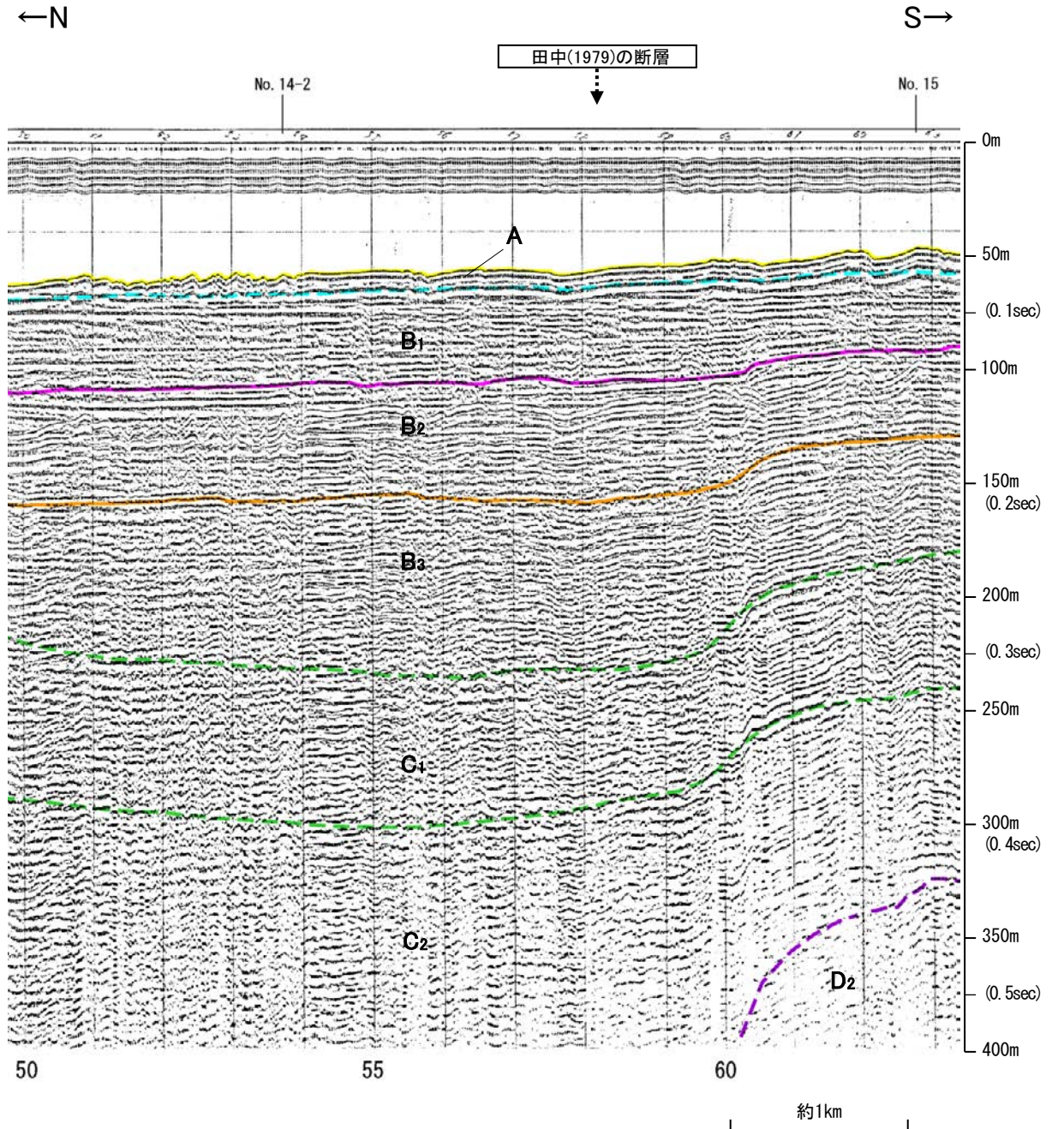
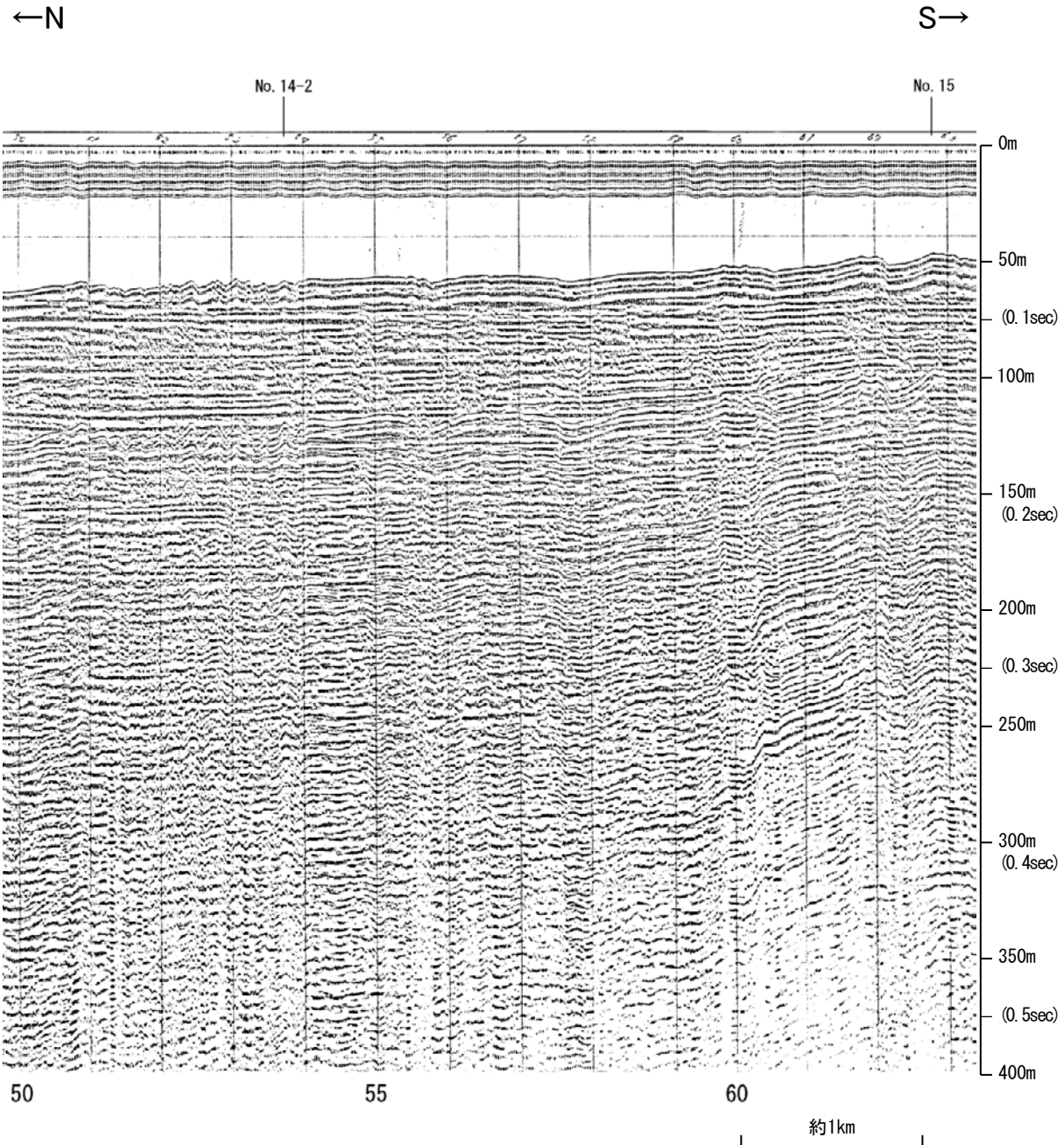


田中(1979)
の断層
延長部

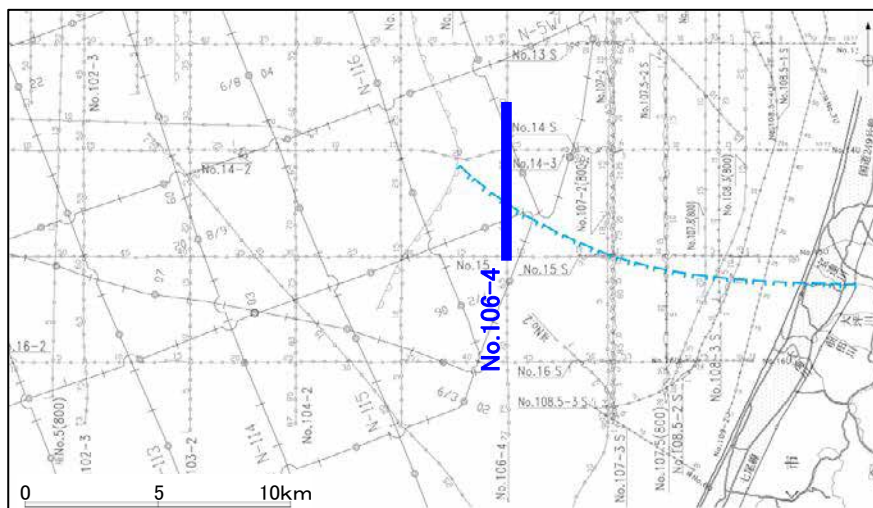
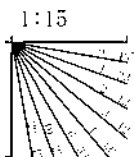
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D層	
	古第三紀	D層	
先第三紀	D層		



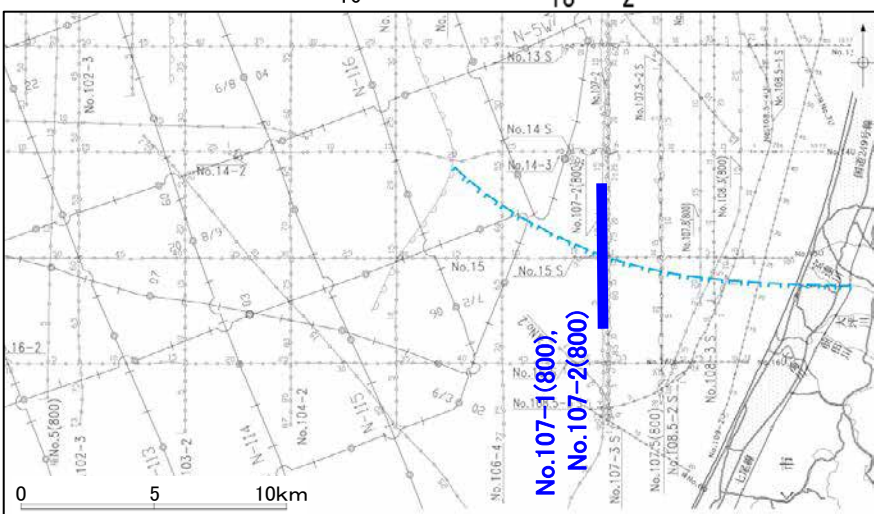
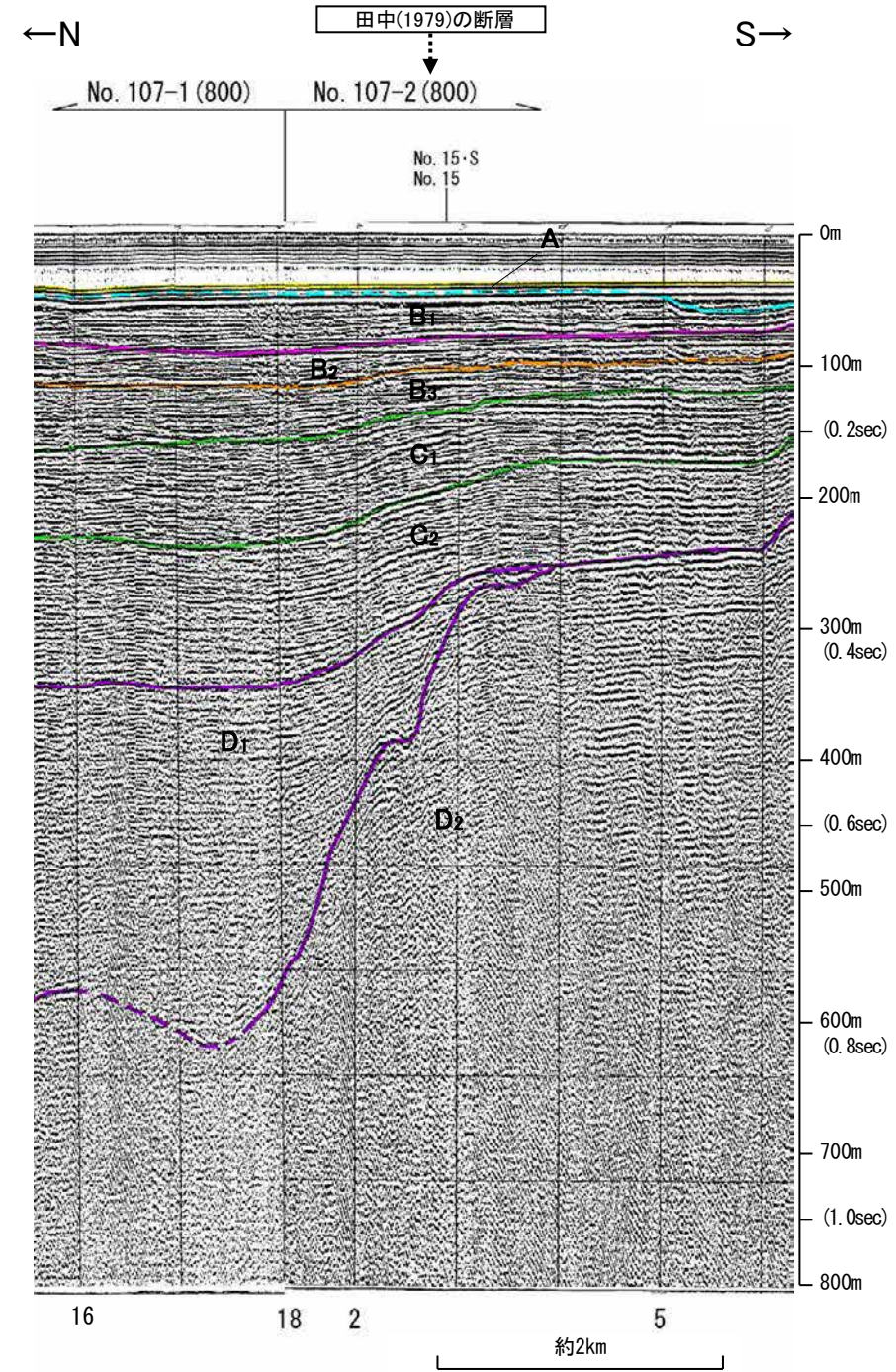
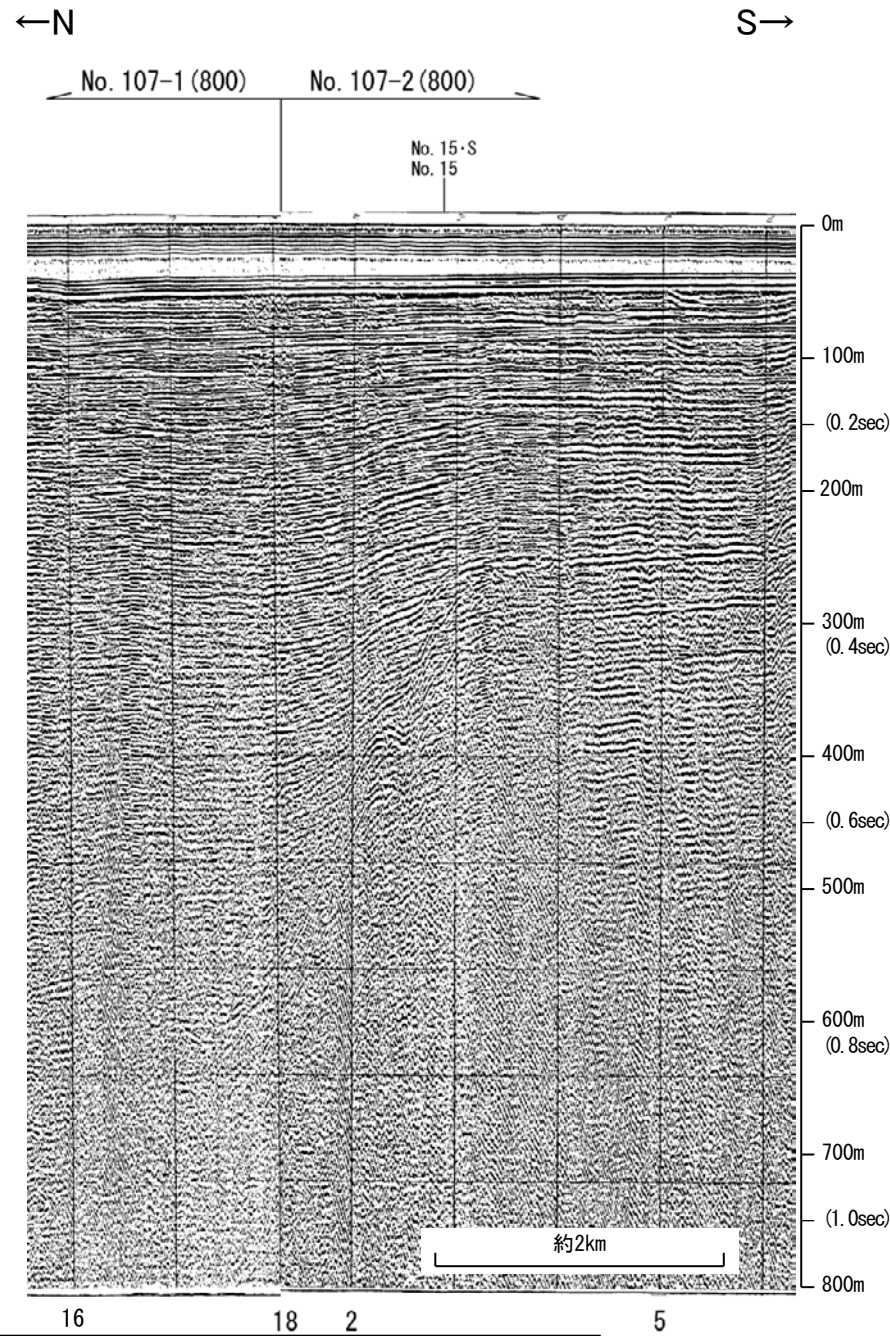
北陸電カスパーカー No.106-4



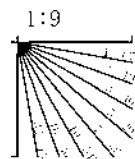
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層 B ₃ 層
		前期	C ₁ 層
	鮮新世		C ₂ 層
中新世		D ₁ 層	
古第三紀		D ₂ 層	
先第三紀		D ₃ 層	



北陸電カスパーカー No.107-1(800),No.107-2(800)

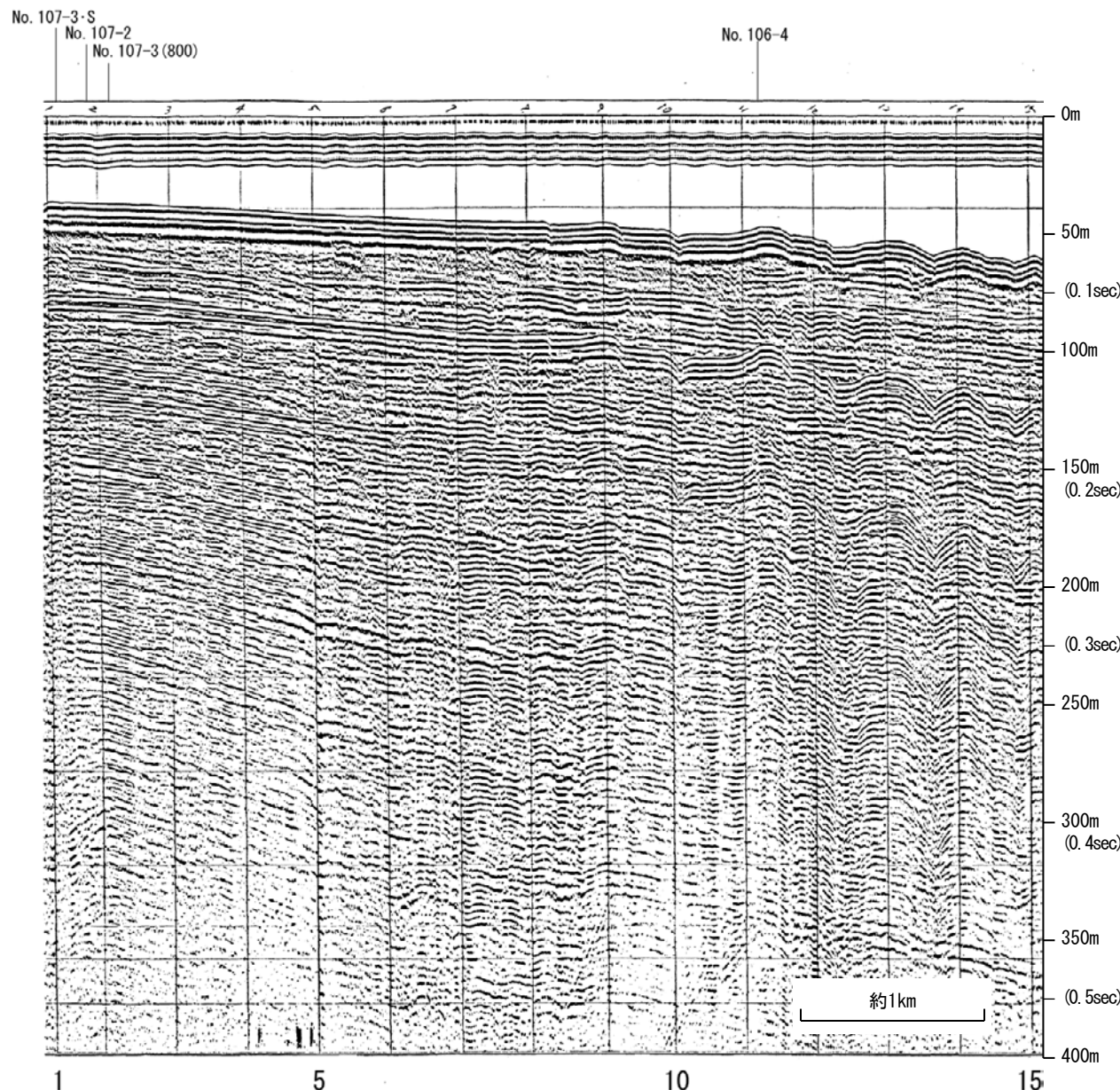


地質時代		地層名
第四紀	更新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
	鮮新世	C ₁ 層
第三紀	中新世	C ₂ 層
	古第三紀	D ₁ 層
先第三紀		D ₂ 層



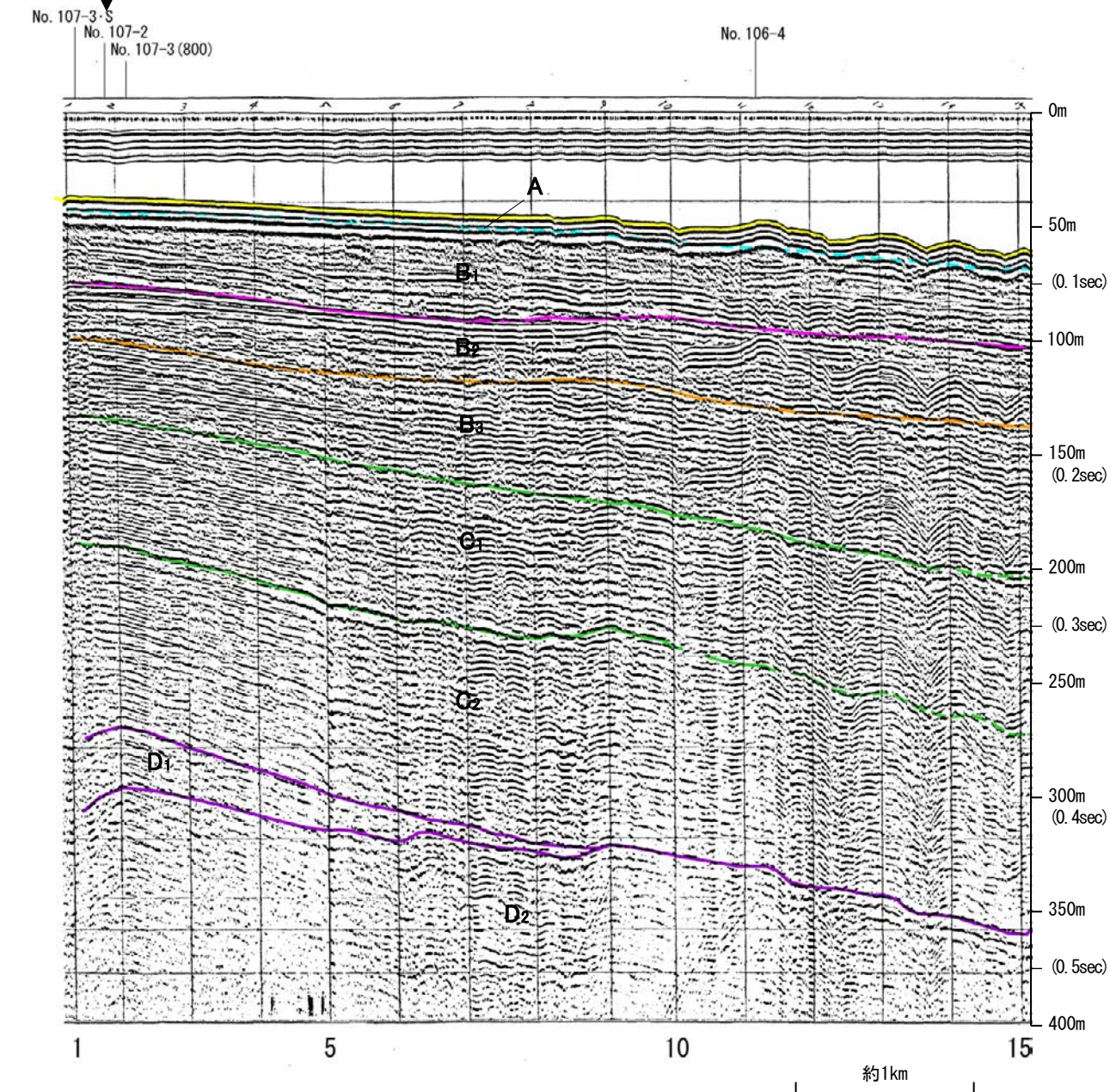
北陸電カスパーカー No.15

←E W→

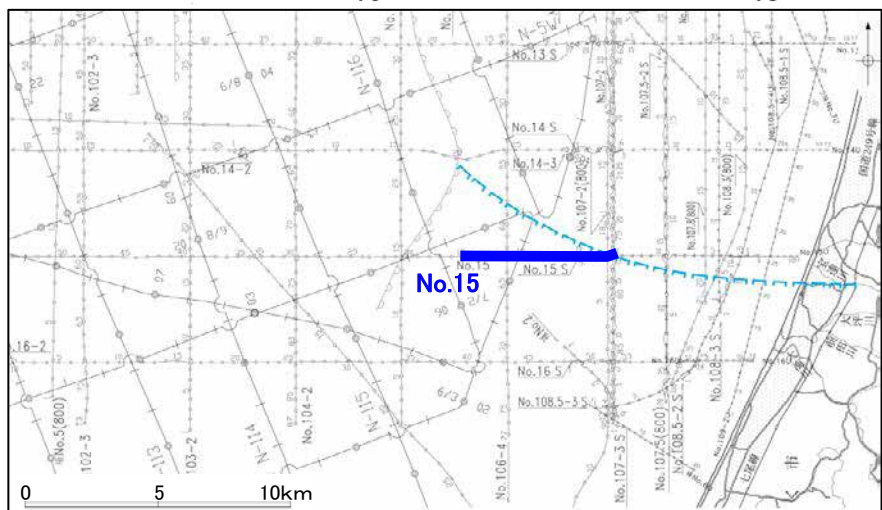
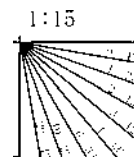


←E W→

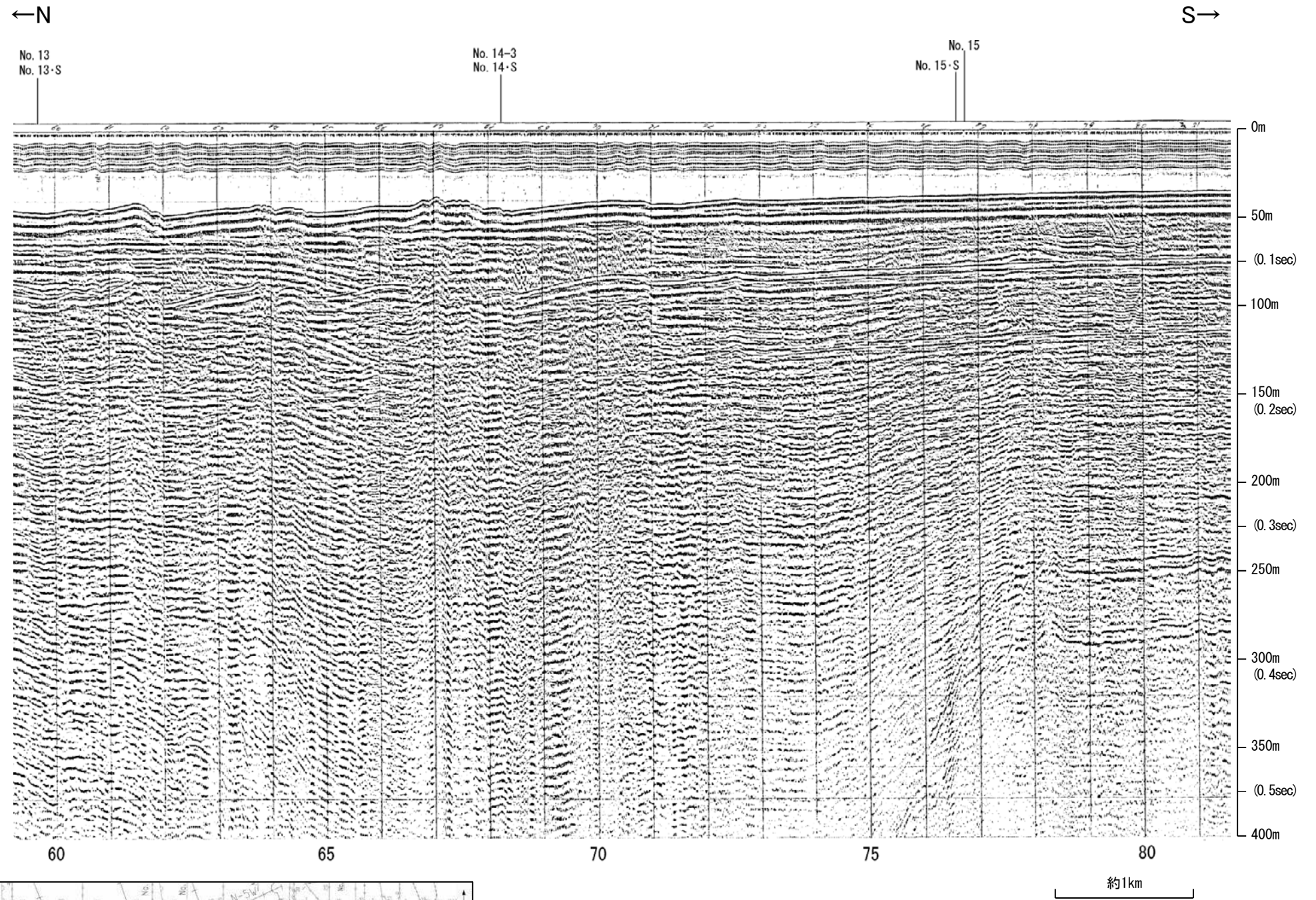
田中(1979)の断層



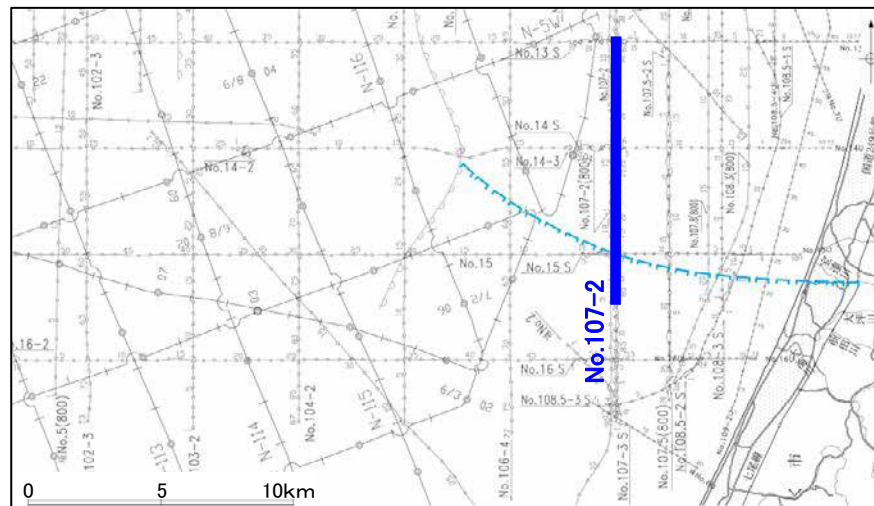
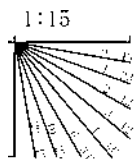
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	
第三紀	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	



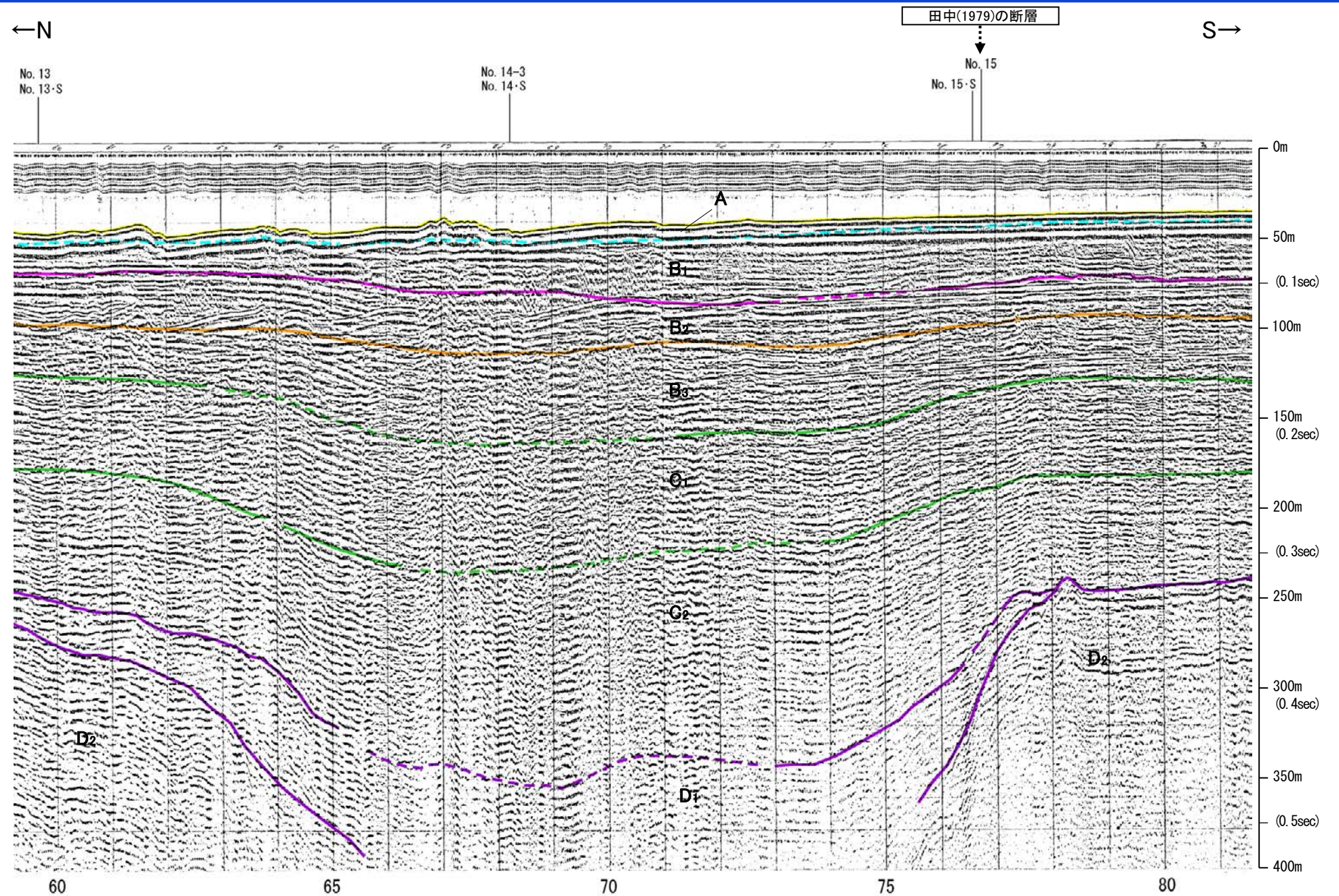
北陸電カスパーカー No.107-2



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C層
中新世		D層	
古第三紀		D層	
先第三紀	D層		

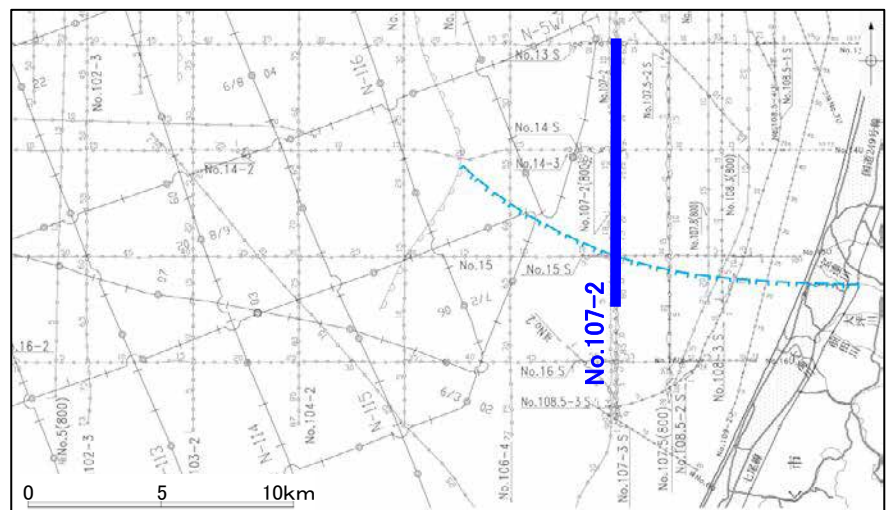
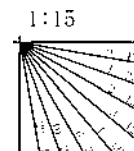


北陸電カスパーカー No.107-2

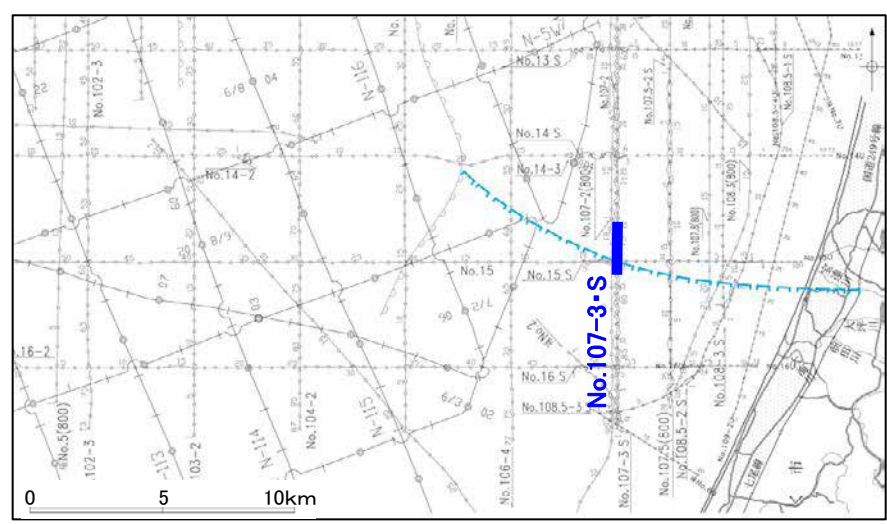
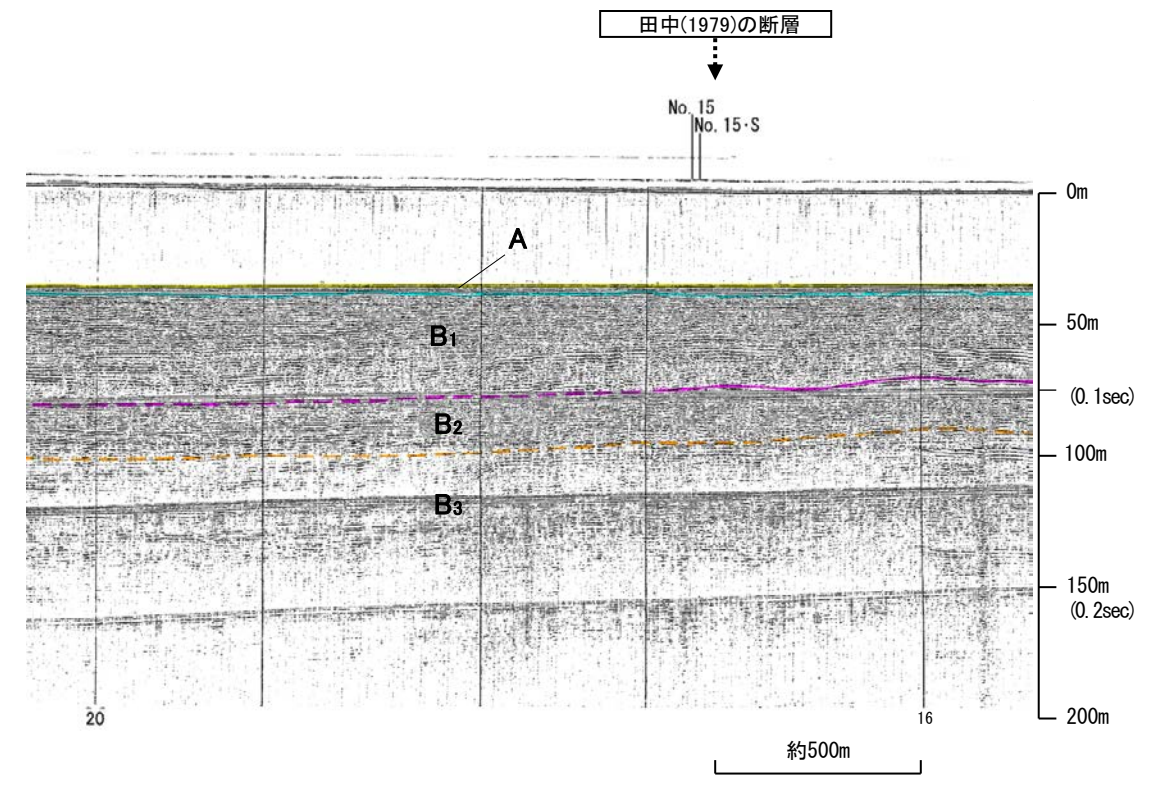
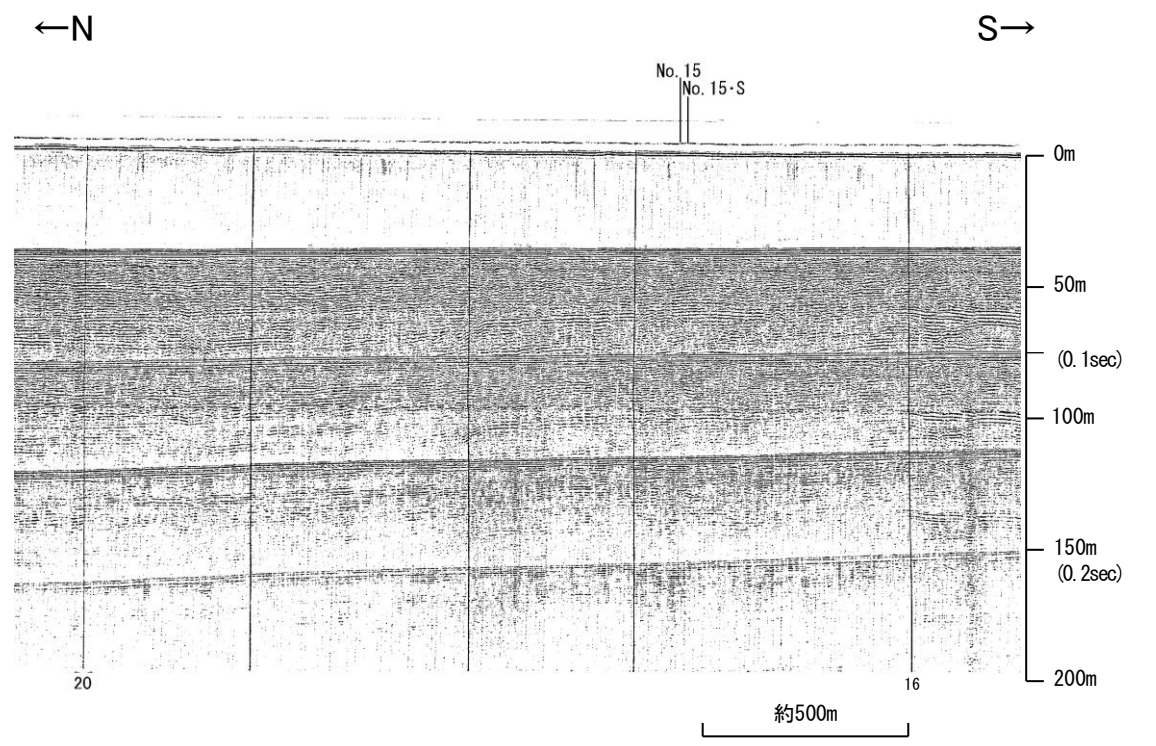


約1km

地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C層
中新世		D ₁ 層	
古第三紀		D ₂ 層	



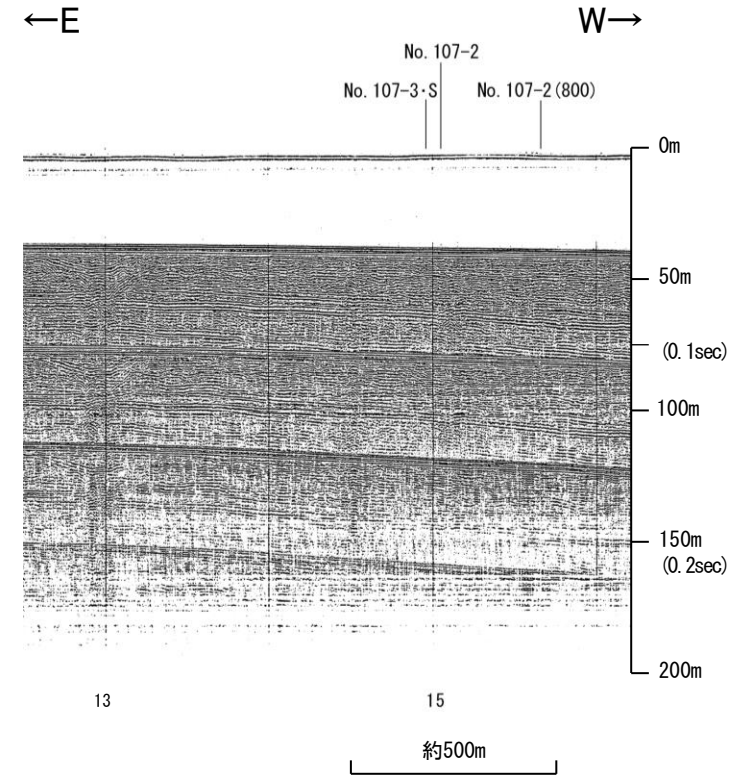
北陸電カスパーカー No.107-3-S



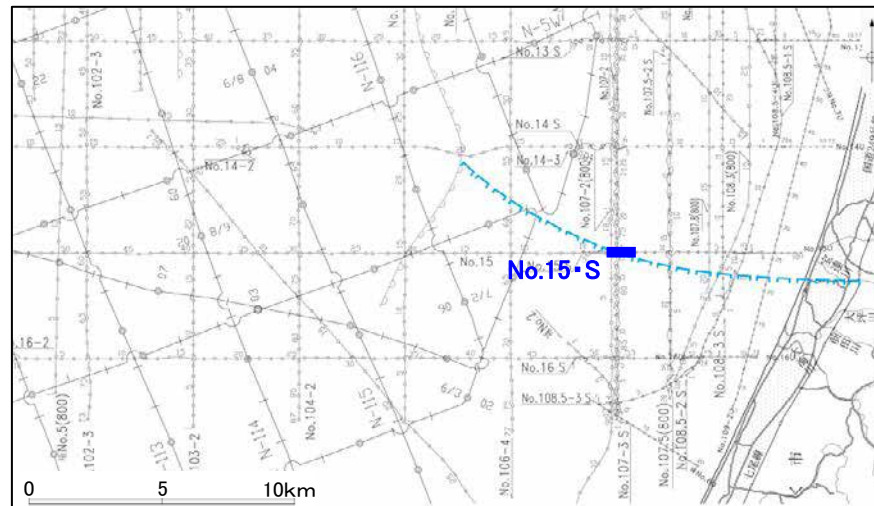
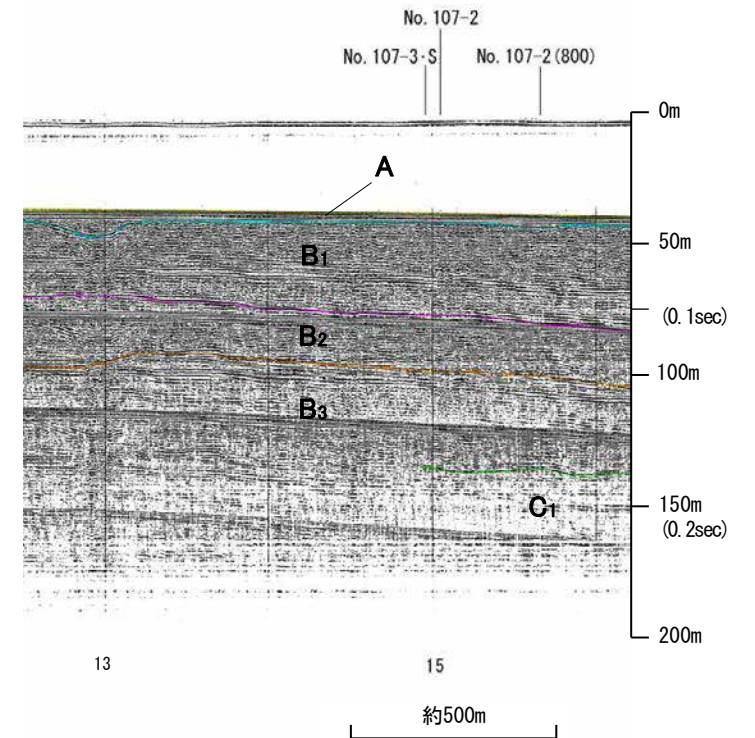
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	新第三紀	鮮新世	C層
中新世		C層	
		D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		

1:6

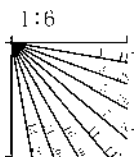
北陸電カスパーカー No.15・S



田中(1979)の断層



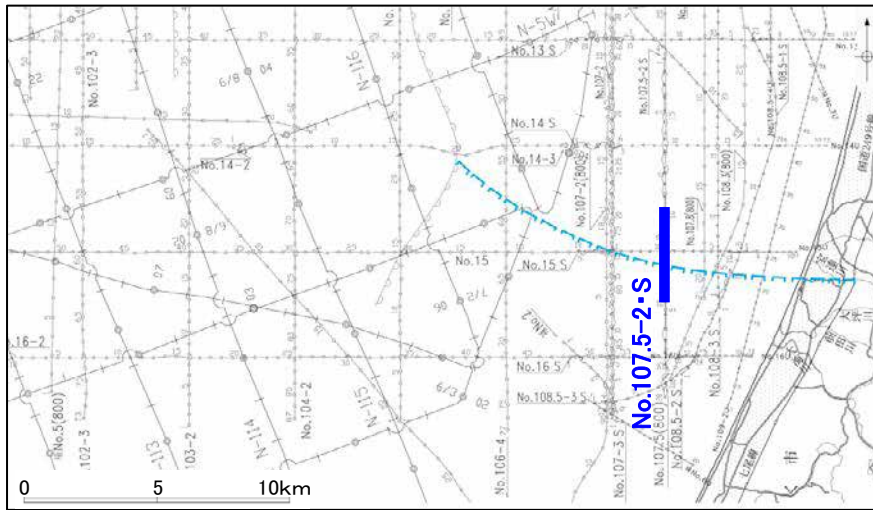
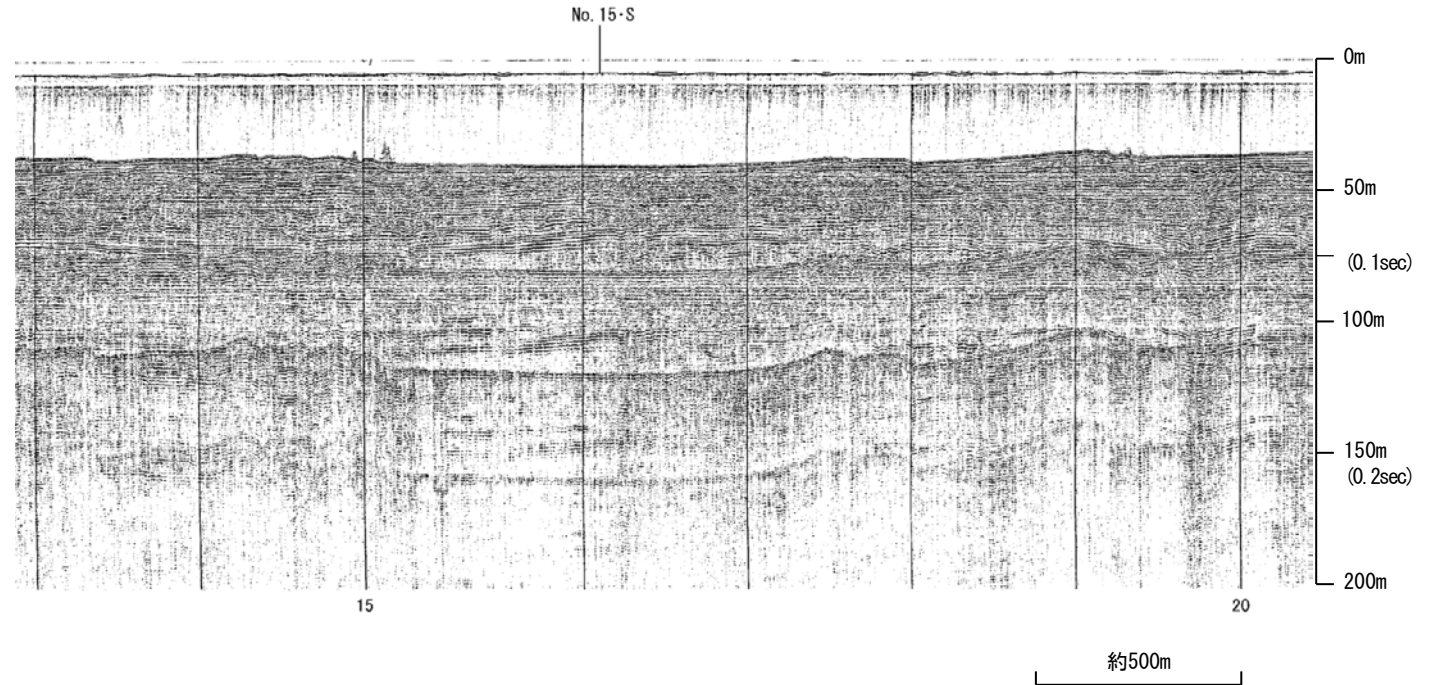
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	鮮新世	C層	C ₁ 層
中新世		D層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



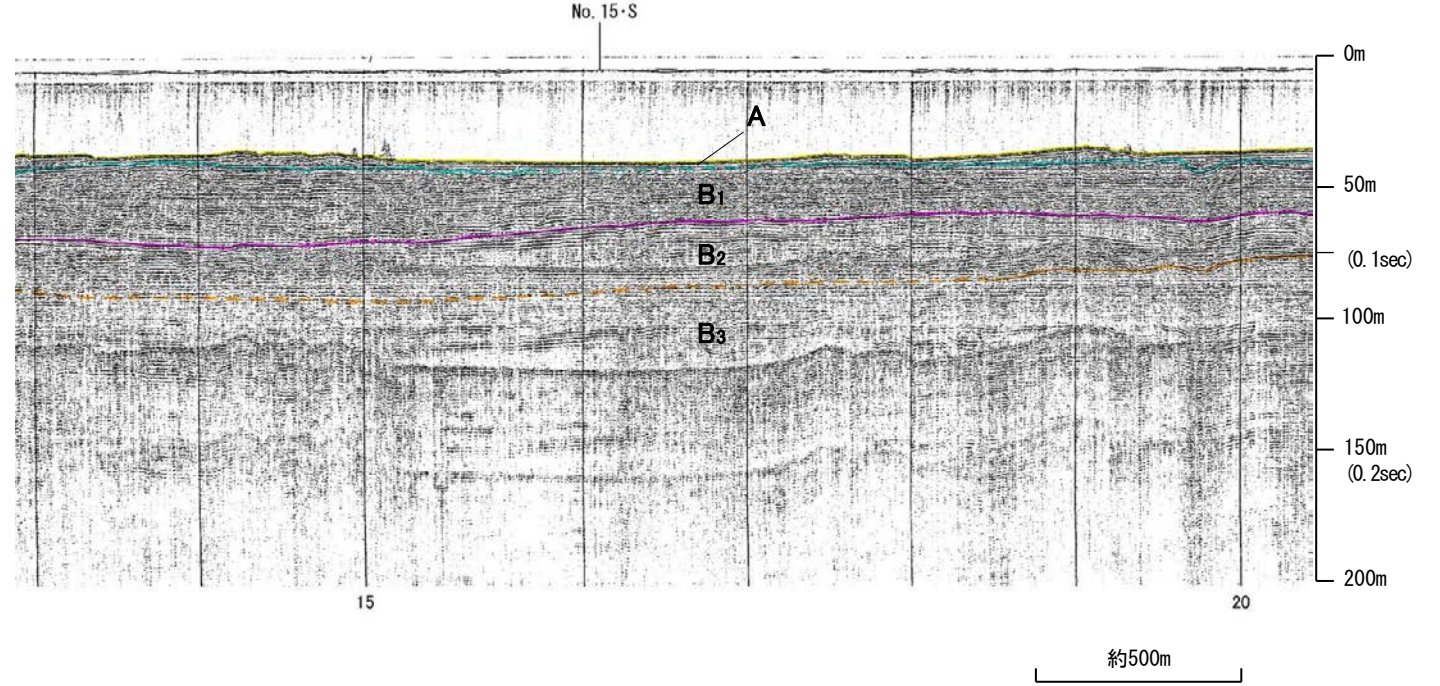
北陸電カスパーカー No.107.5-2・S

←N

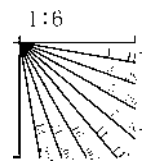
S→



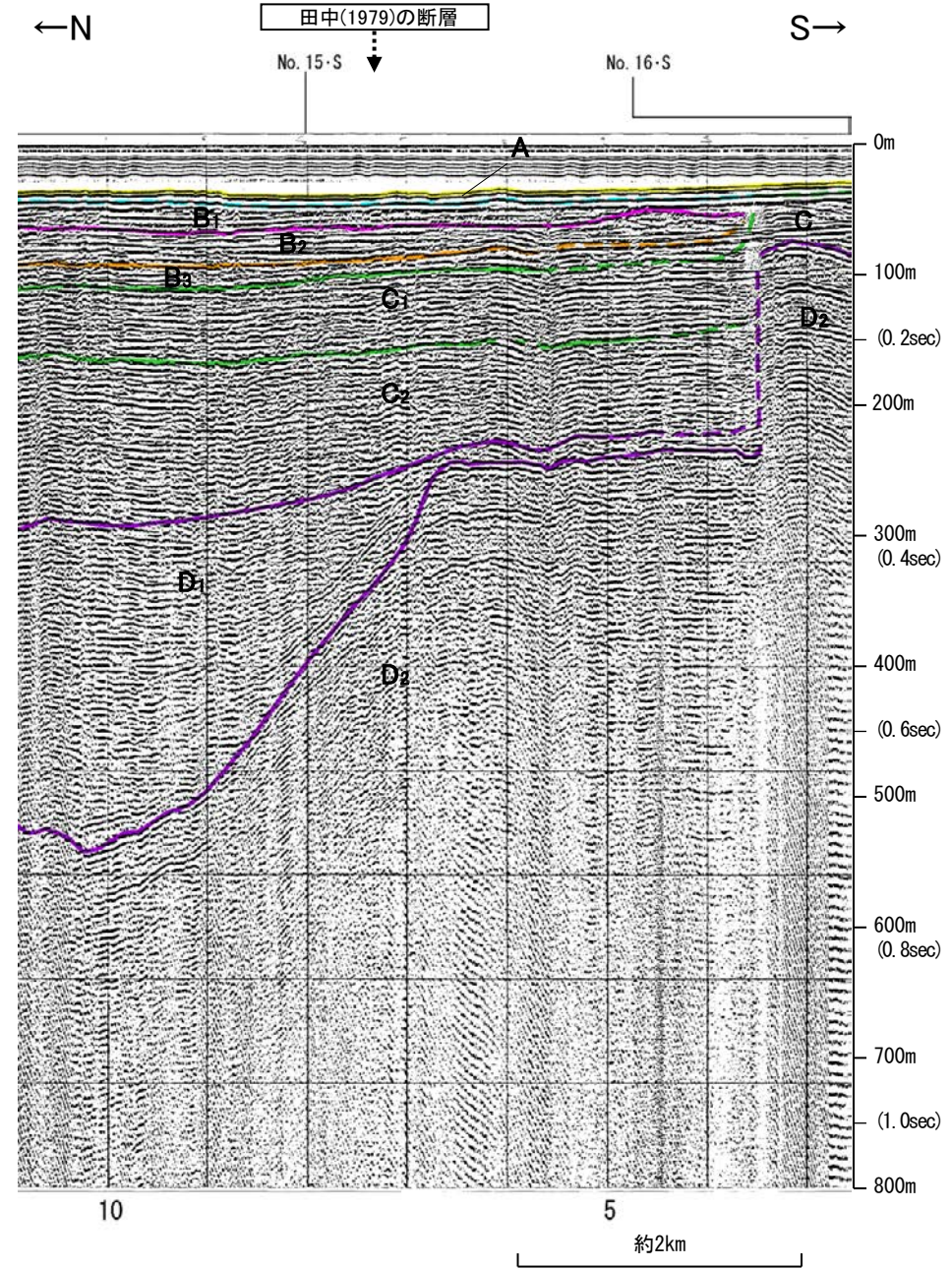
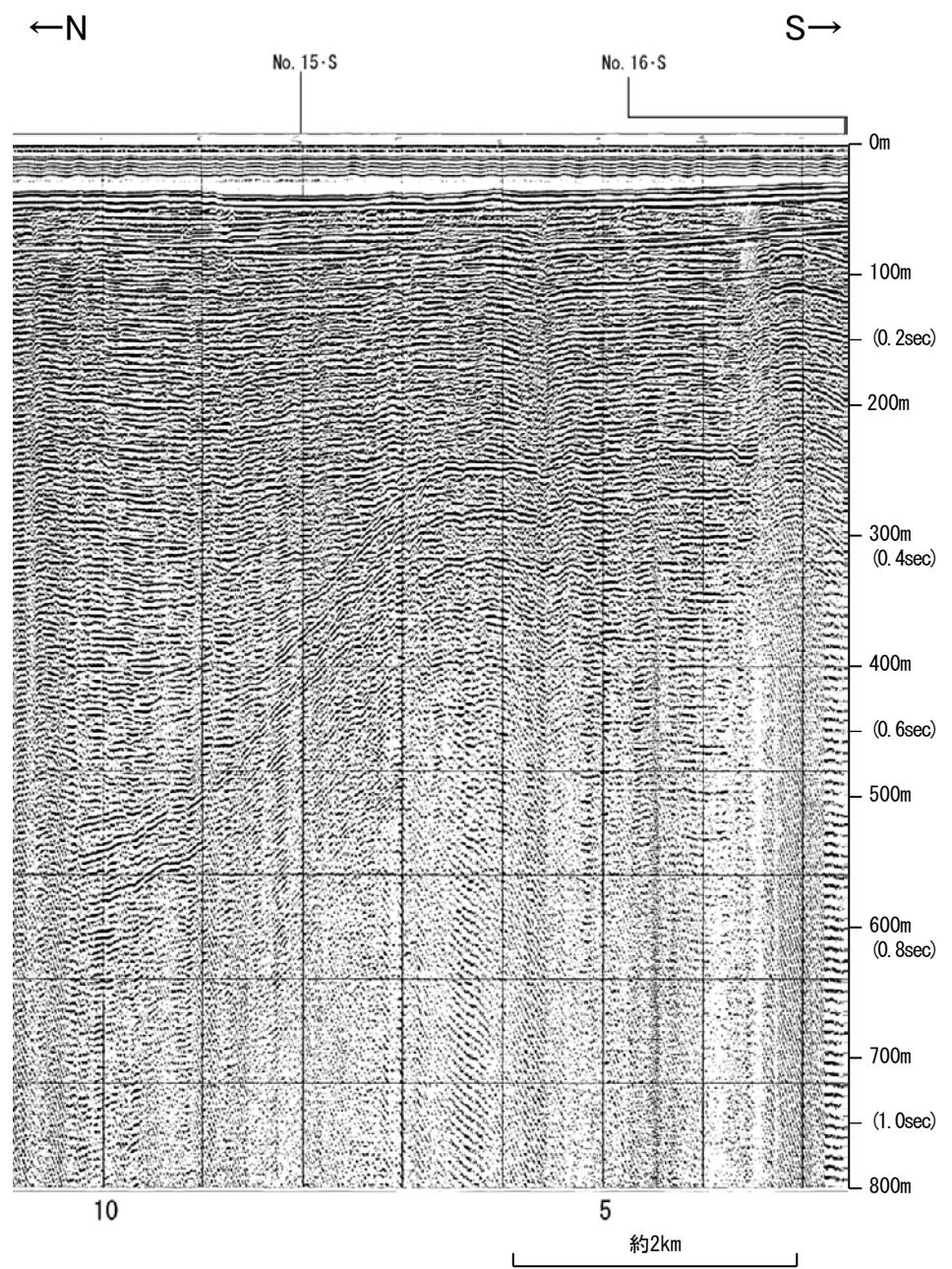
田中(1979)の断層



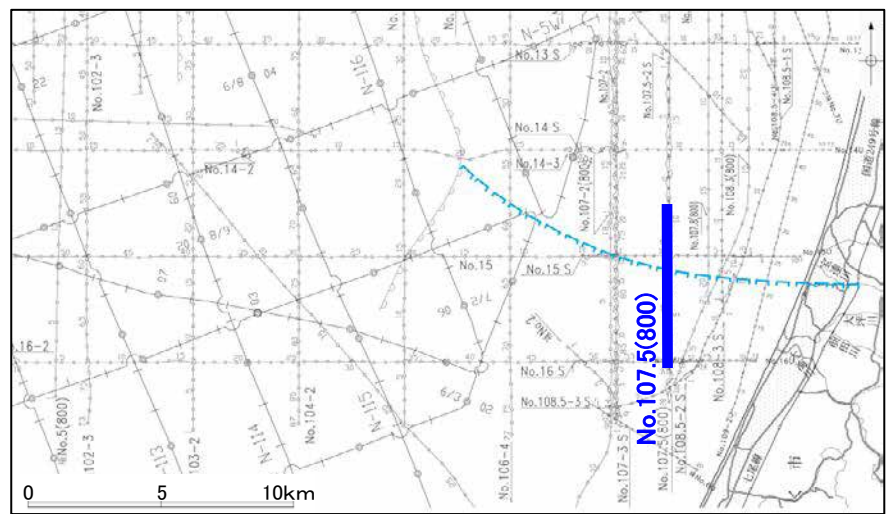
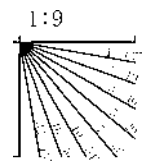
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	C層	C層	
第三紀	鮮新世	D ₁ 層	
	中新世	D ₂ 層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



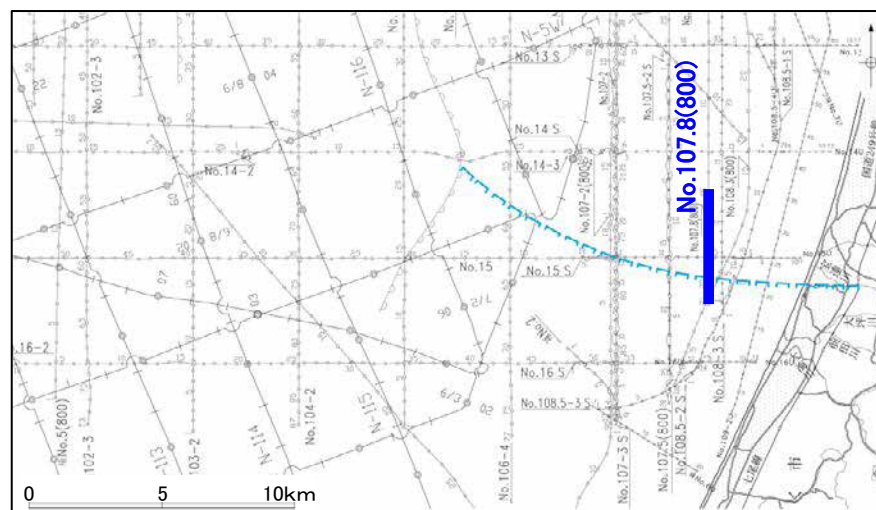
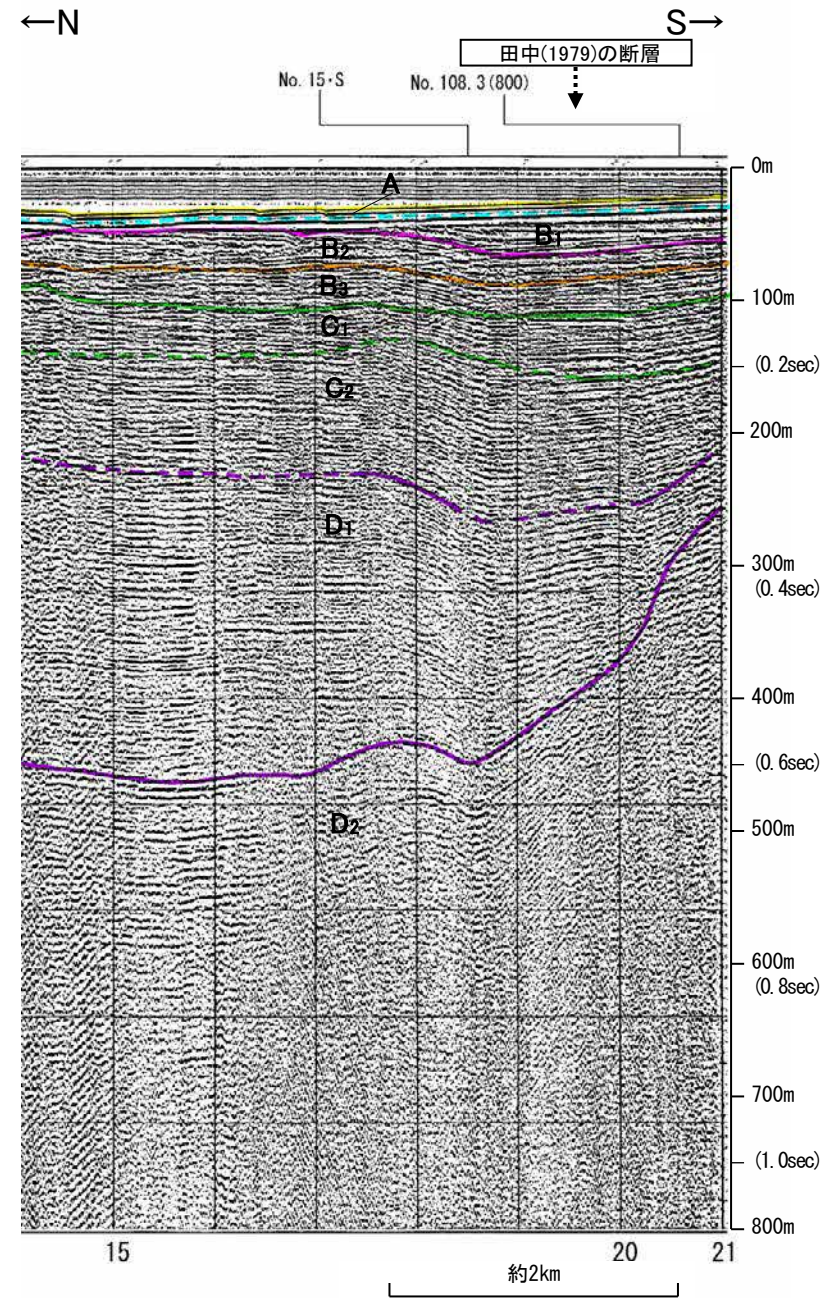
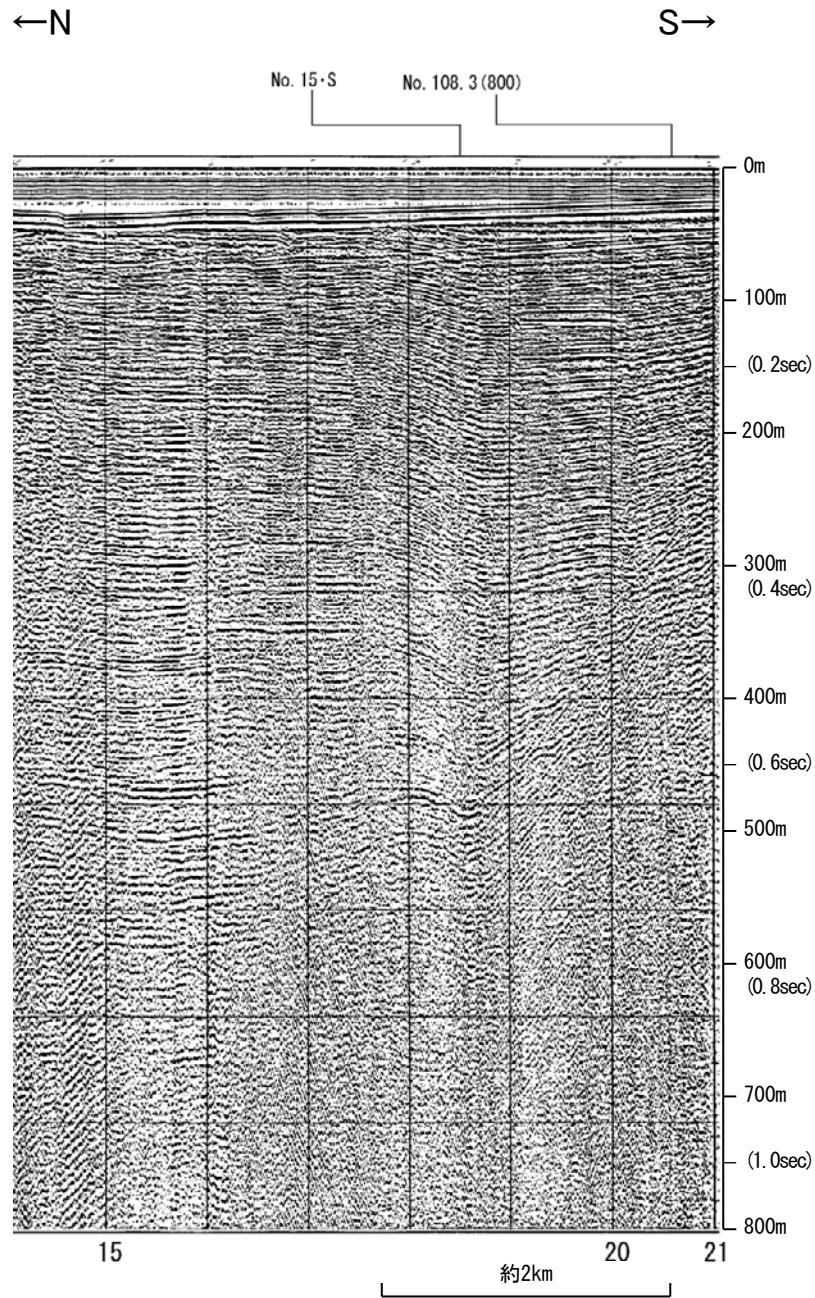
北陸電カスパーカー No.107.5(800)



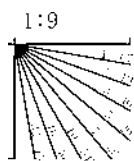
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
		前期	C層
	鮮新世	中期	D層
前期		C層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



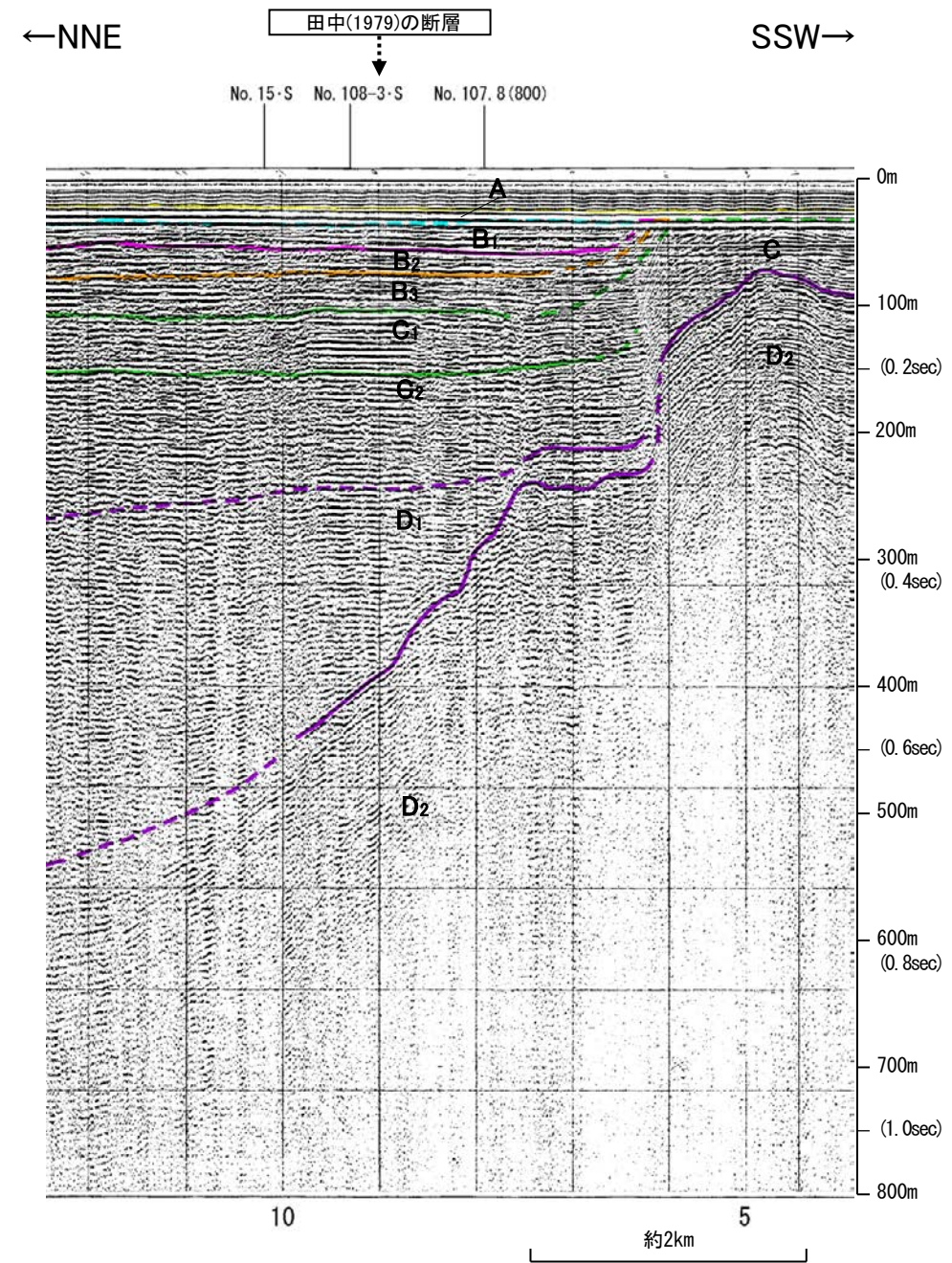
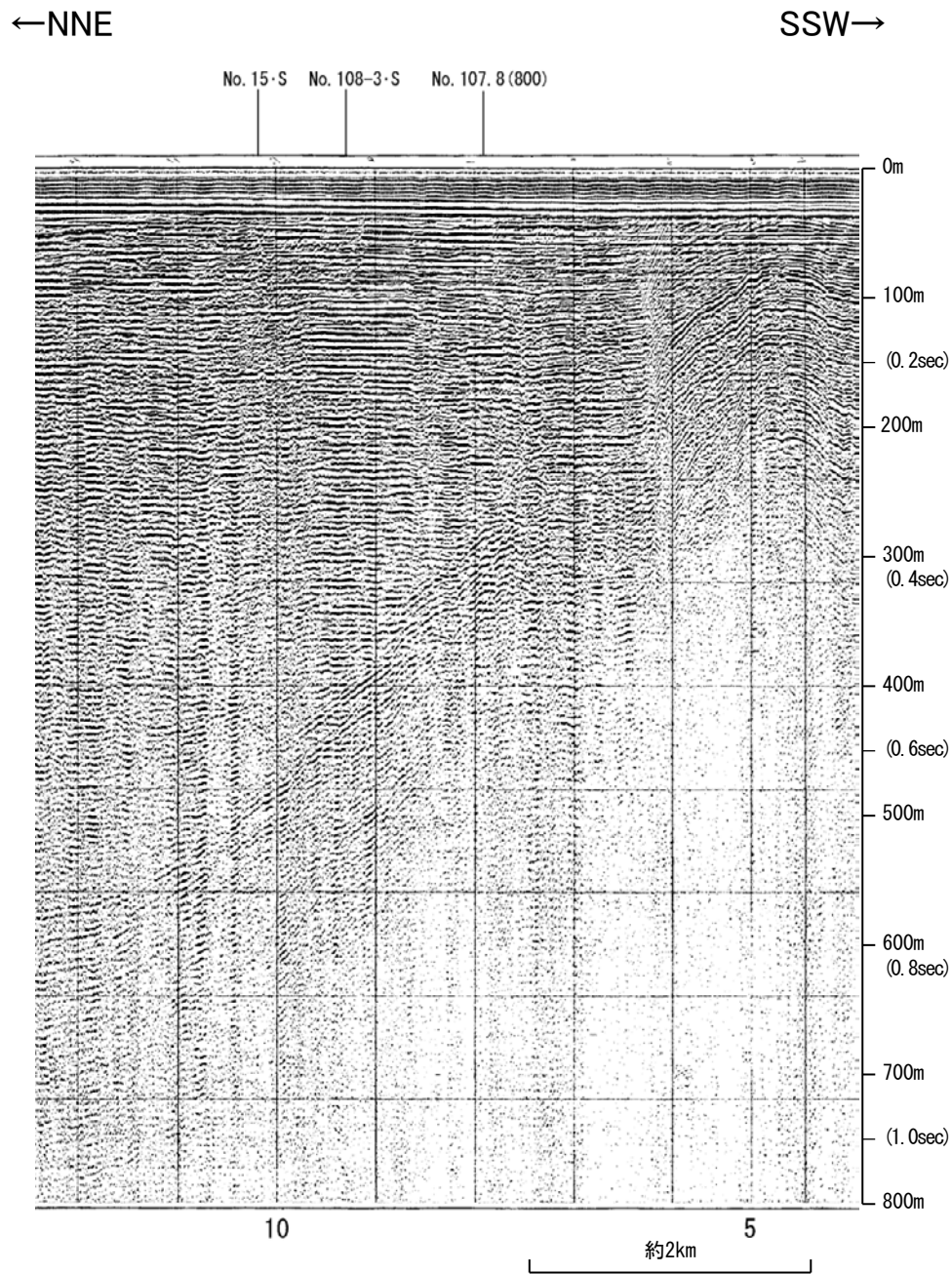
北陸電カスパーカー No.107.8(800)



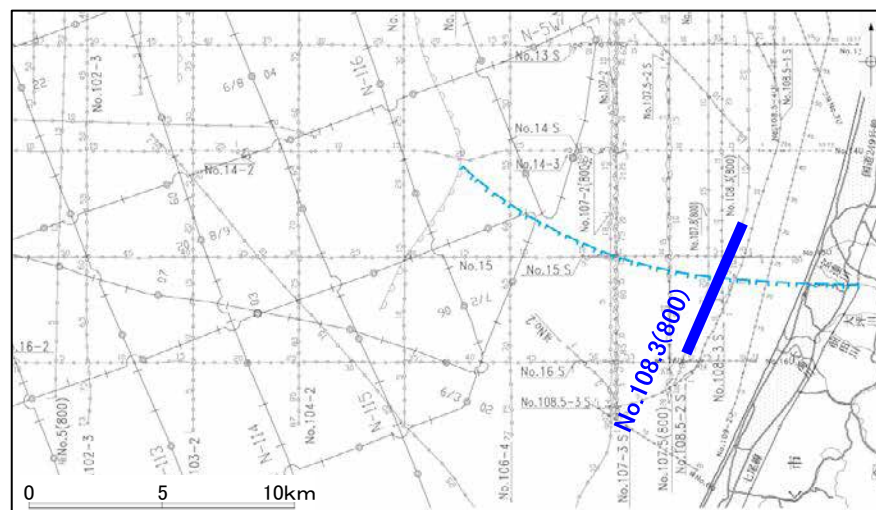
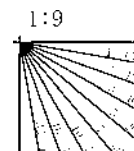
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
	前期		C ₁ 層
		C ₂ 層	
第三紀	鮮新世	D ₁ 層	
	中新世	D ₂ 層	
古第三紀		D層	
先第三紀		D層	



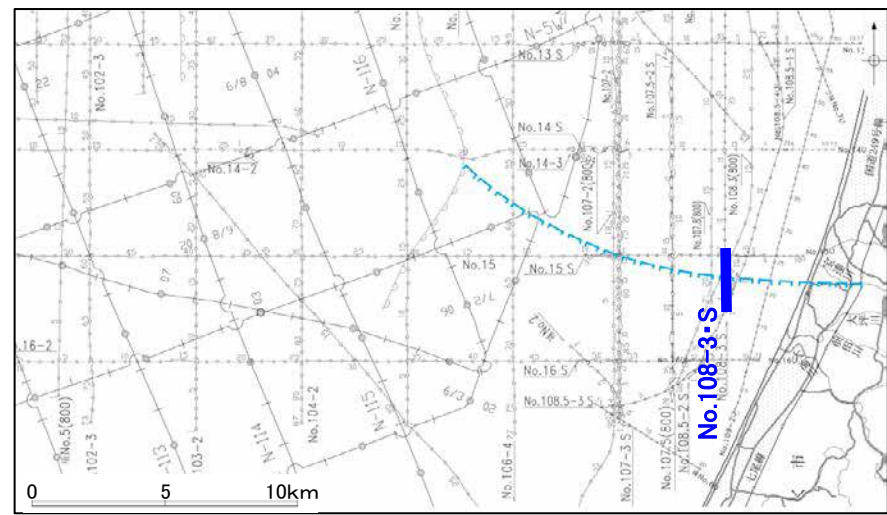
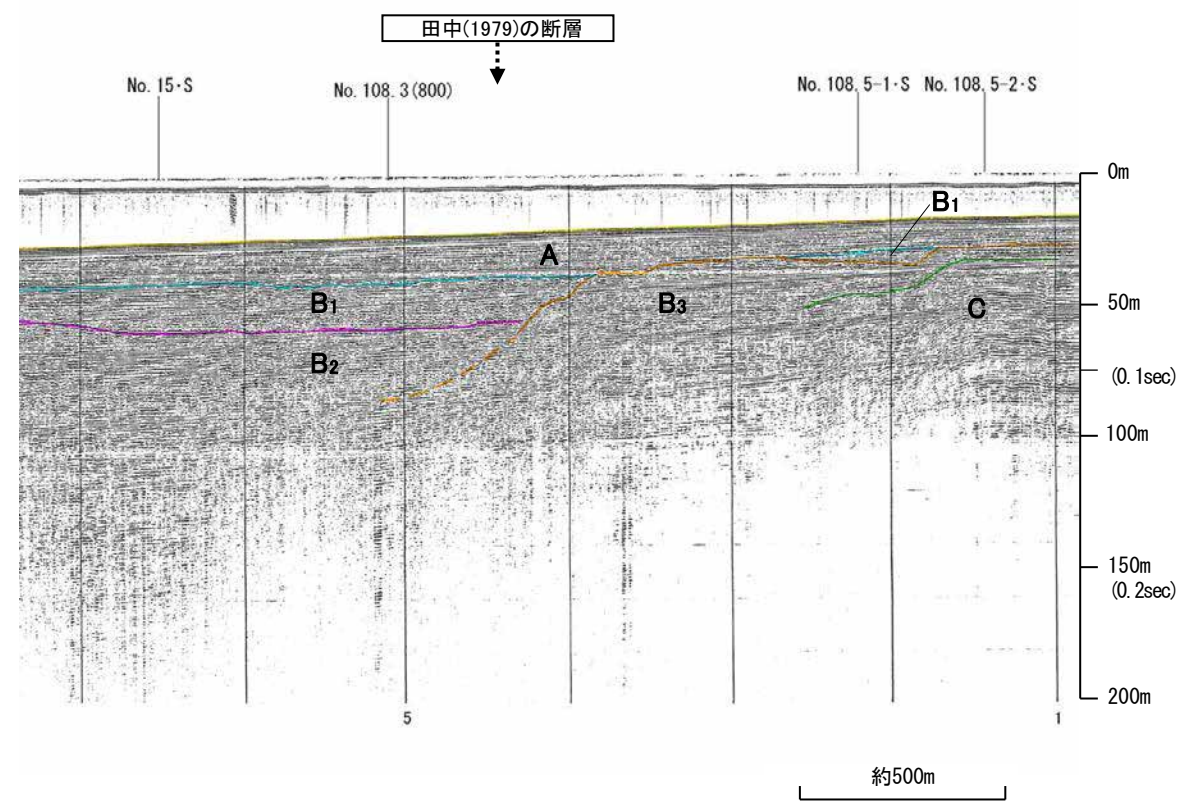
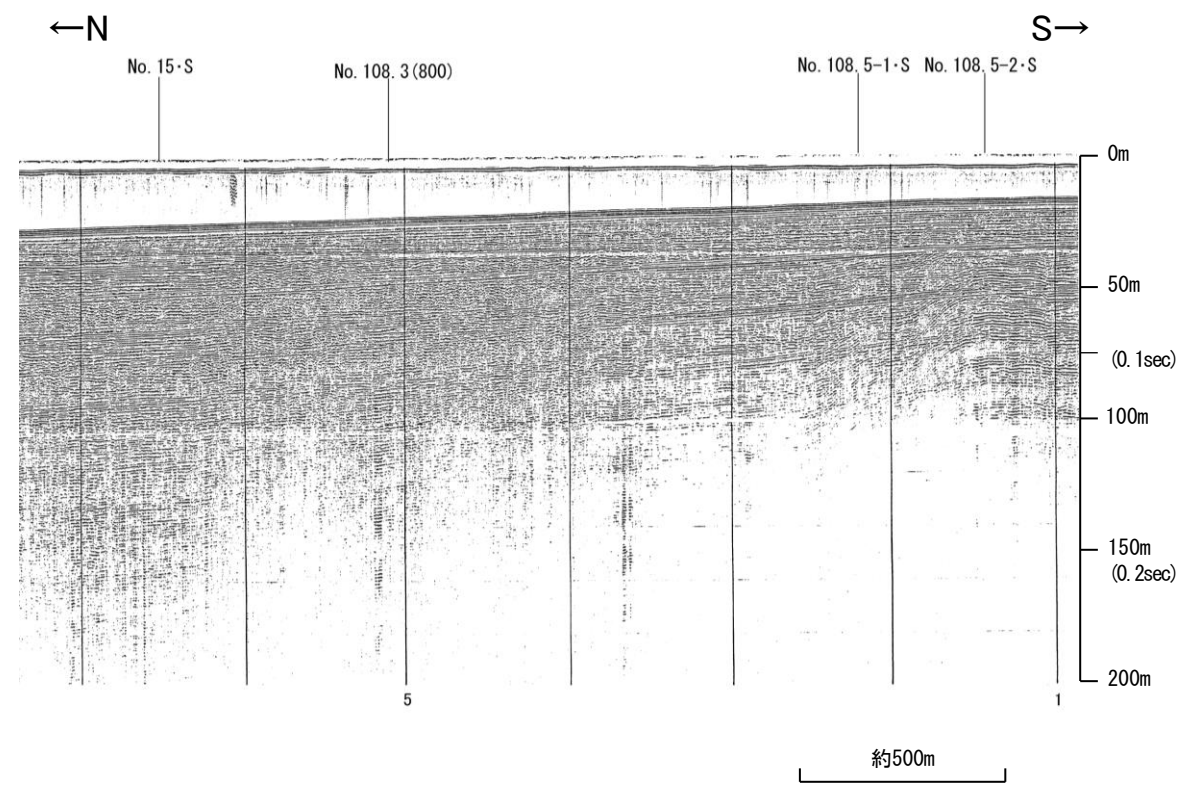
北陸電カスパーカー No.108.3(800)



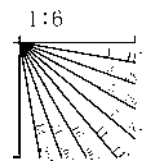
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
	第三紀	鮮新世	C層
中新世		D ₁ 層	
古第三紀		D ₂ 層	
先第三紀	D ₂ 層		



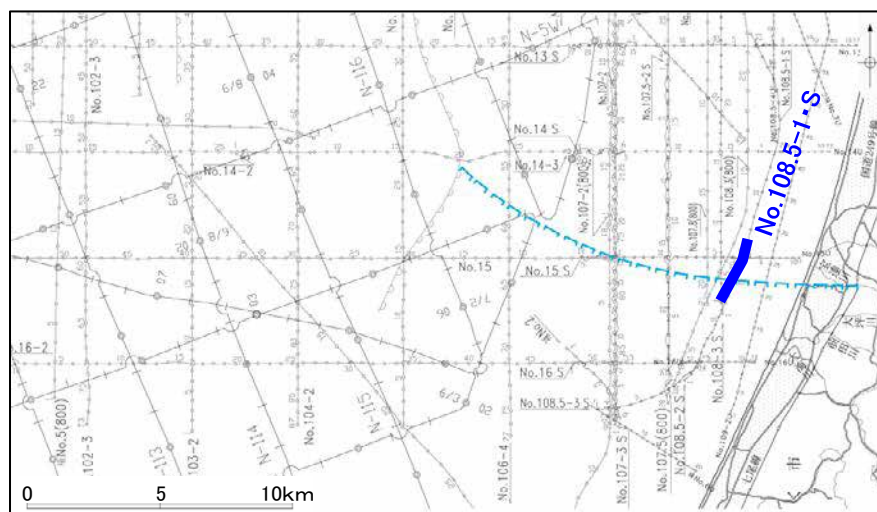
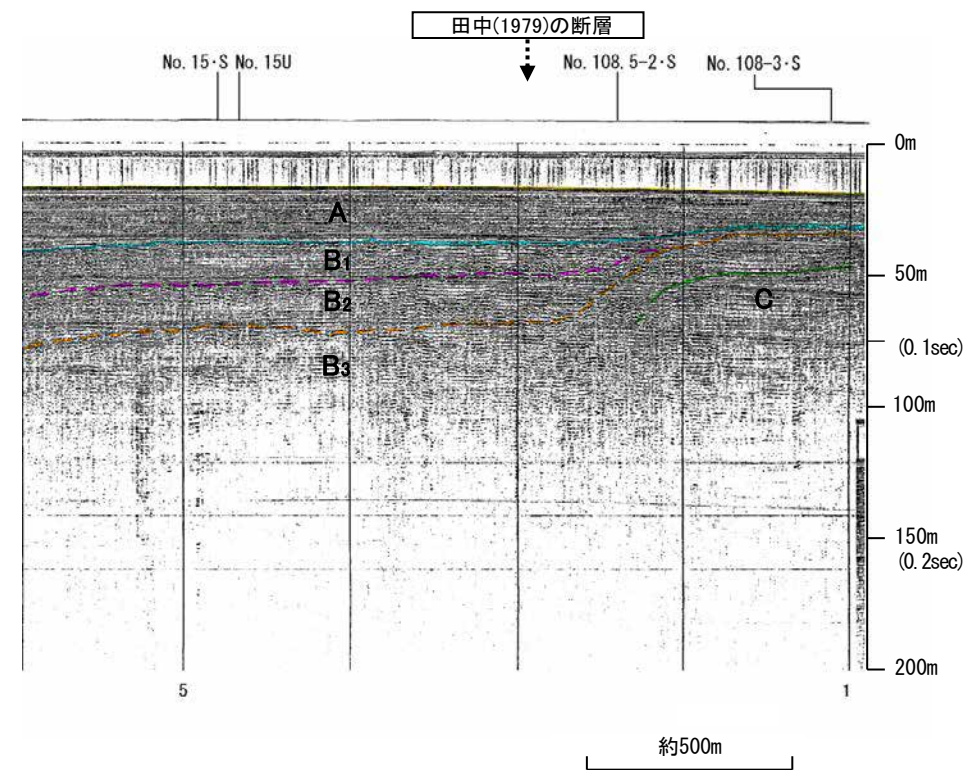
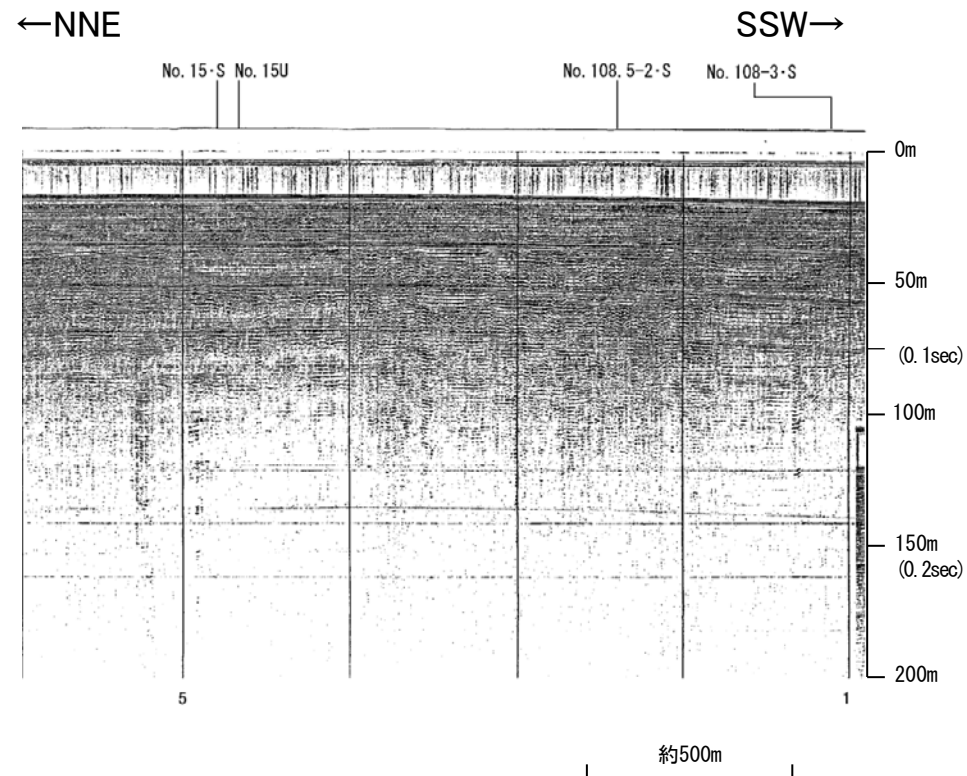
北陸電カスパーカー No.108-3-S



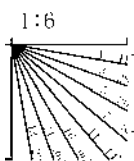
地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層	
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	C層	
		D層	
古第三紀	D層		
先第三紀	D層		



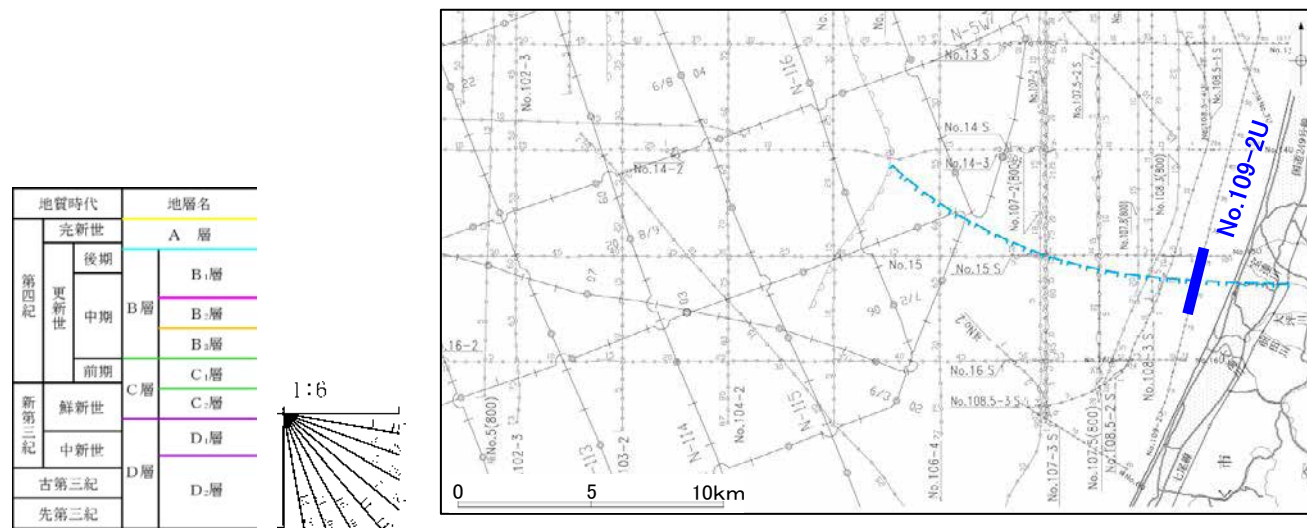
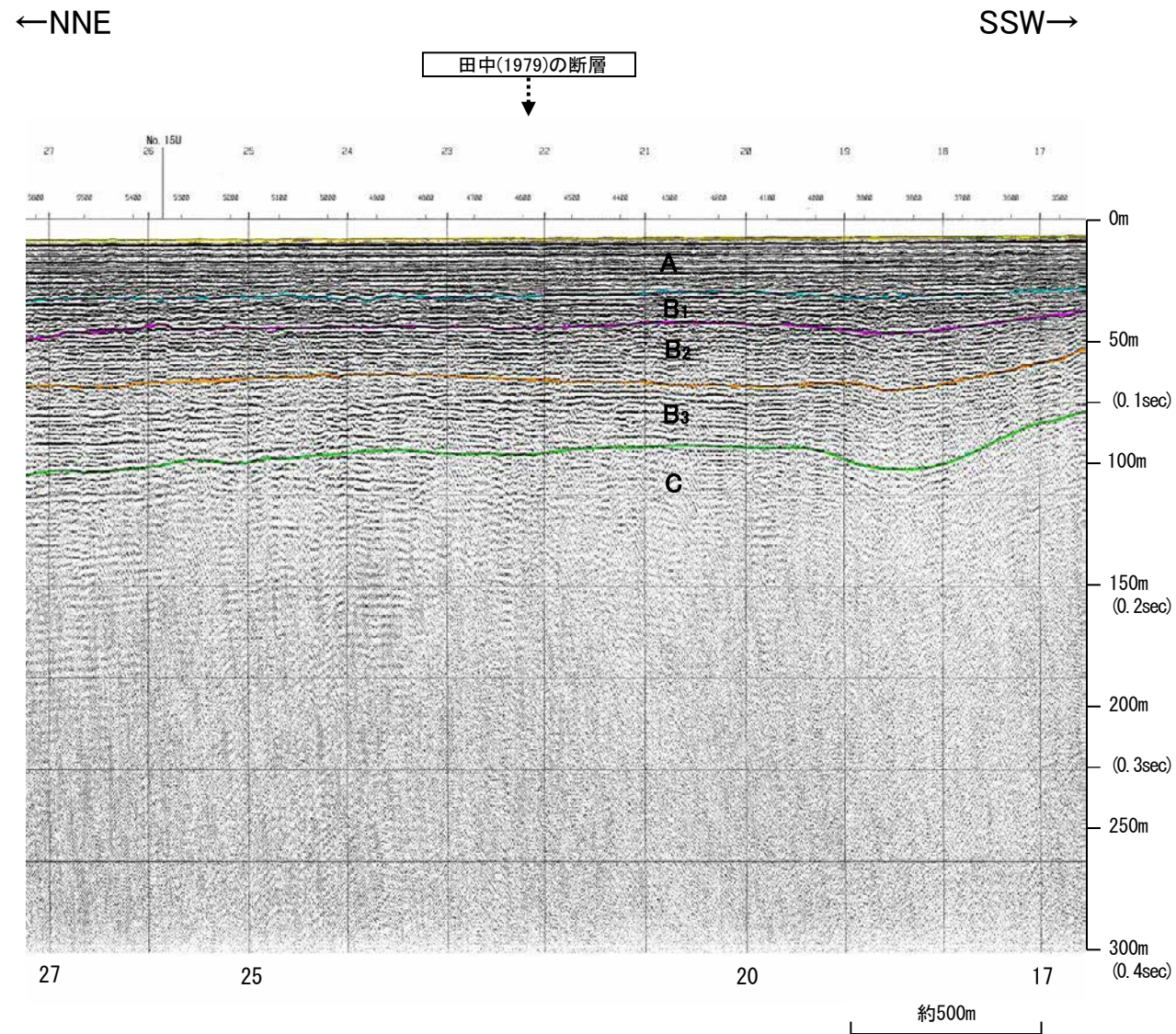
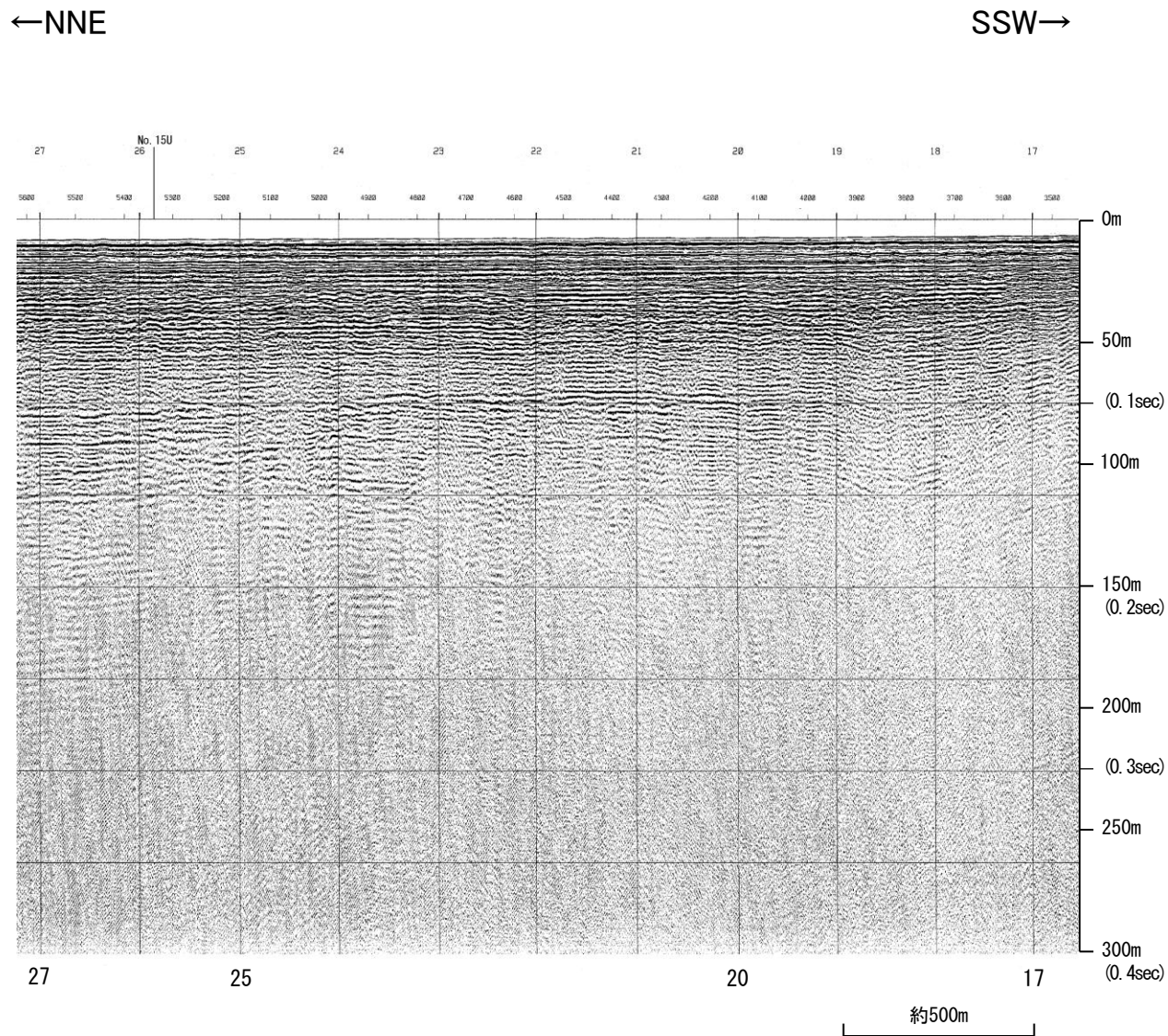
北陸電カスパーカー No.108.5-1-S



地質時代		地層名	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D ₁ 層	
	古第三紀	D ₂ 層	
先第三紀	D ₃ 層		

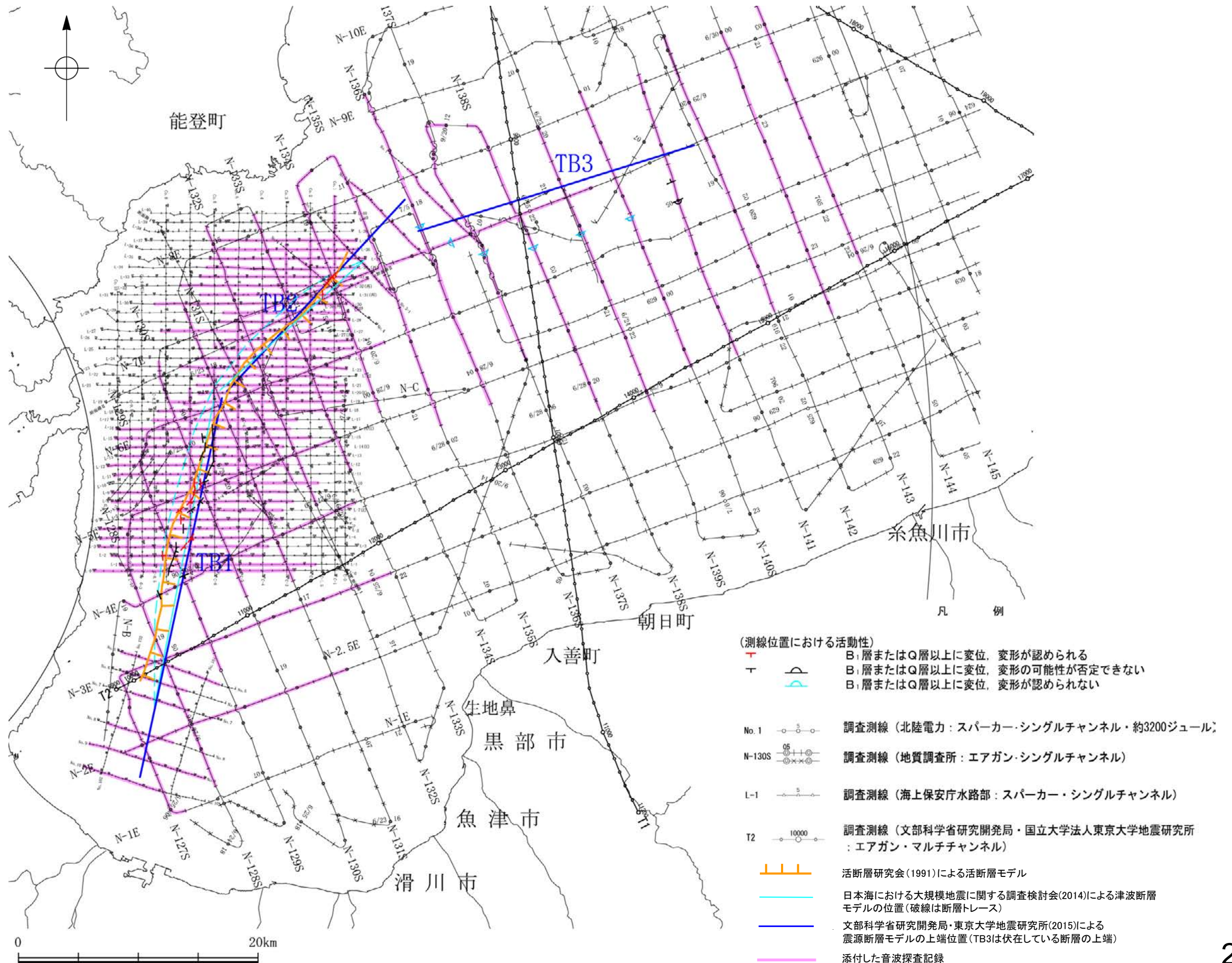


北陸電カブーマー No.109-2U

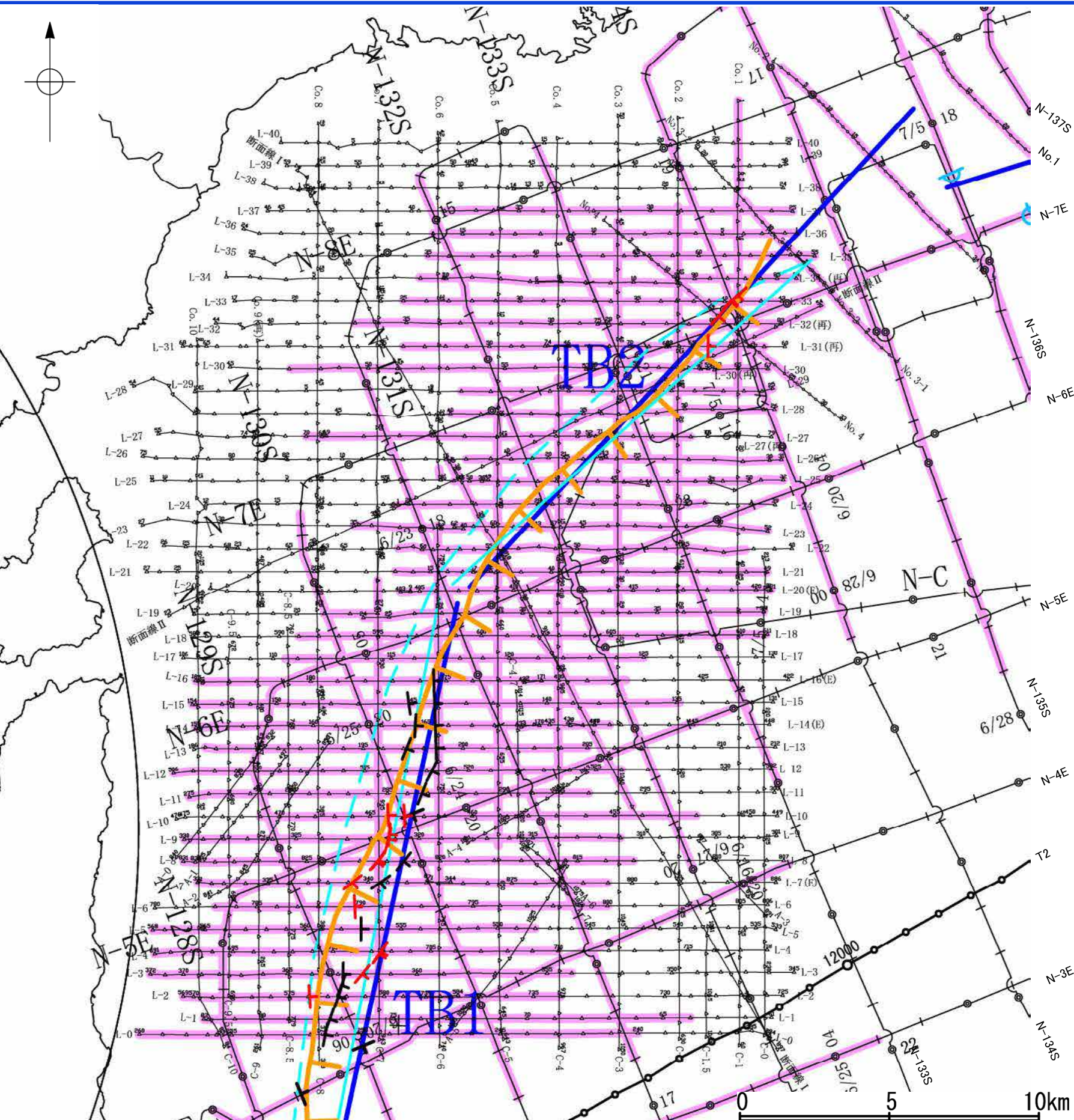


富山湾西側海域の断層

音波探査記録 添付測線①(富山湾西側海域の断層)



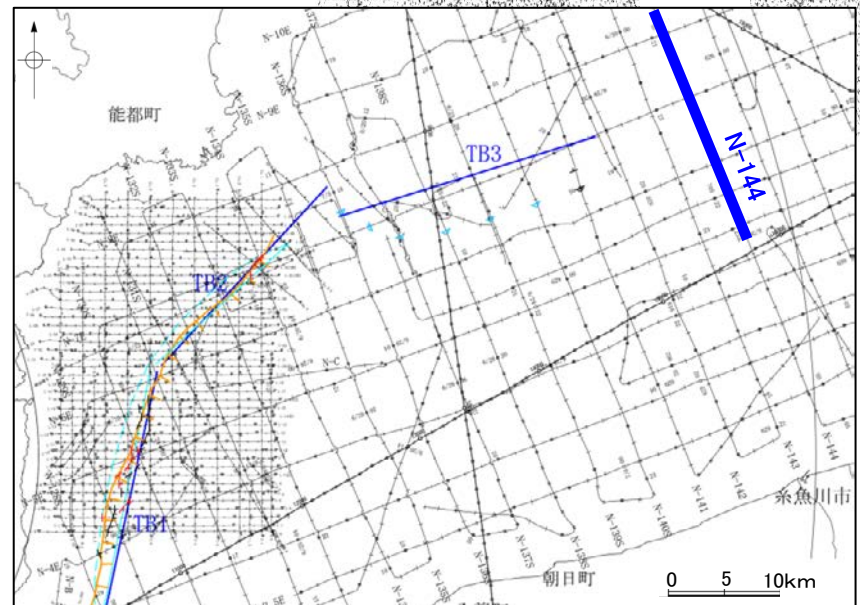
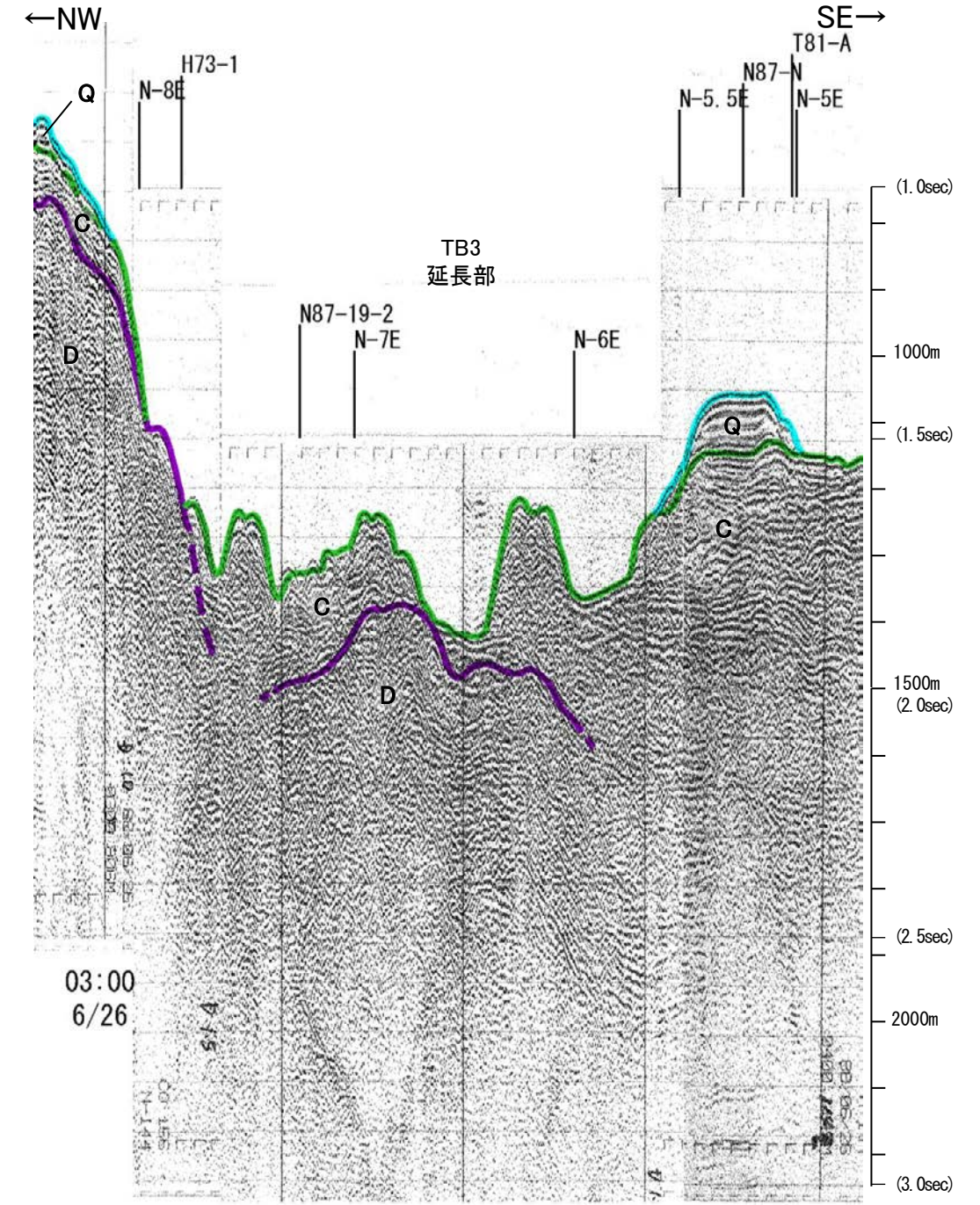
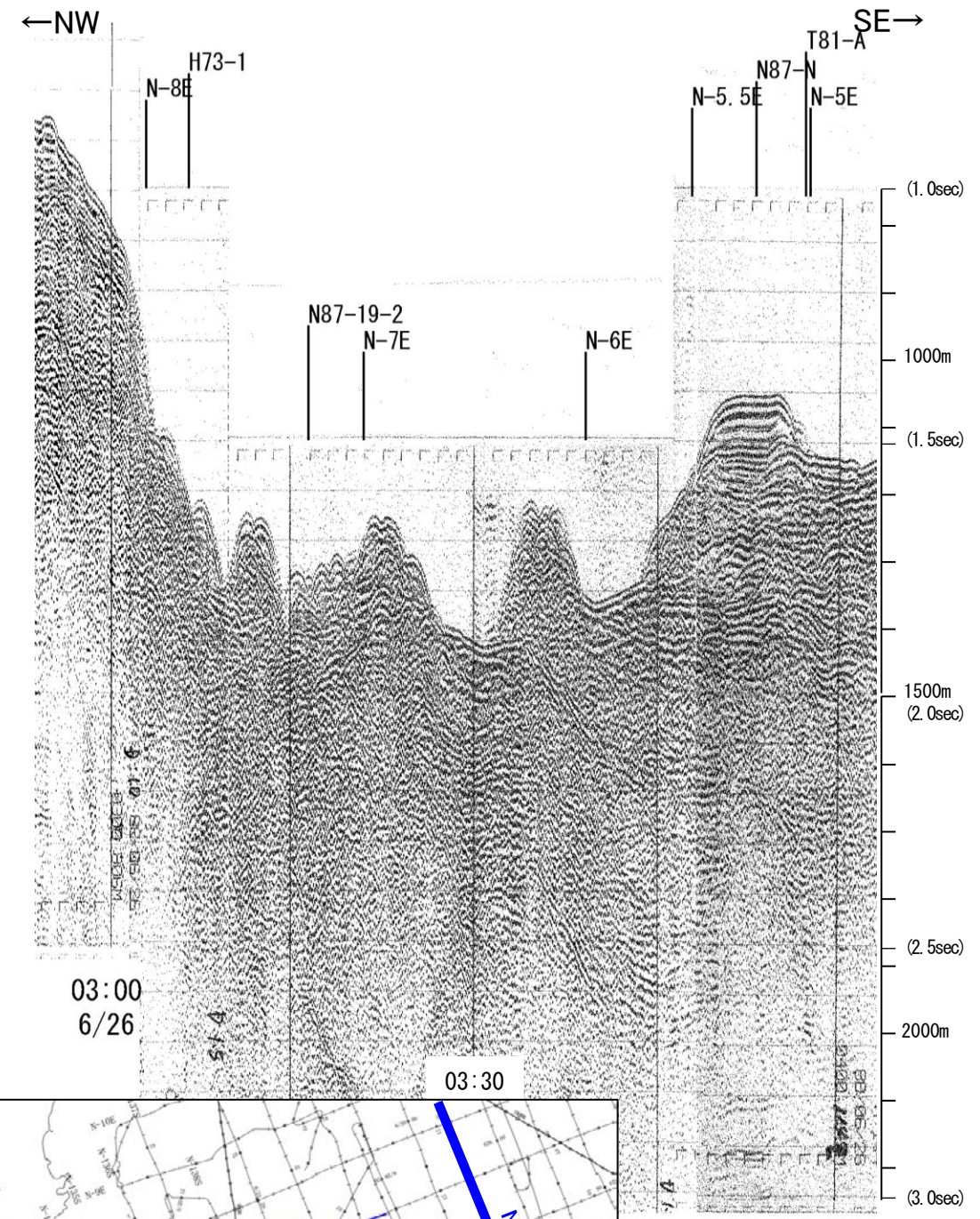
音波探査記録 添付測線②(富山湾西側海域の断層)



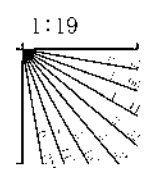
凡 例

- (測線位置における活動性)
 - B₁層またはQ層以上に変位, 変形が認められる
 - B₁層またはQ層以上に変位, 変形の可能性が否定できない
 - B₁層またはQ層以上に変位, 変形が認められない
- No. 1 — 調査測線 (北陸電力: スーパーカー・シングルチャンネル・約3200ジュール)
- N-130S — 調査測線 (地質調査所: エアガン・シングルチャンネル)
- L-1 — 調査測線 (海上保安庁水路部: スーパーカー・シングルチャンネル)
- T2 — 調査測線 (文部科学省研究開発局・国立大学法人東京大学地震研究所: エアガン・マルチチャンネル)
- 活断層研究会(1991)による活断層モデル
- 日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)による津波断層モデルの位置(破線は断層トレース)
- 文部科学省研究開発局・東京大学地震研究所(2015)による震源断層モデルの上端位置(TB3は伏在している断層の上端)
- 添付した音波探査記録

地質調査所エアガン N-144

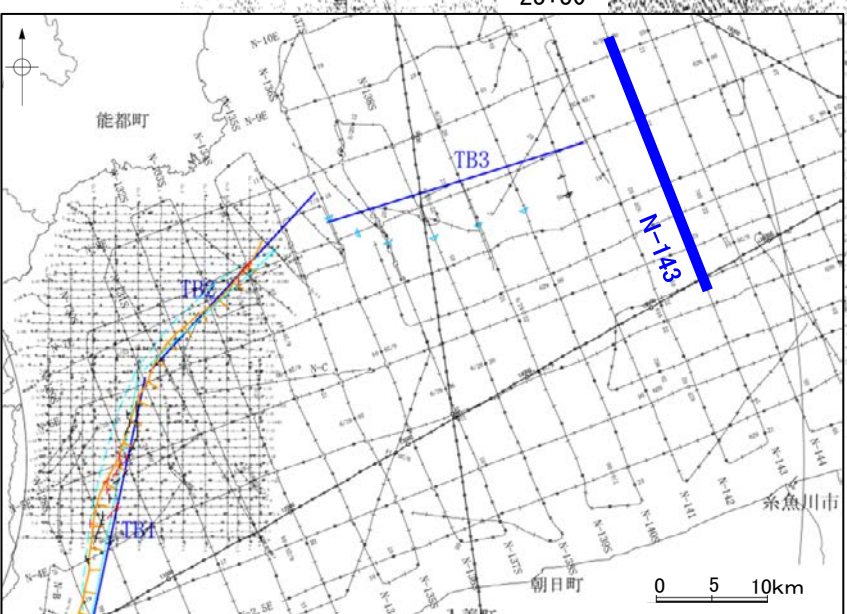
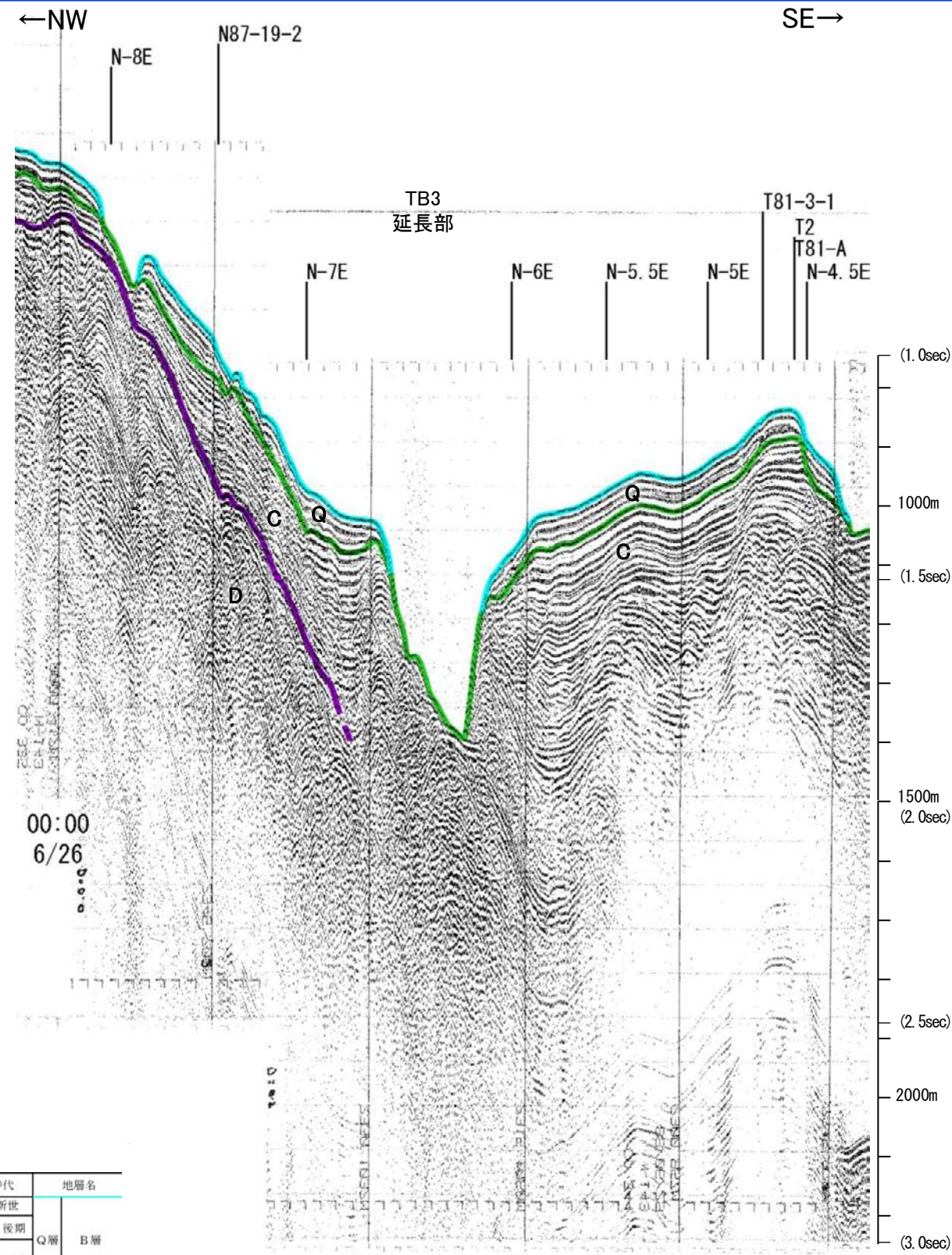
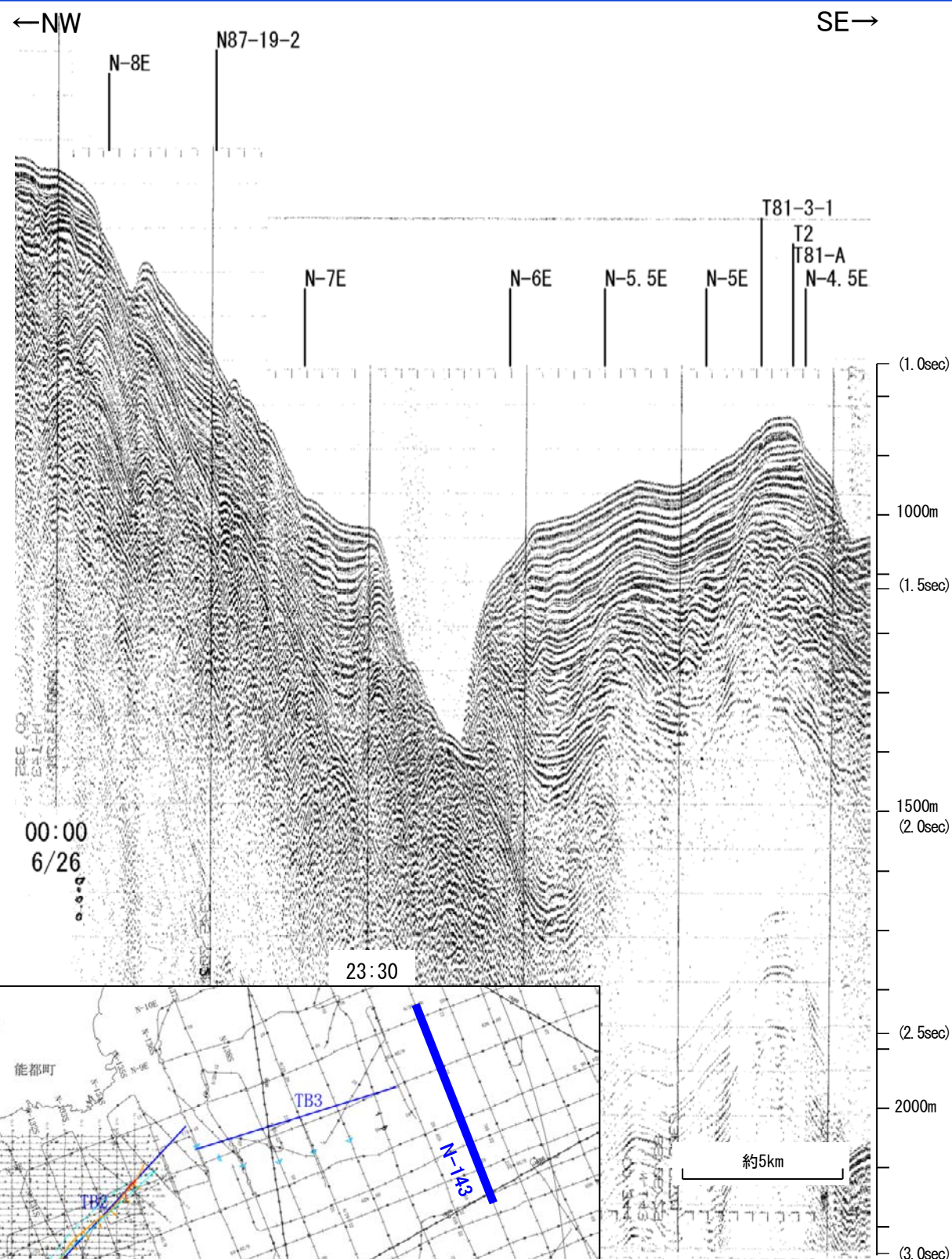


地質時代	地層名	
第四紀	完新世	
第四紀	後期	Q層 B層
	中期	C層
	前期	
第三紀	鮮新世	D層
第三紀	中新世	
第三紀	古第三紀	D層
第三紀	先第三紀	

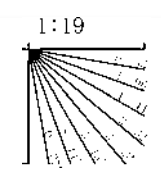


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-143

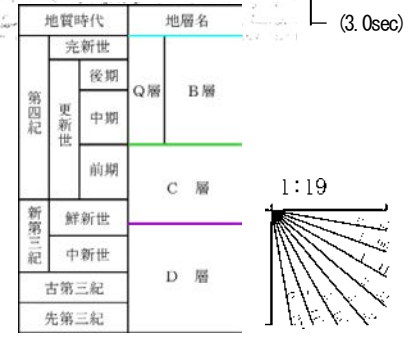
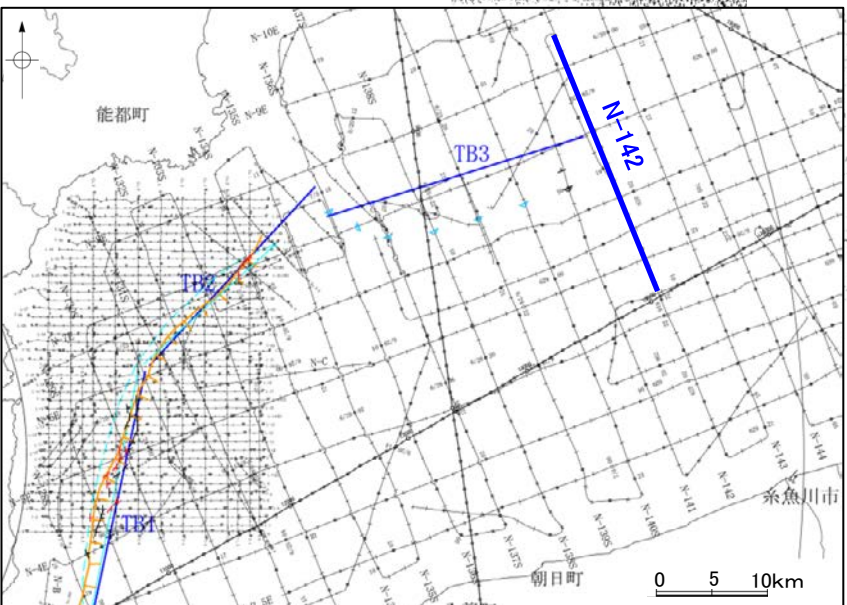
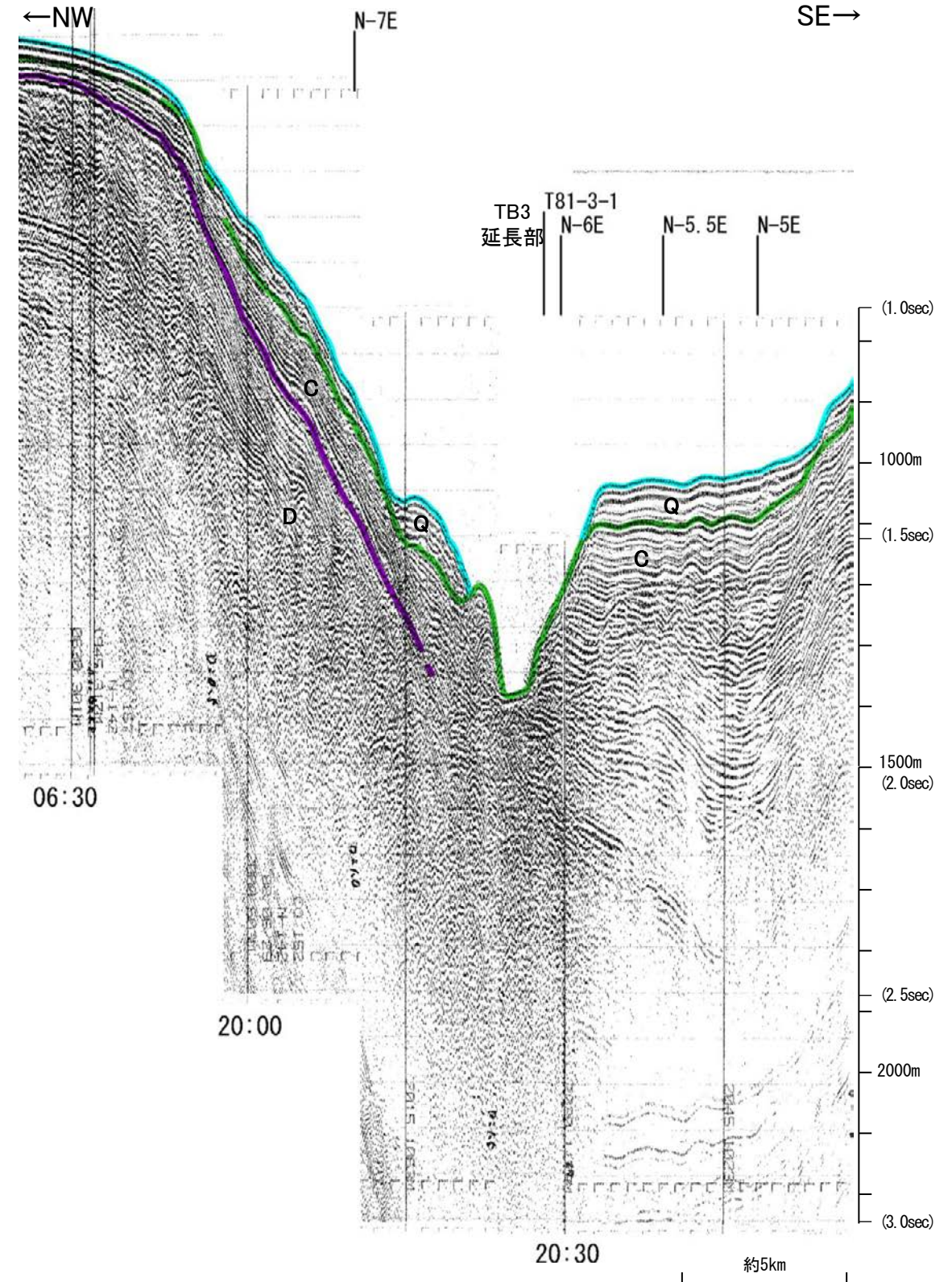
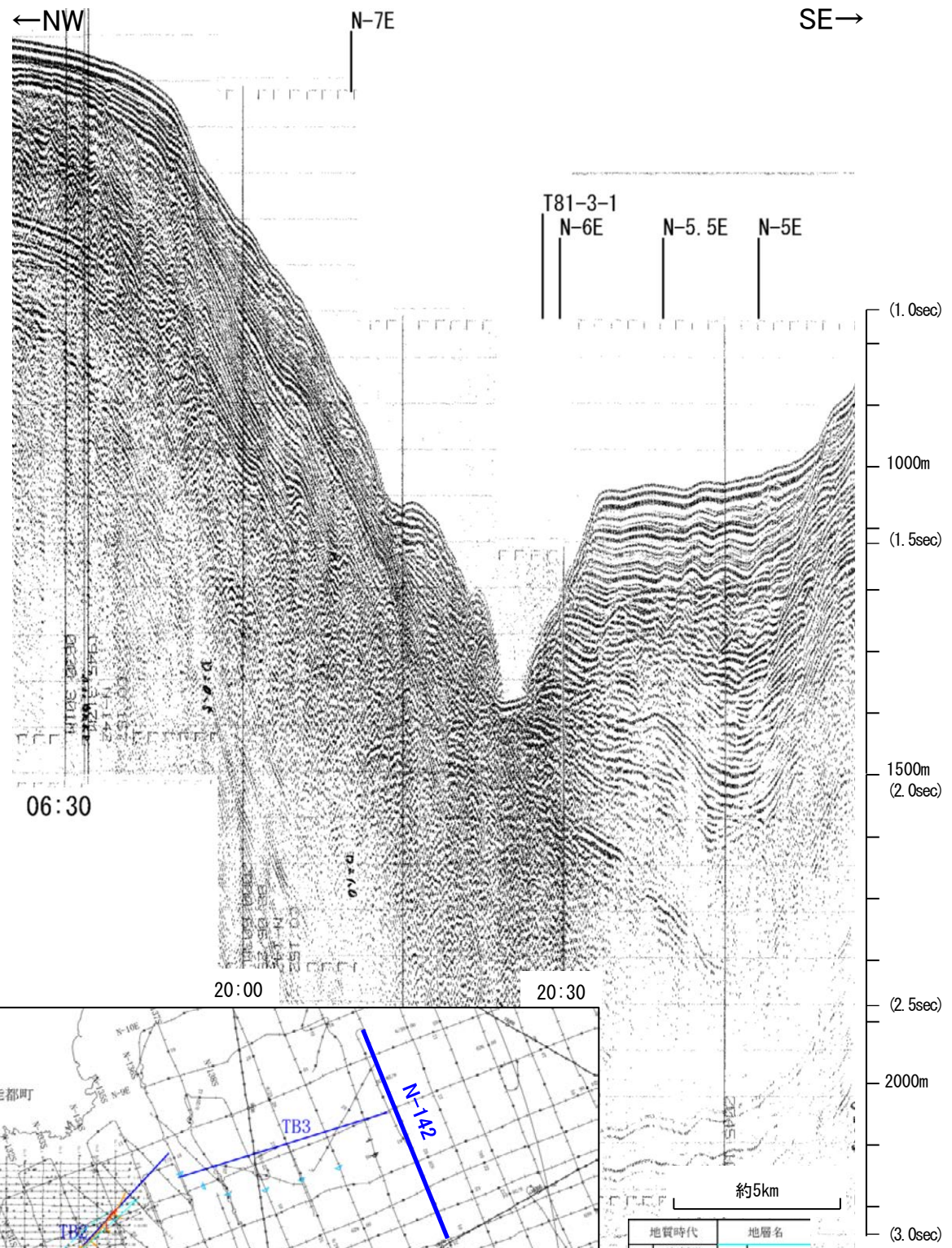


地質時代	地層名	
第四紀	更新世 後期	Q層 B層
	更新世 中期	
	更新世 前期	C層
	新第三紀 鮮新世	D層
新第三紀 中新世		
古第三紀		
先第三紀		



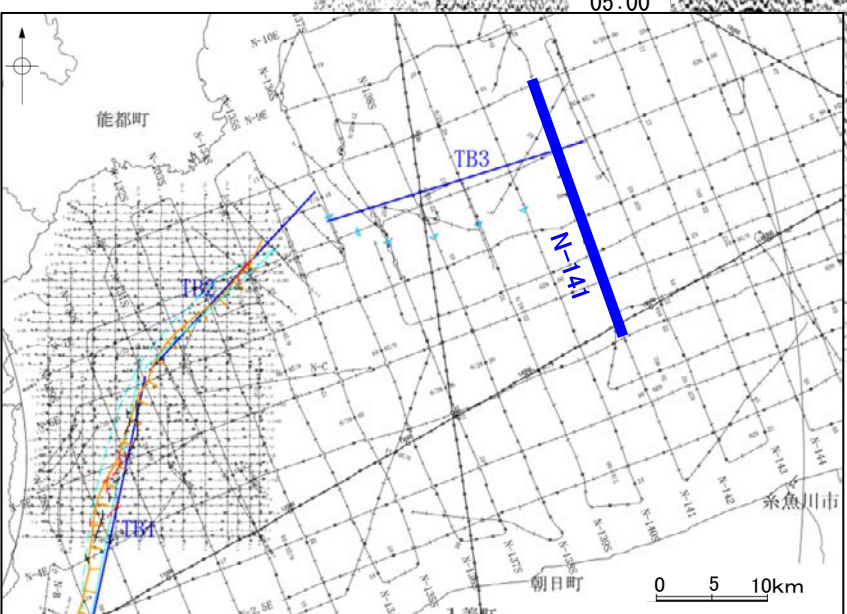
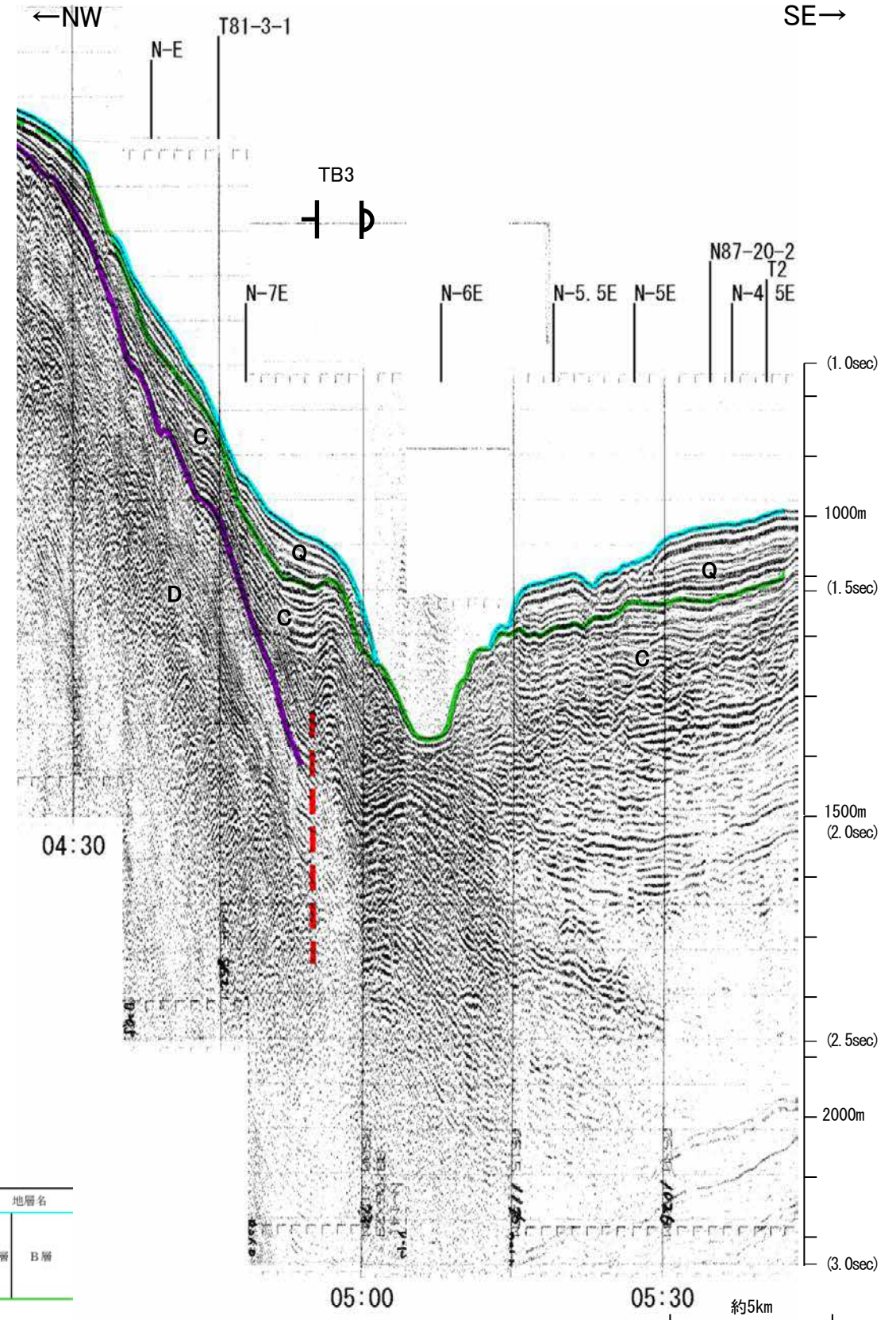
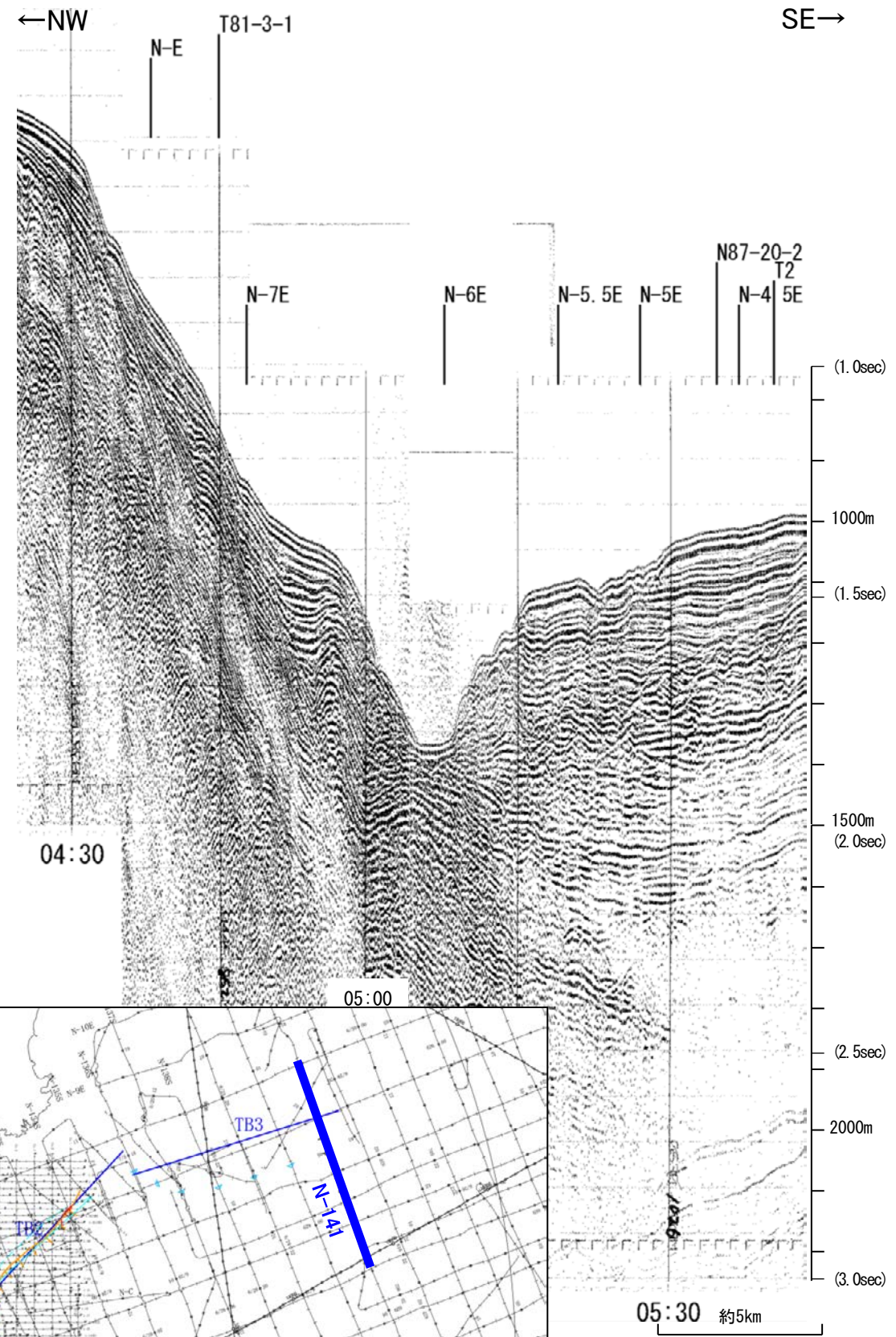
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-142

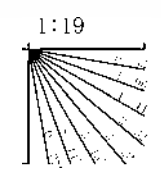


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-141

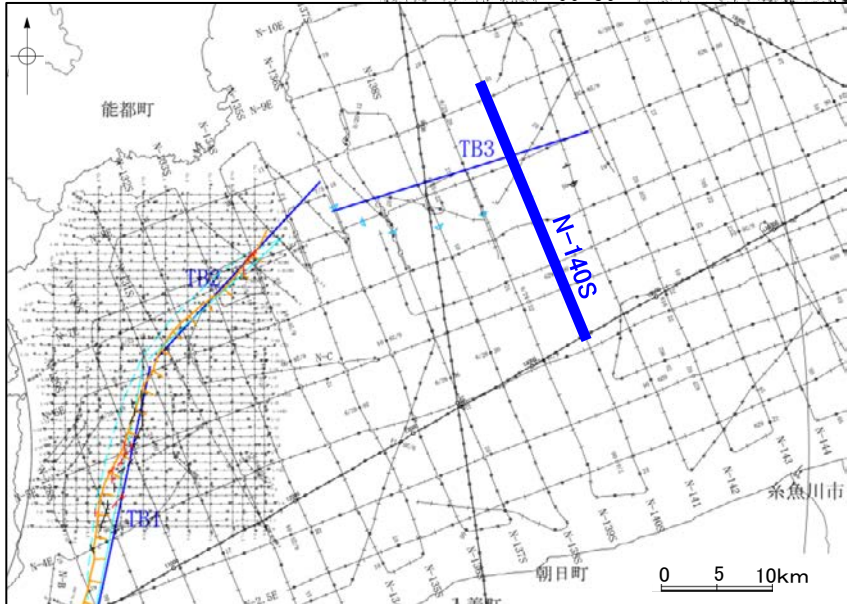
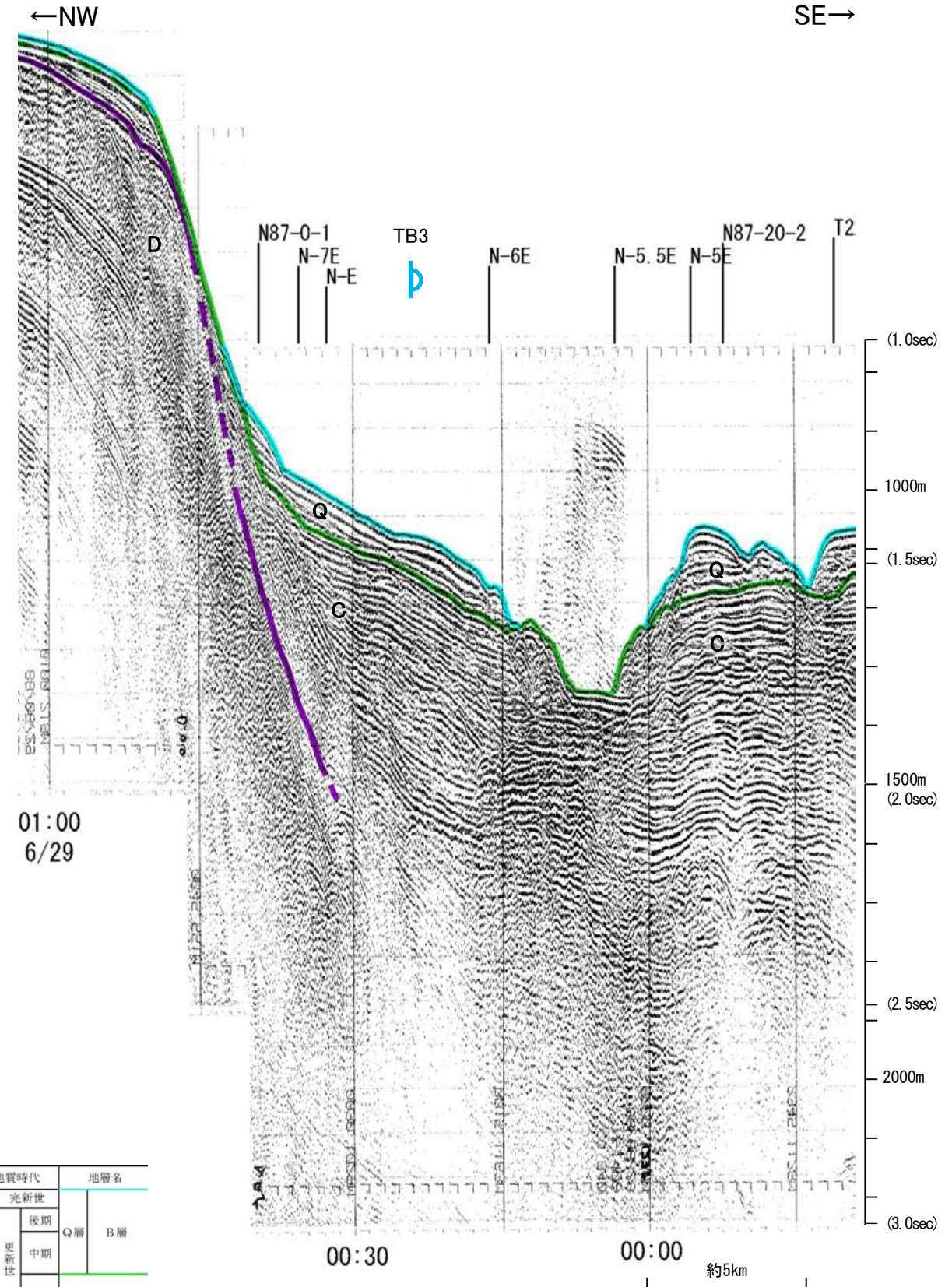
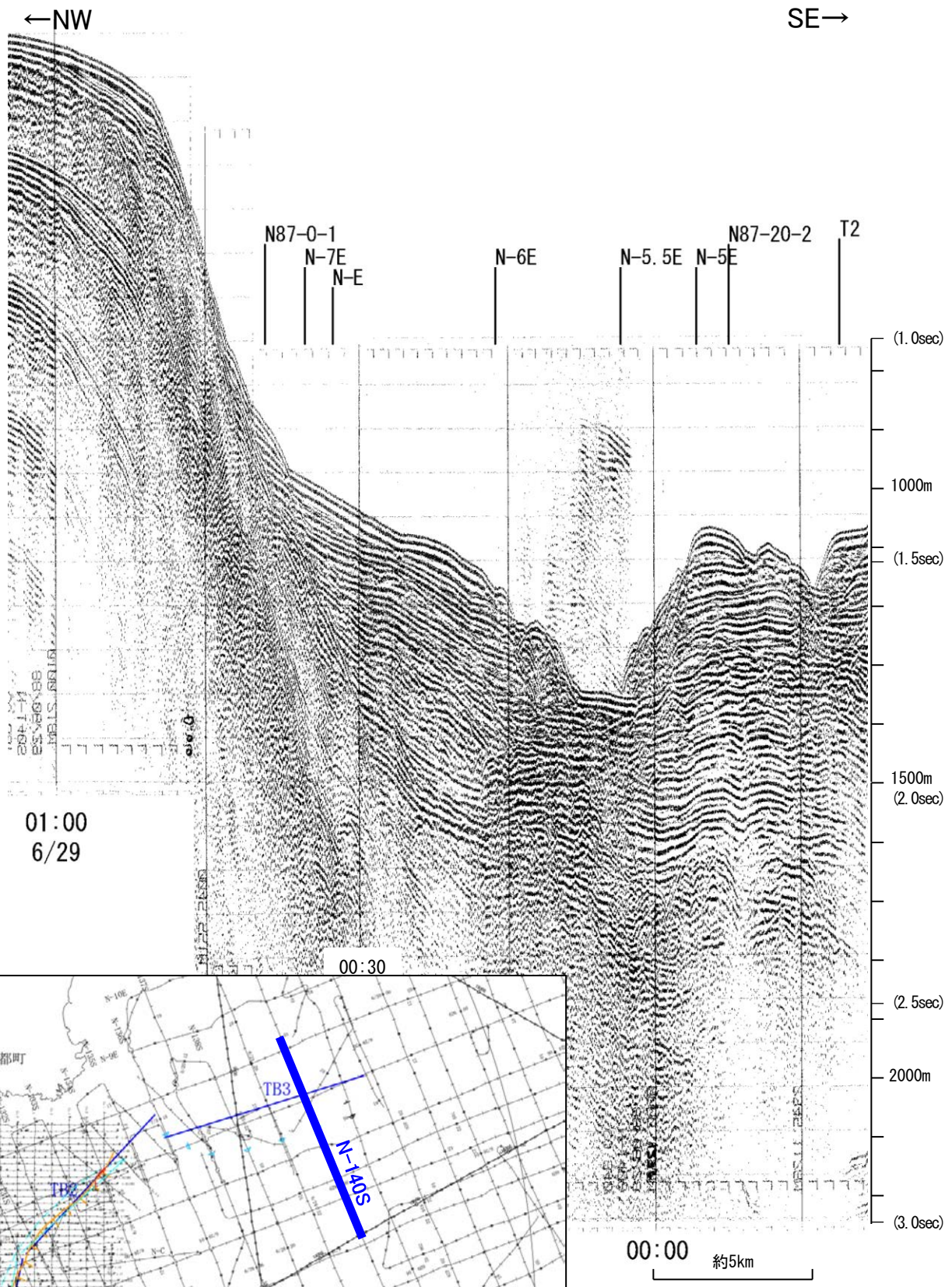


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	Q層	B層
	後期		
	中期		
	前期		
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世		
古第三紀		D層	
先第三紀			

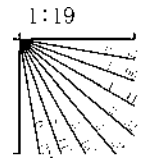


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-140S

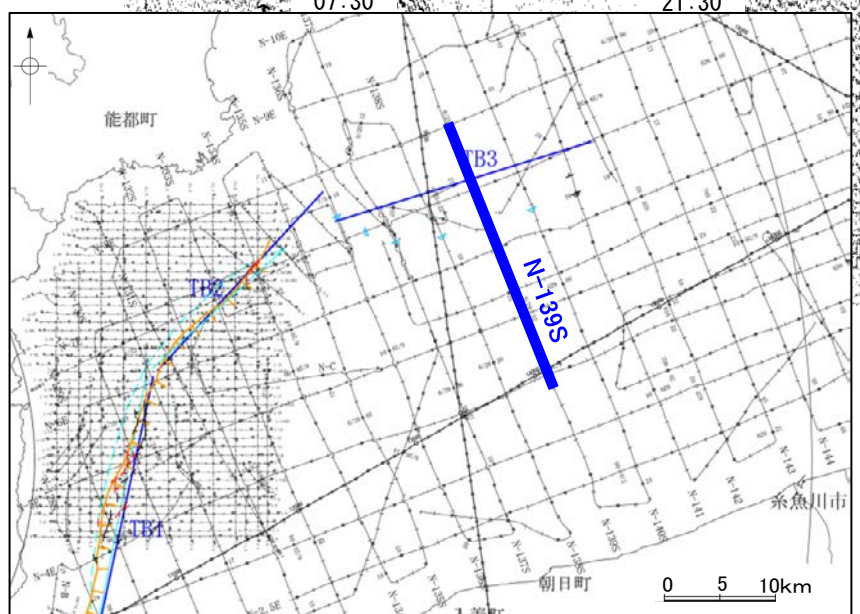
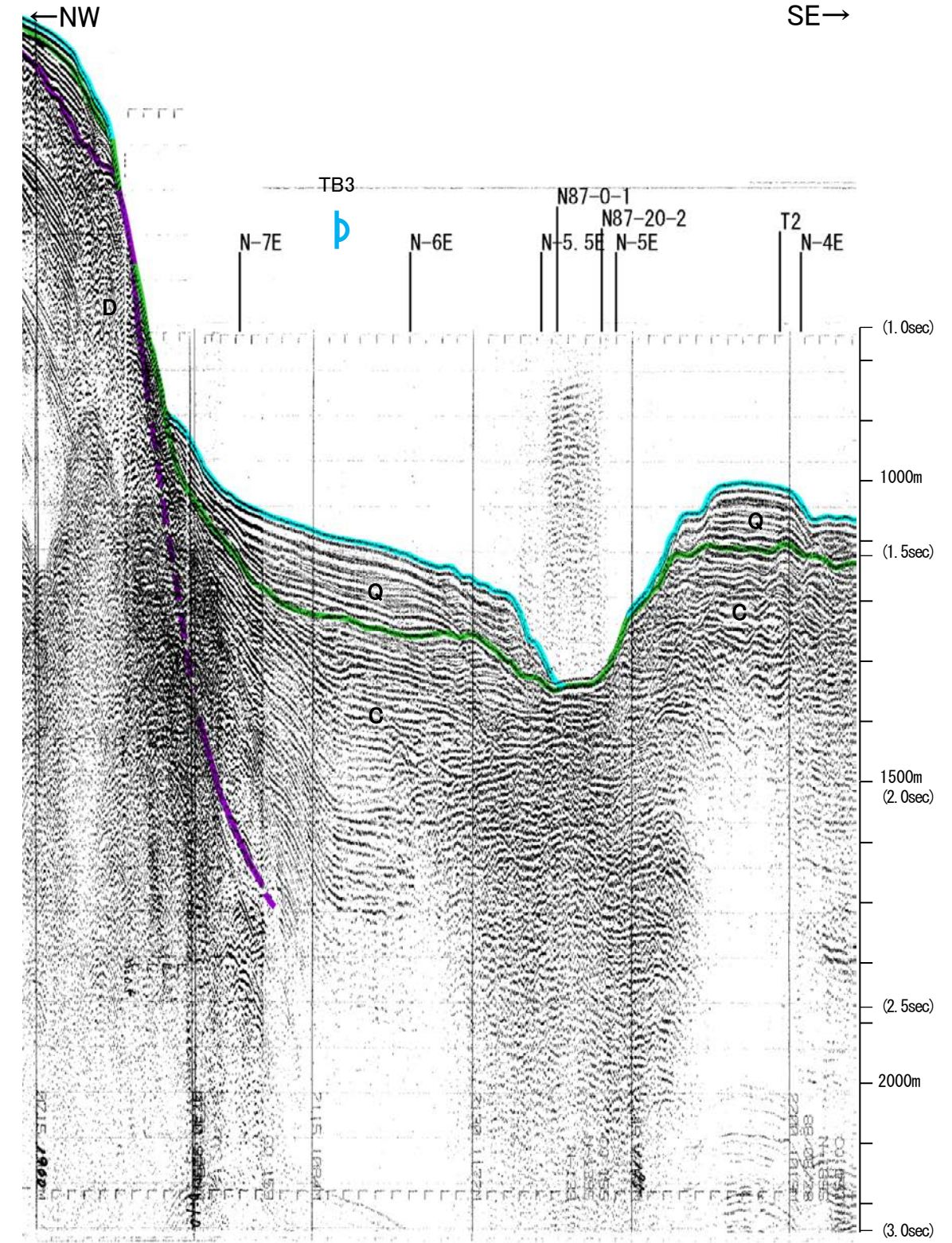
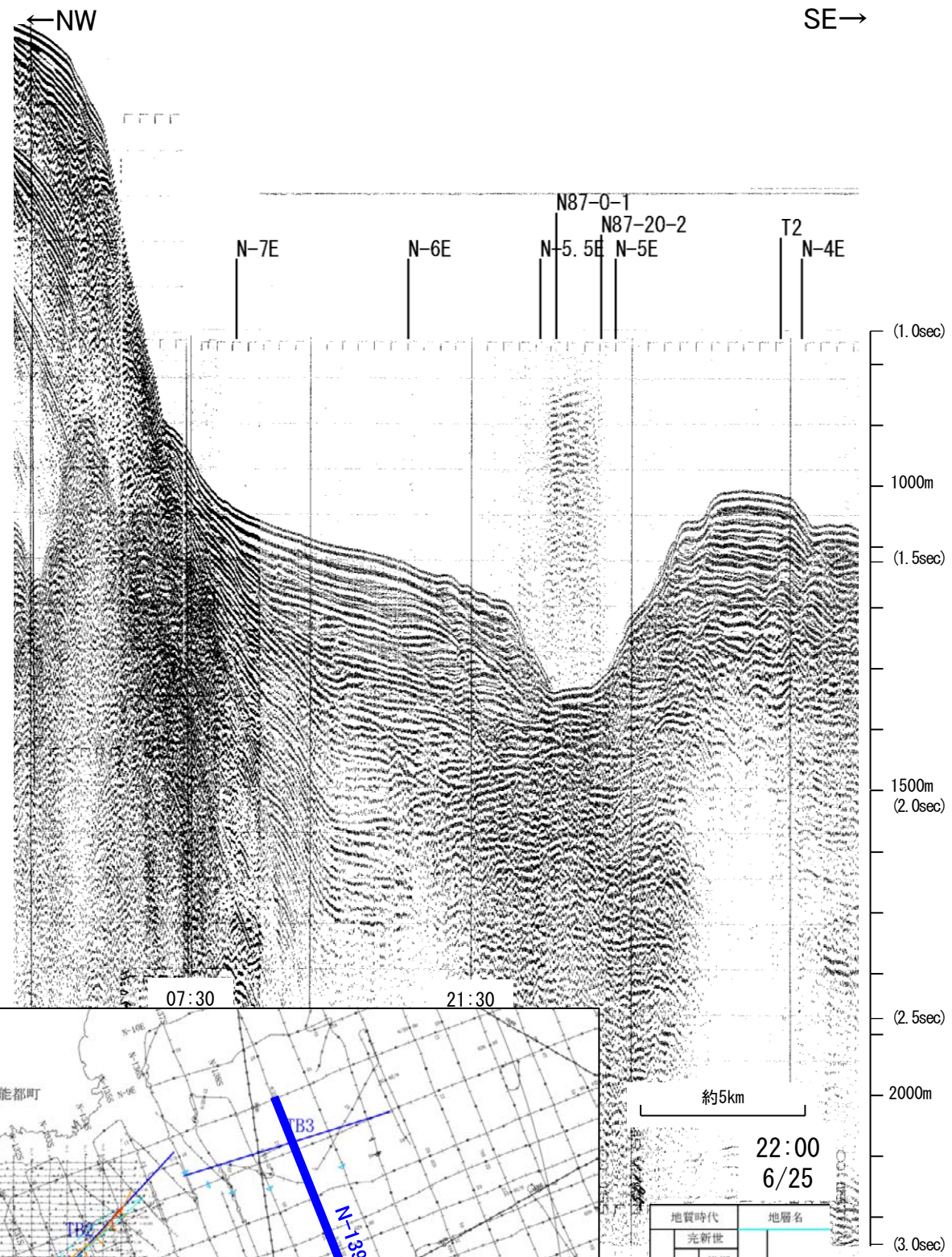


地質時代		地層名	
第四紀	完新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			



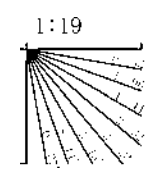
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-139S



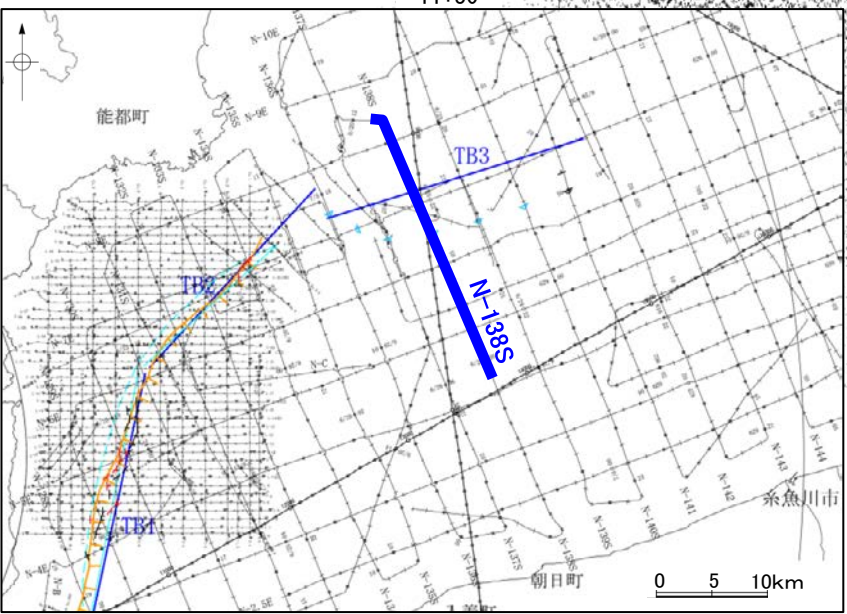
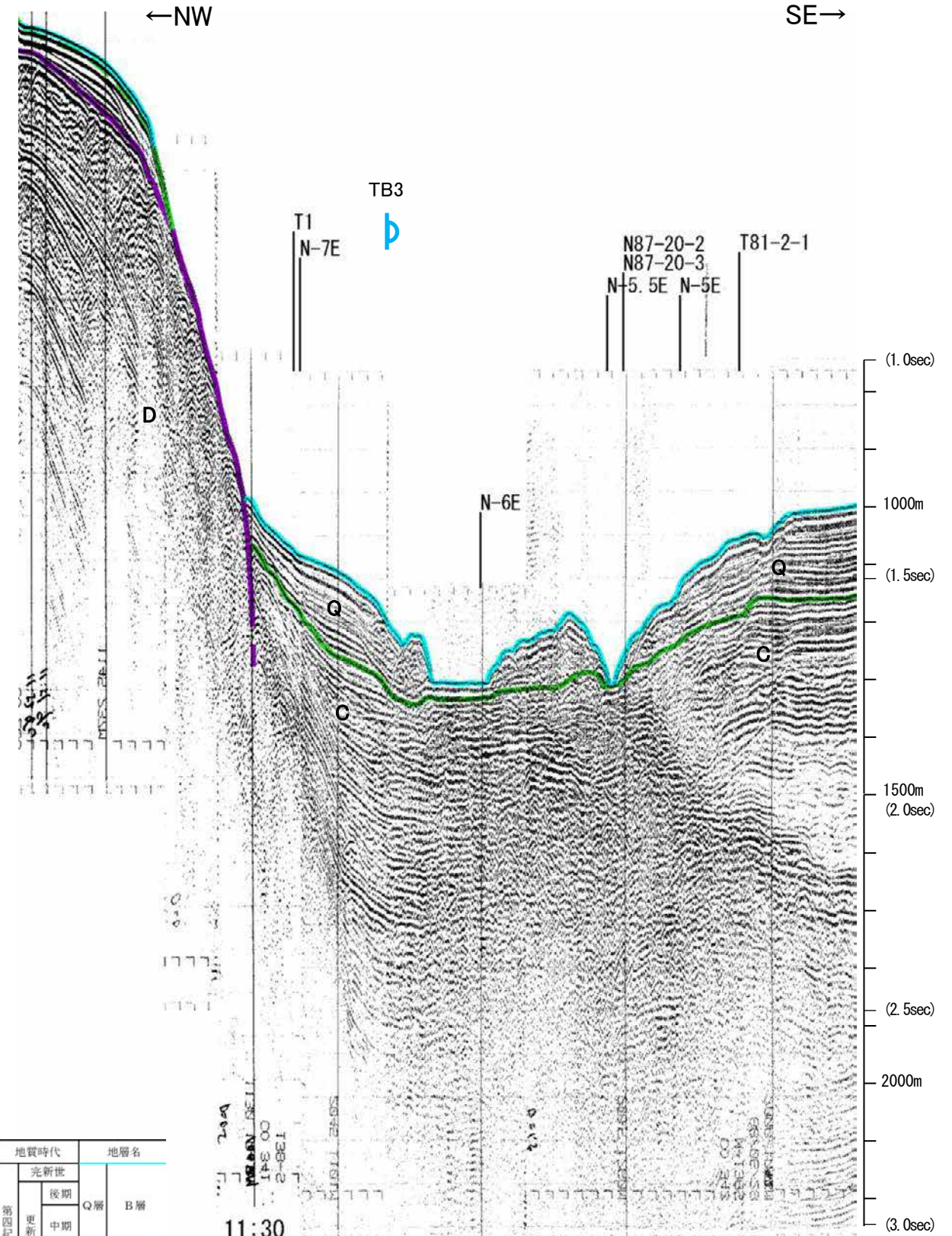
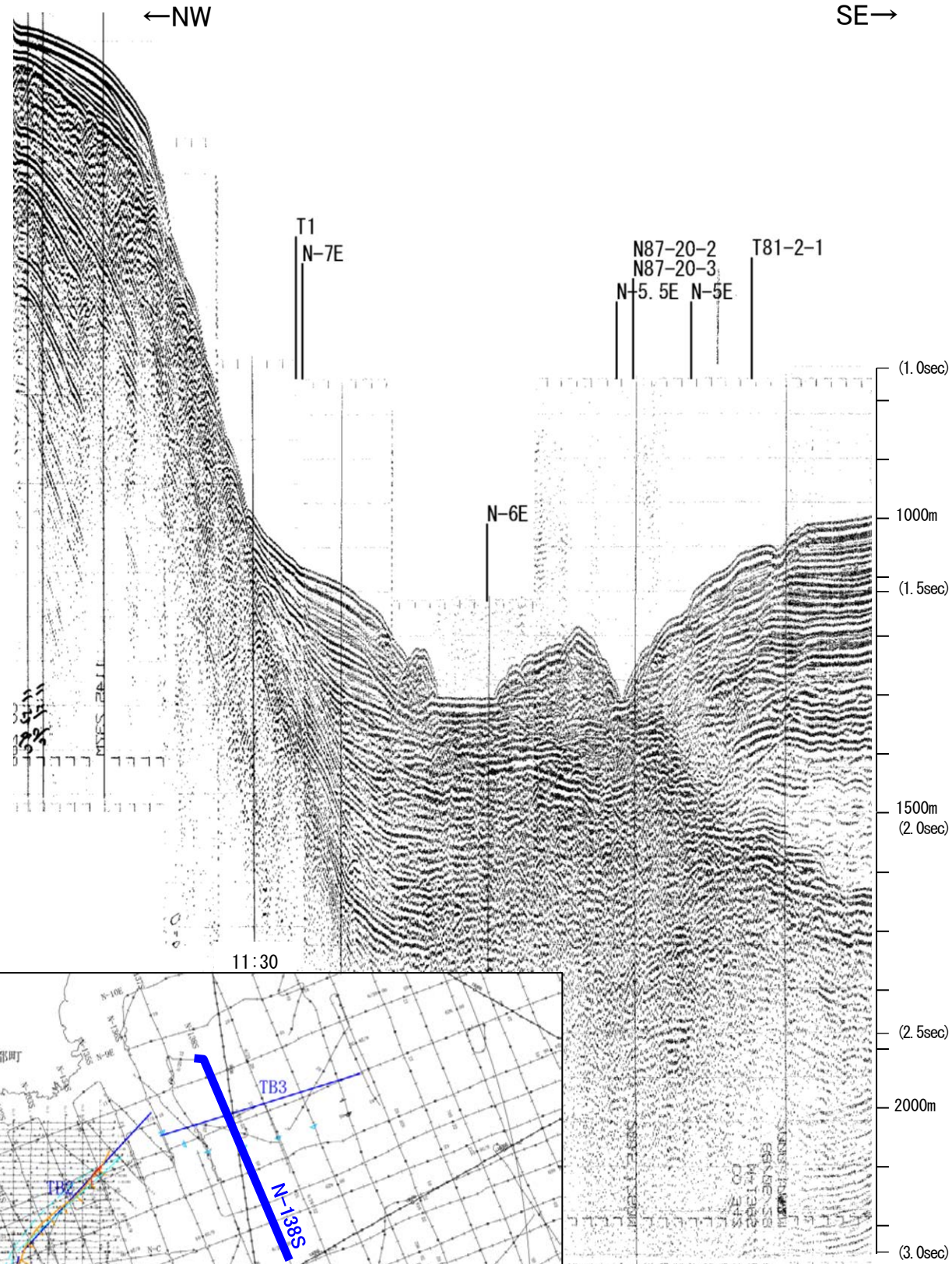
22:00
6/25

地質時代	地層名	
第四紀	先新世	
	後期	Q層 B層
	中期	
	前期	C層
新第三紀	鮮新世	
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		



この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

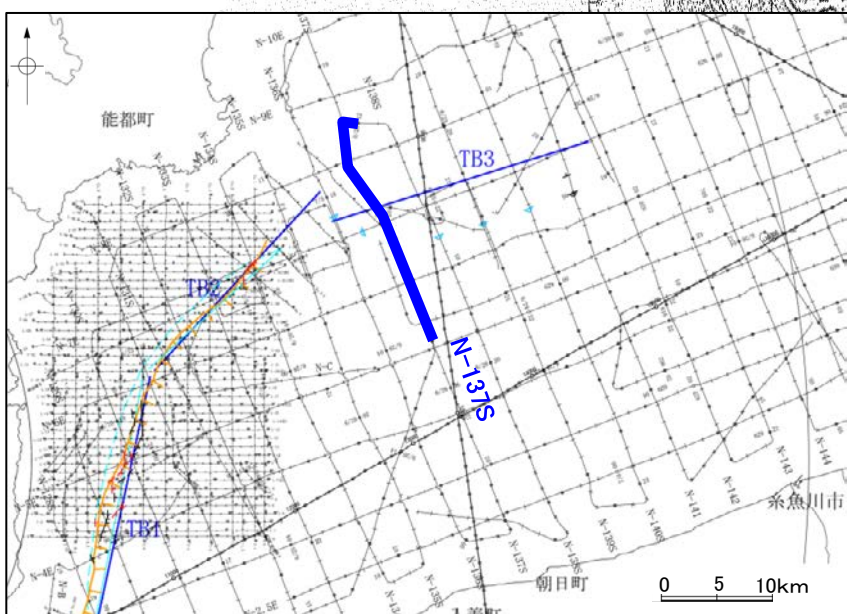
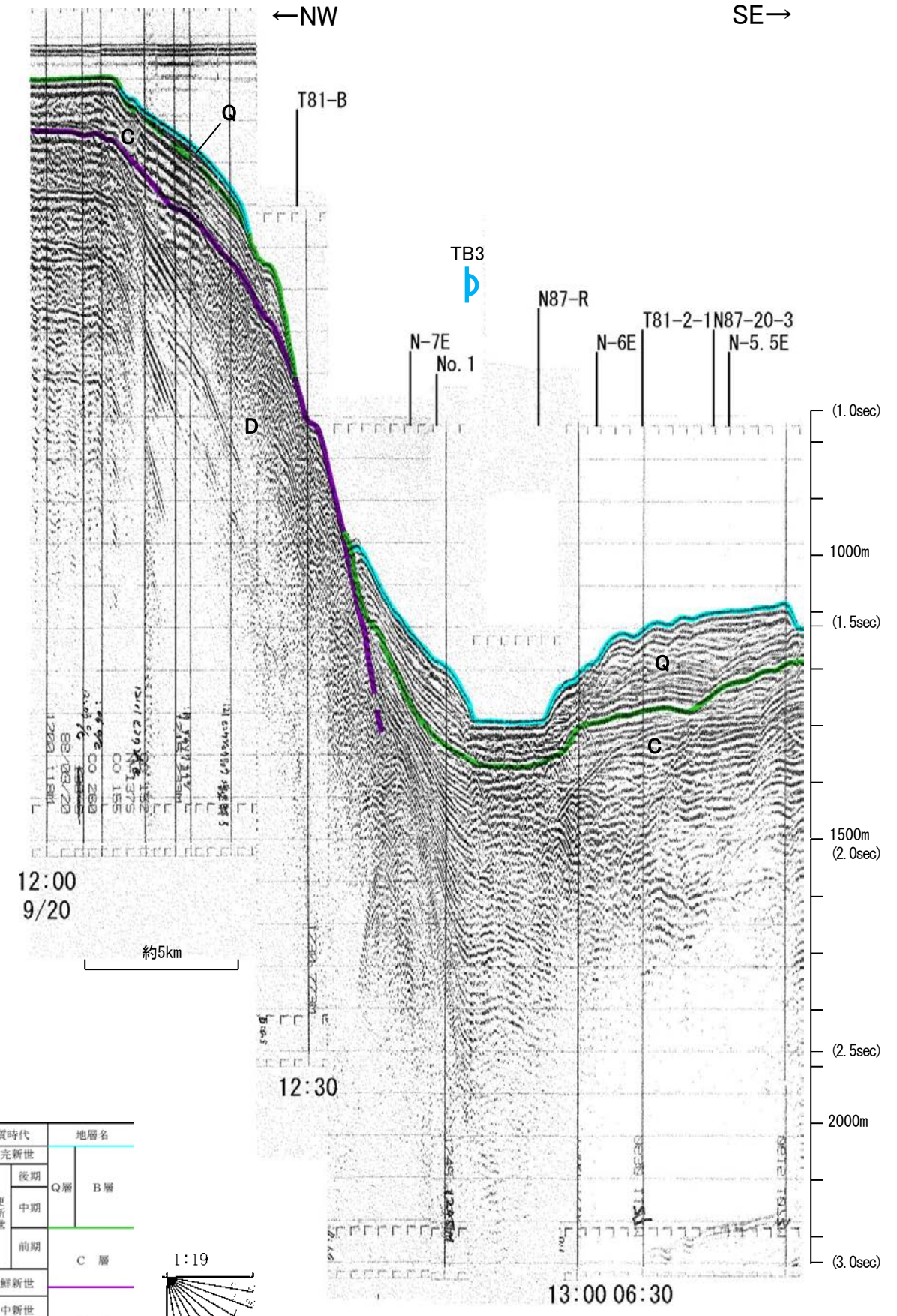
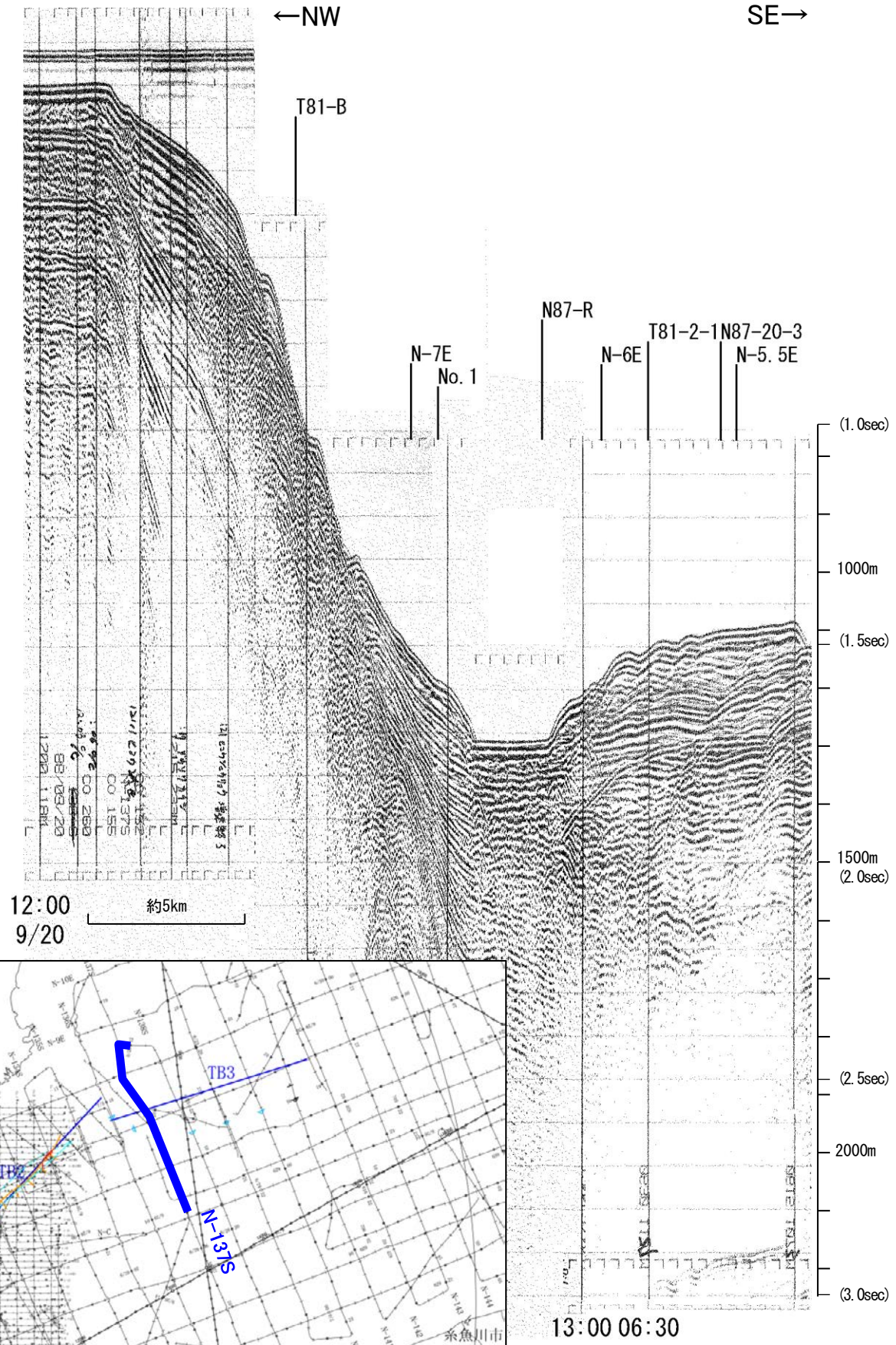
地質調査所エアガン N-138S



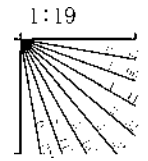
地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	Q層 B層
		中期	
	前期	C層	
新第三紀	鮮新世		D層
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-137S



地質時代	地層名	
第四紀	更新世 後期	Q層 B層
	更新世 中期	
	更新世 前期	C層
	鮮新世	
新第三紀	中新世	D層
先第三紀		

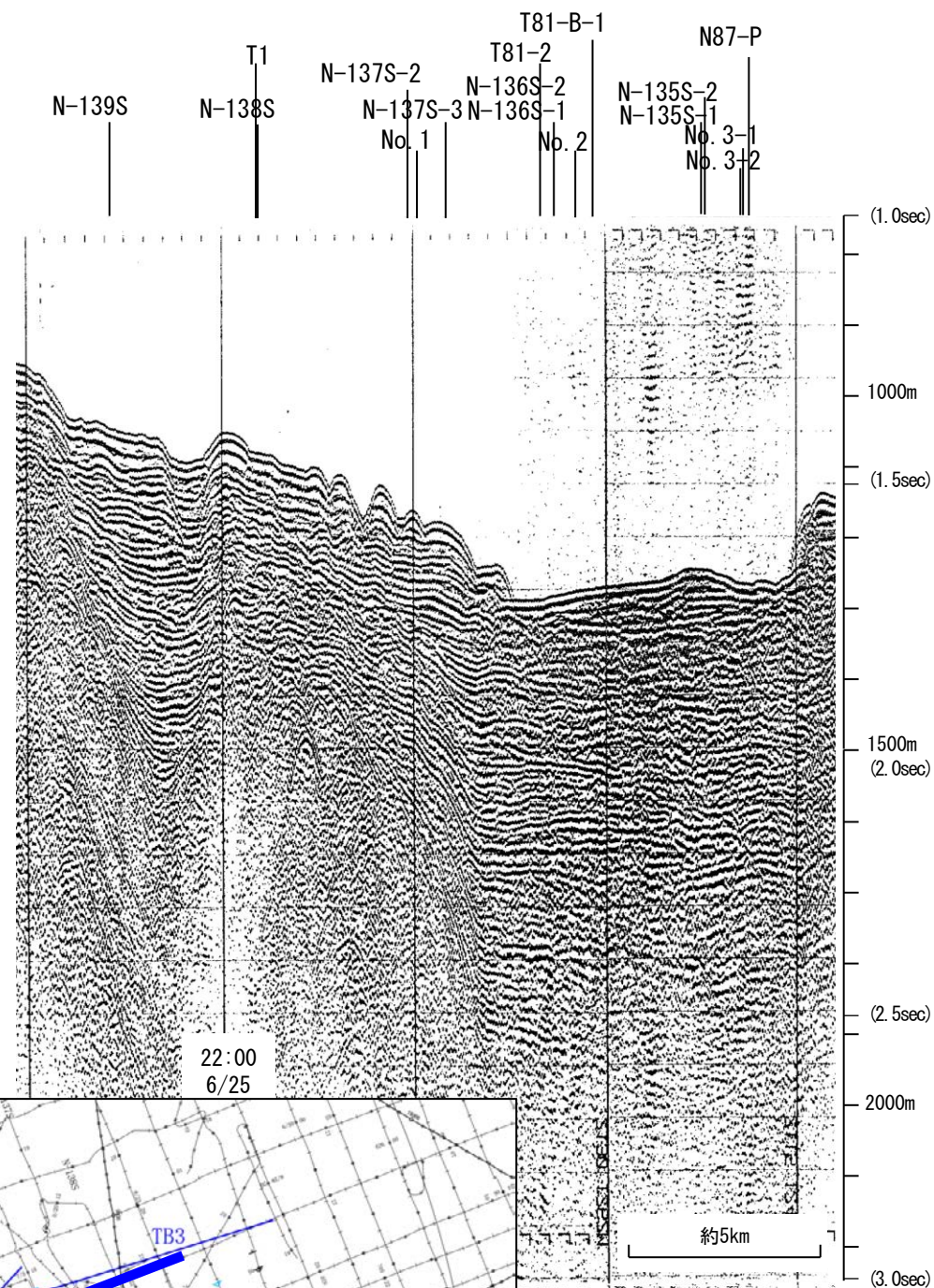


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

地質調査所エアガン N-7E

←NE

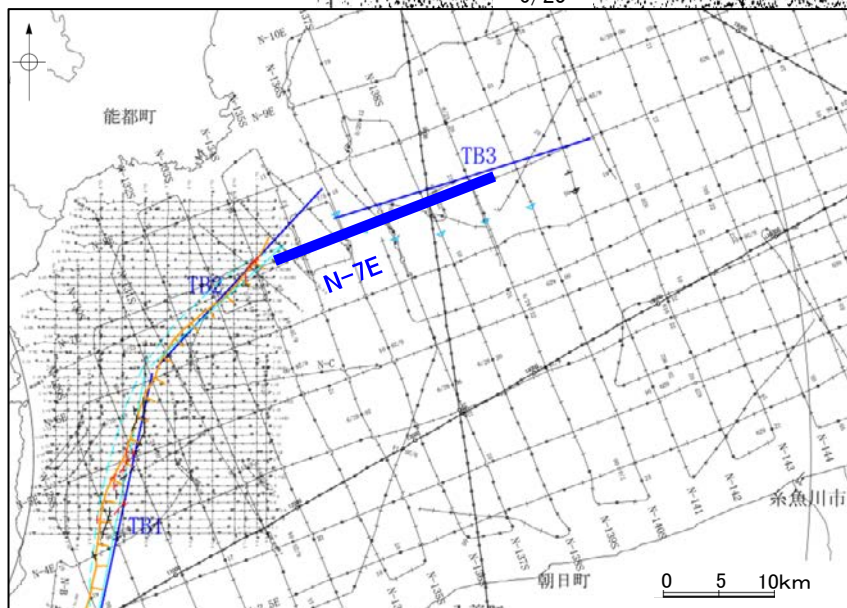
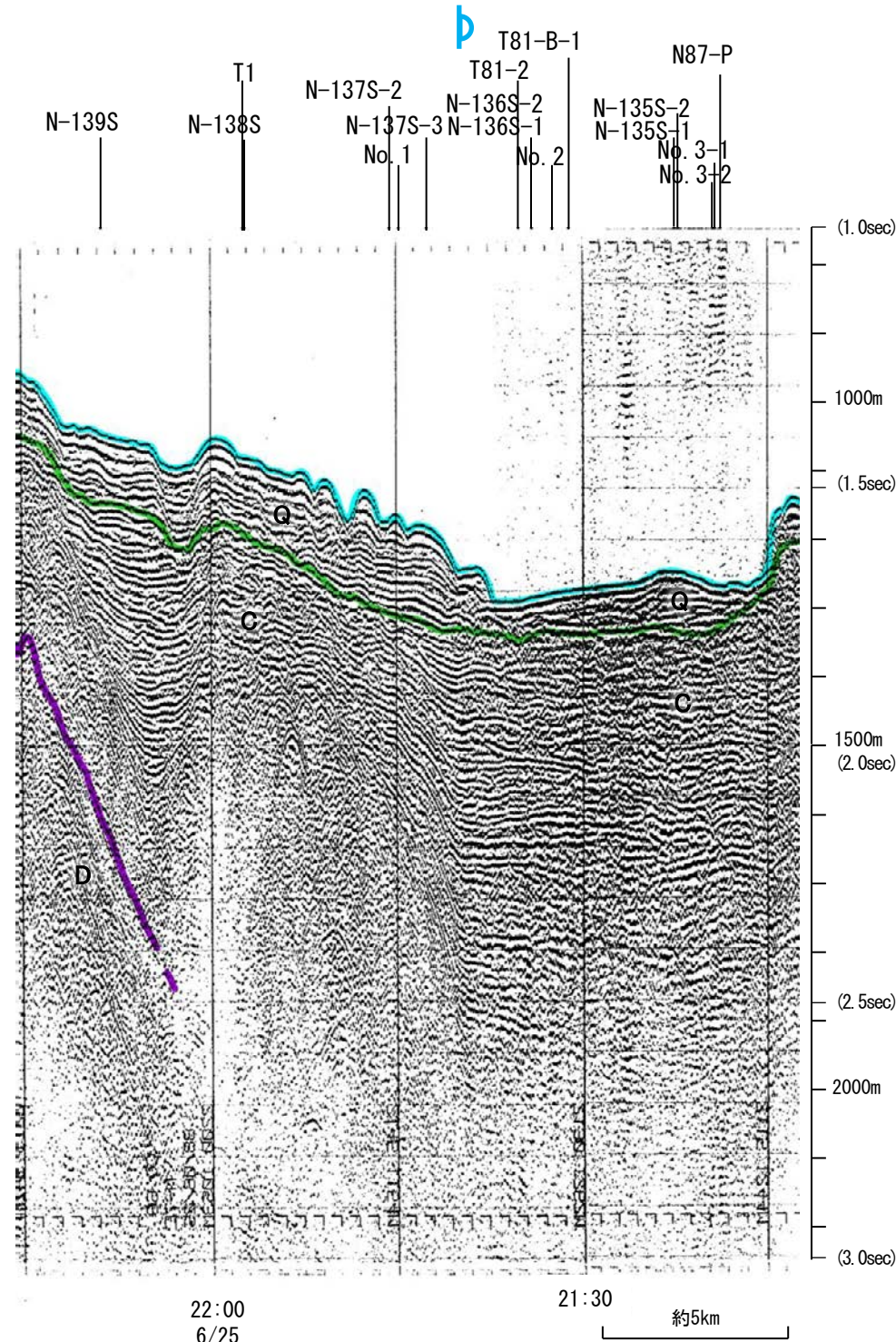
SW→



←NE

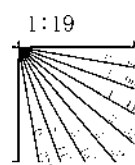
TB3

SW→



21:30

地質時代	地層名
完新世	
第四紀	後期 Q層 B層
	中期 C層
	前期 C層
鮮新世	
中新世	
古第三紀	D層
先第三紀	



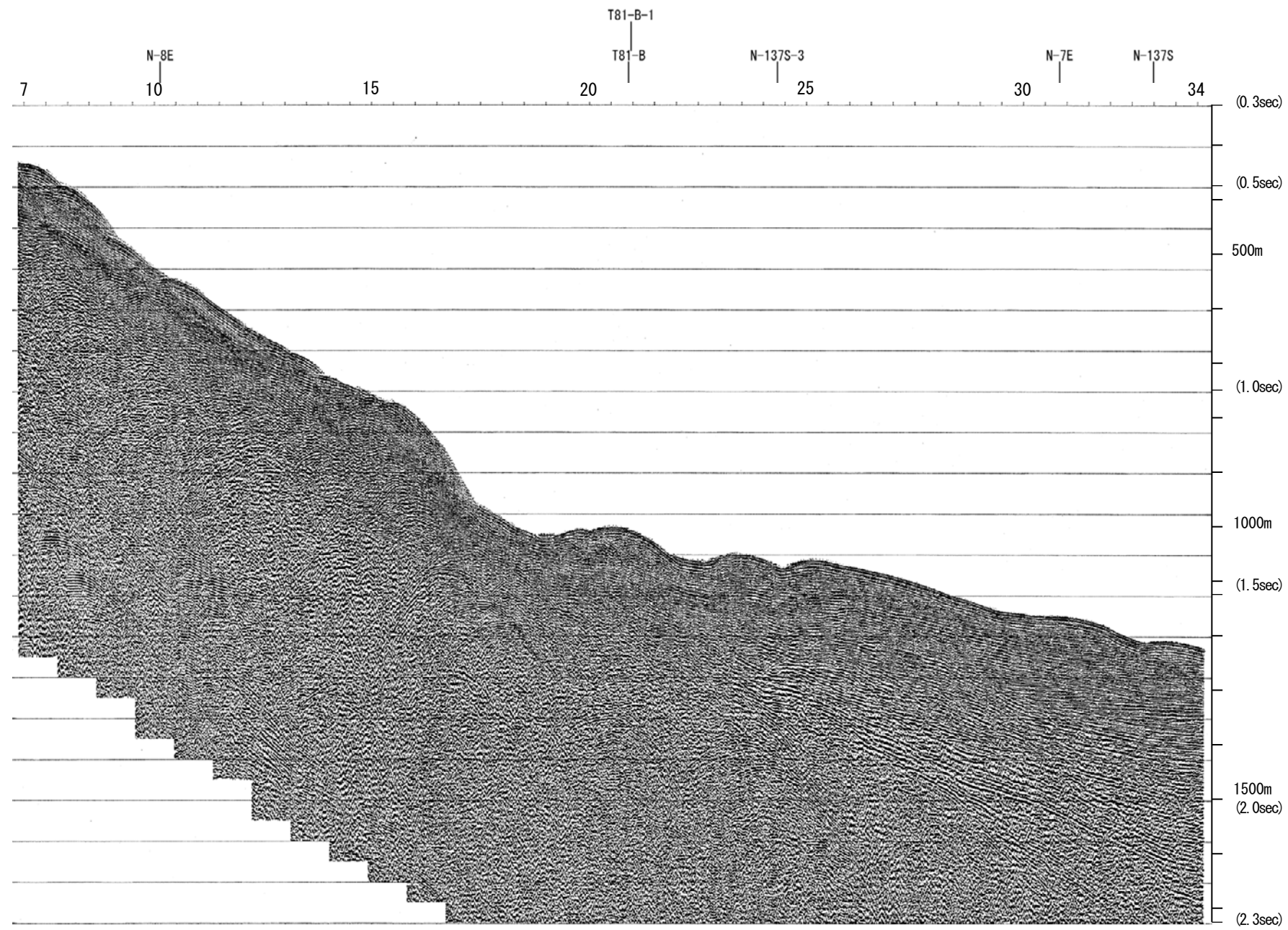
この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

2-12-12

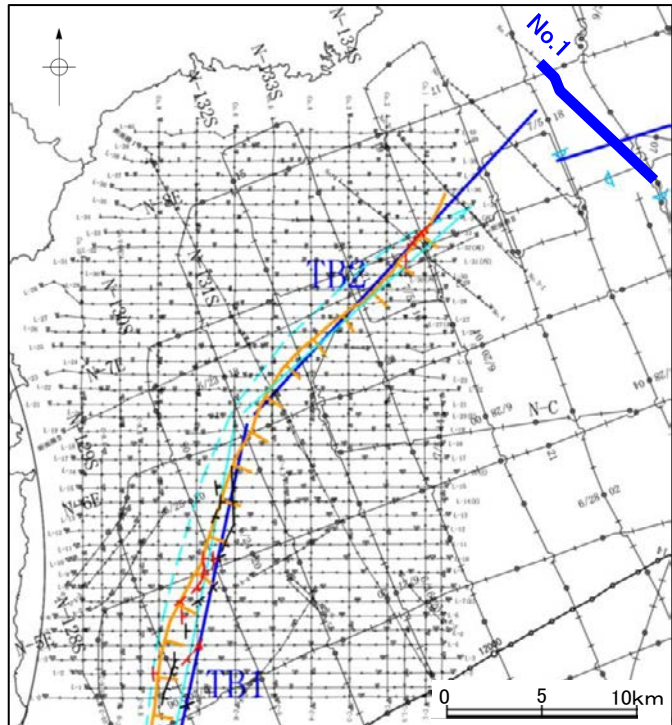
北陸電カスパーカー No.1

←NW

SE→



約1km



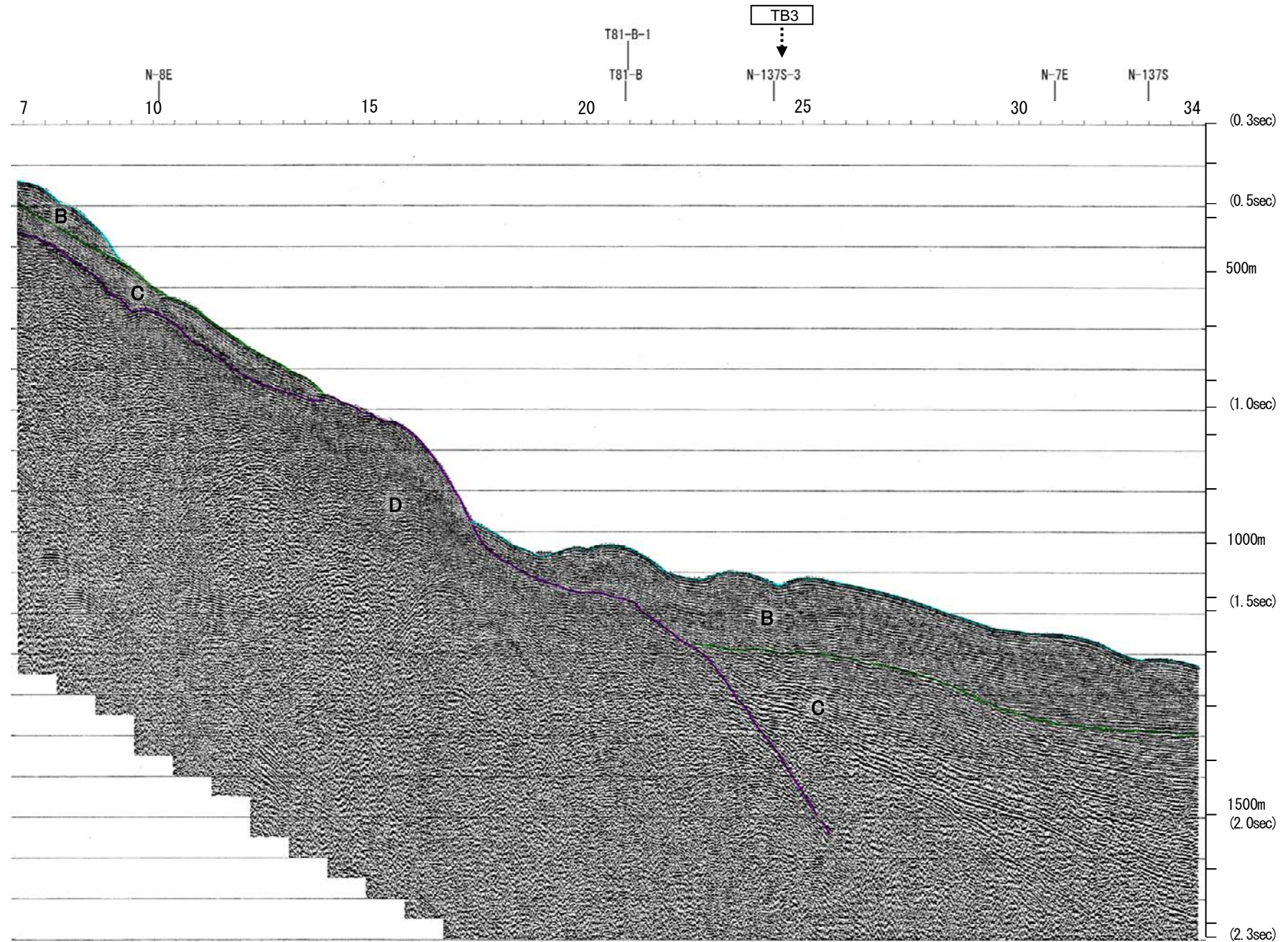
地質時代	地層名	
第四紀	完新世	Q層 B層
	後期	
	中期	C層
	前期	
新第三紀	鮮新世	D層
中新世		
古第三紀		
先第三紀		

1:4

北陸電カスパーカー No.1

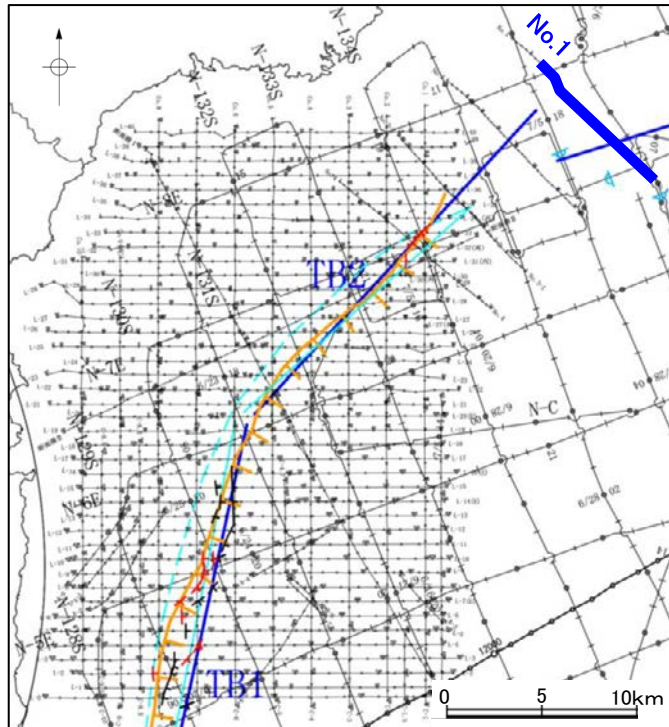
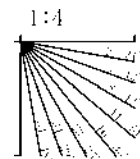
←NW

SE→

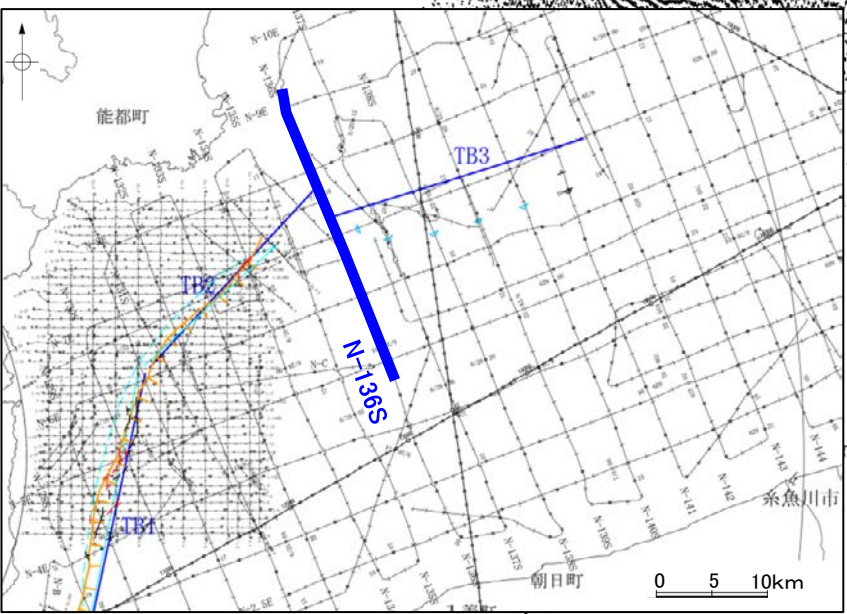
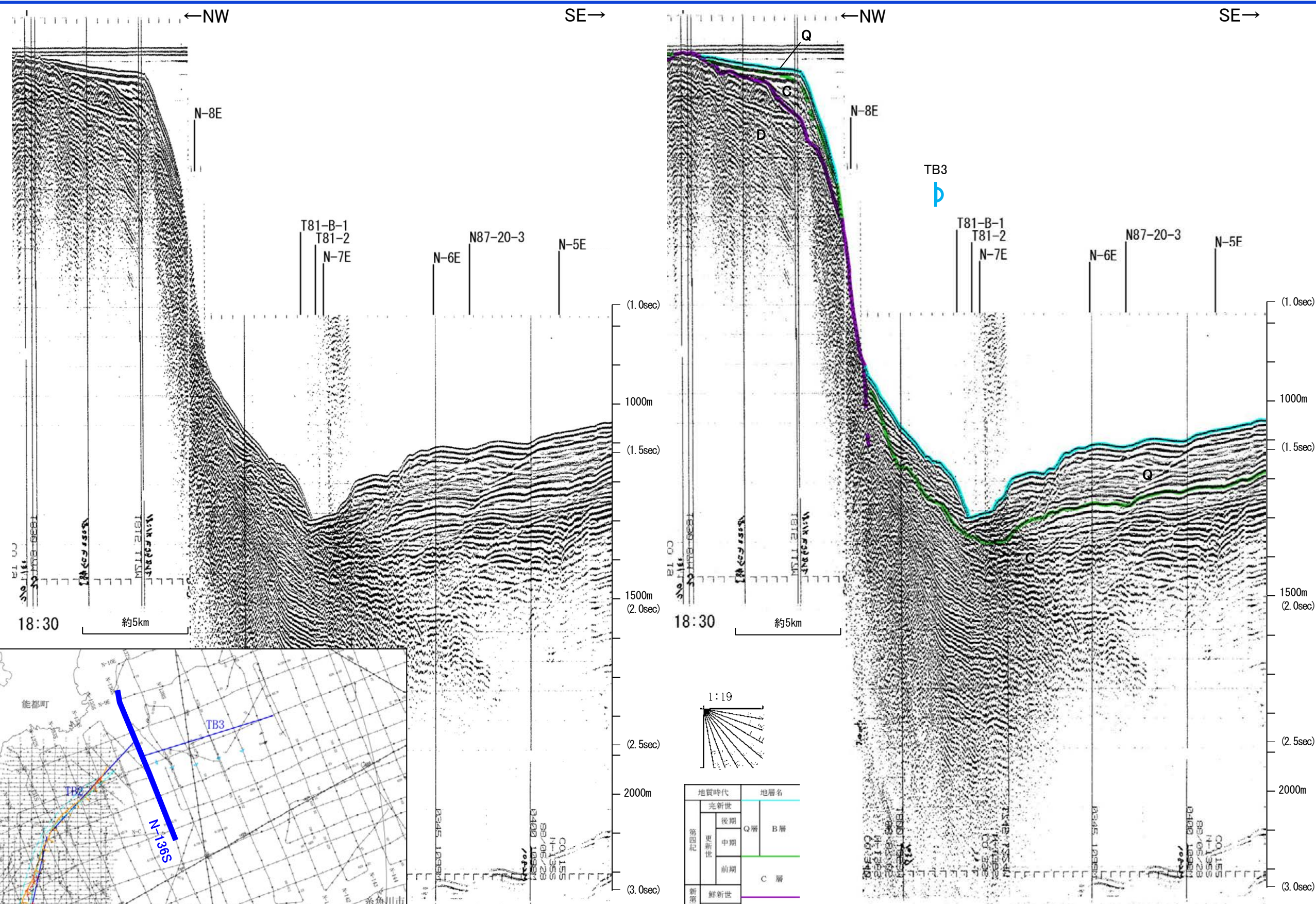


約1km

地質時代	地層名	
第四紀	更新世 後期	Q層 B層
	更新世 中期	
	更新世 前期	C層
新第三紀	鮮新世	D層
新第三紀	中新世	
古第三紀		
先第三紀		



地質調査所エアガン N-136S

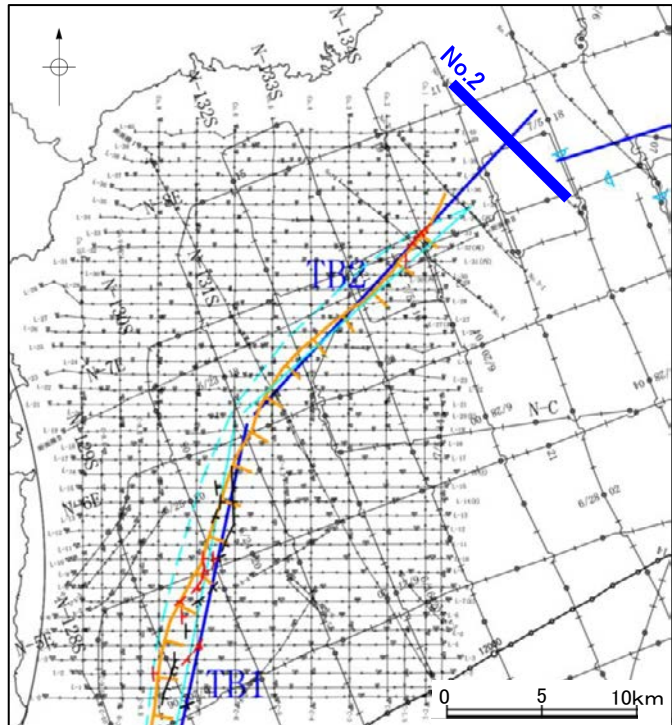
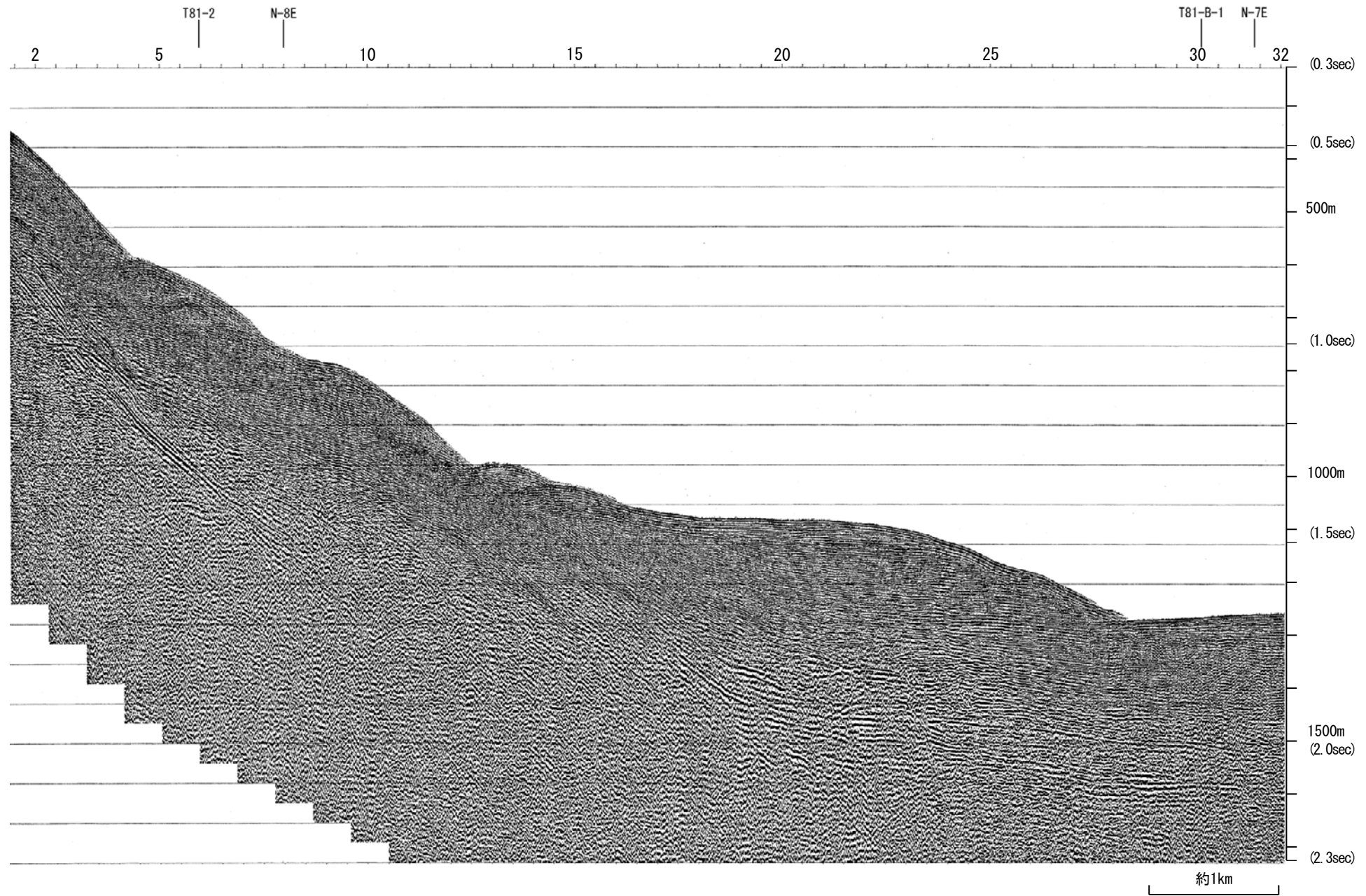


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

北陸電カスパーカー No.2

←NW

SE→



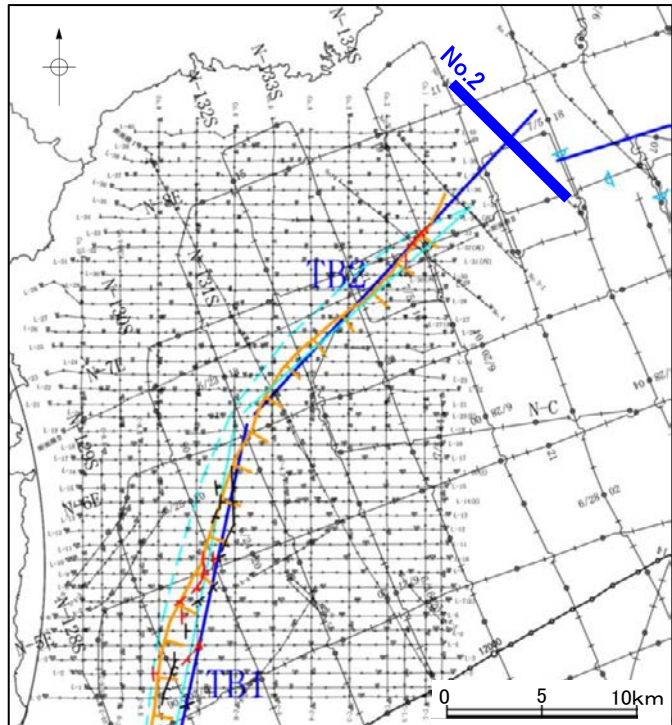
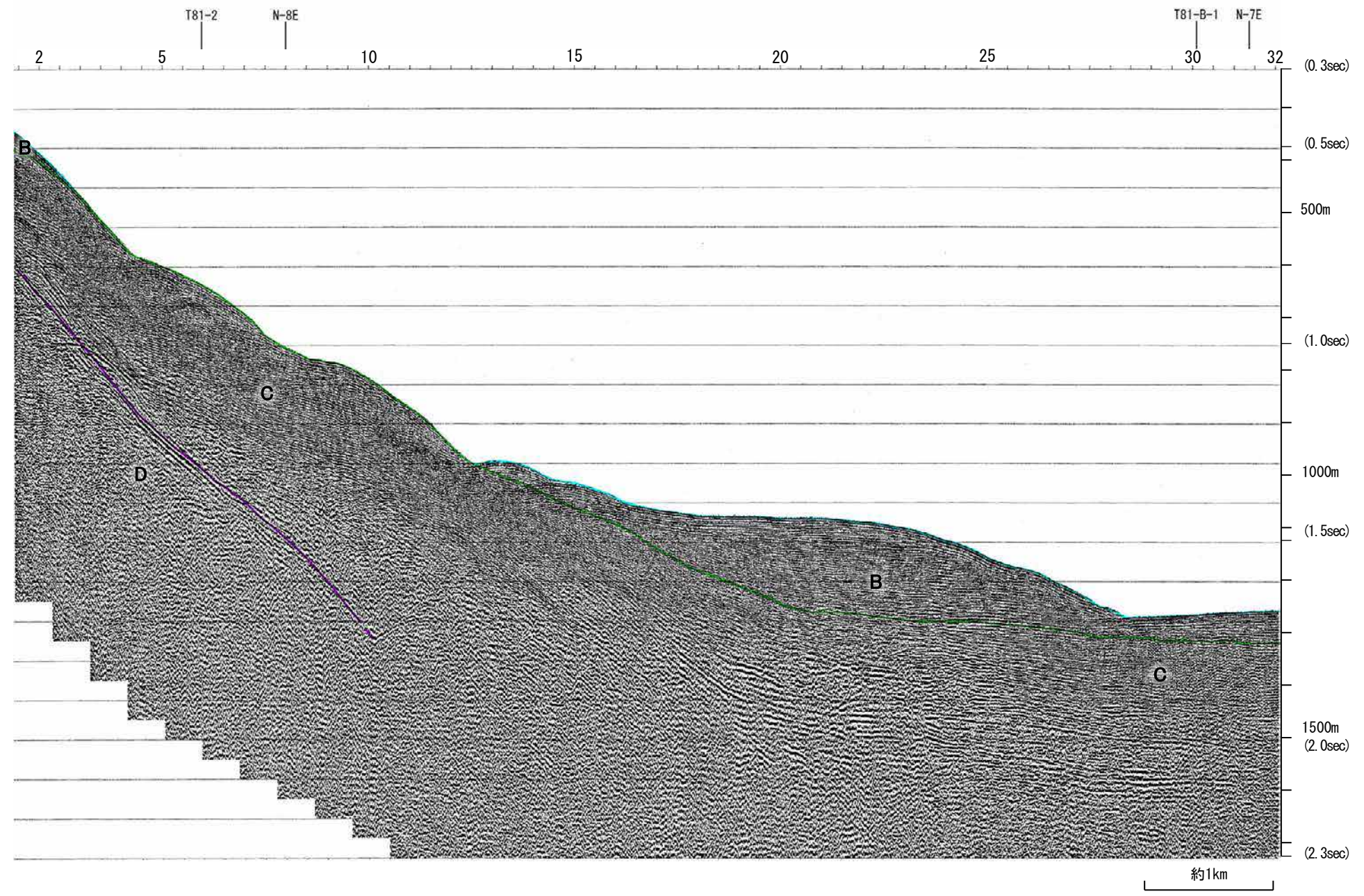
地質時代		地層名	
第四紀	全新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

1:4

北陸電カスパーカー No.2

←NW

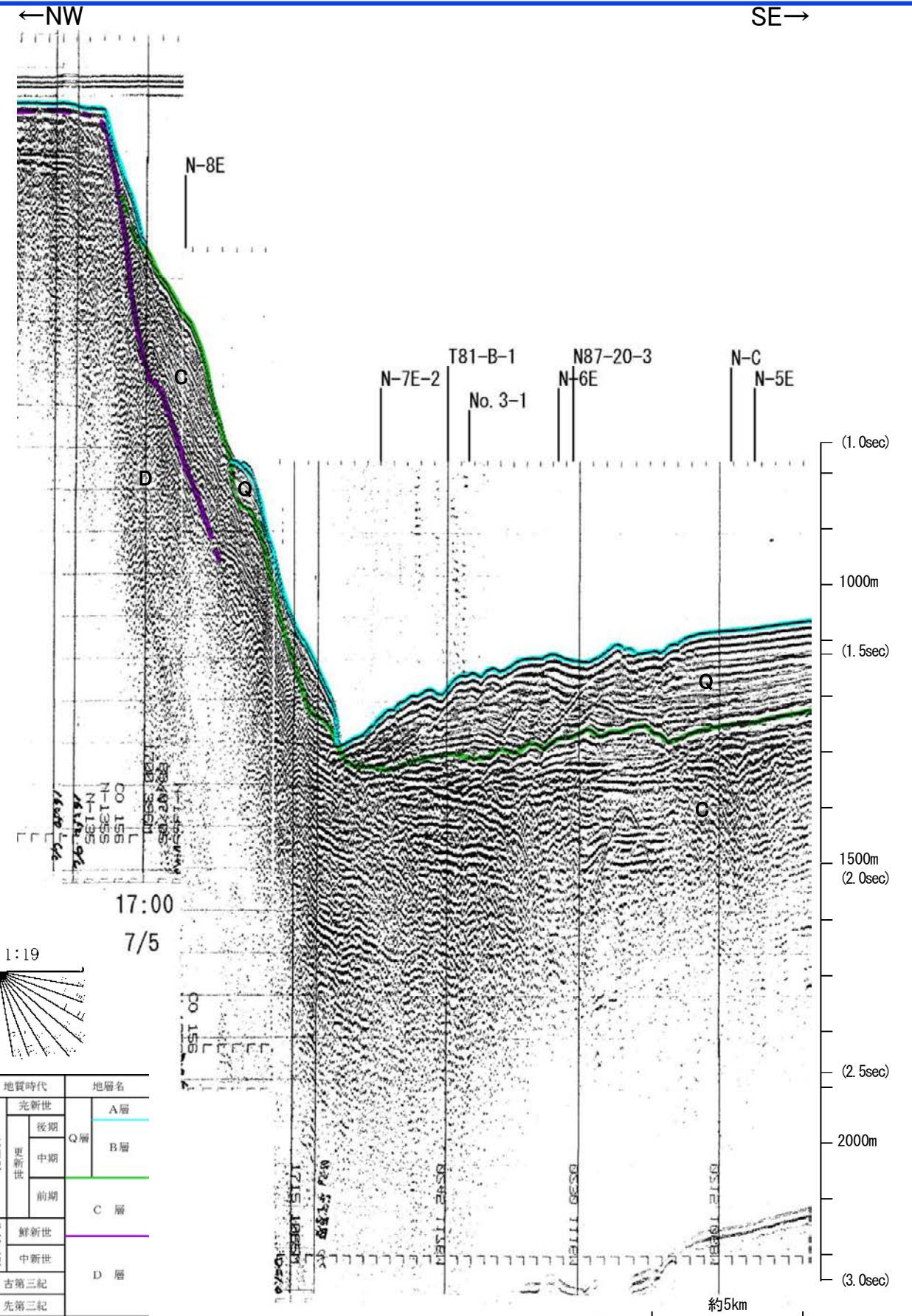
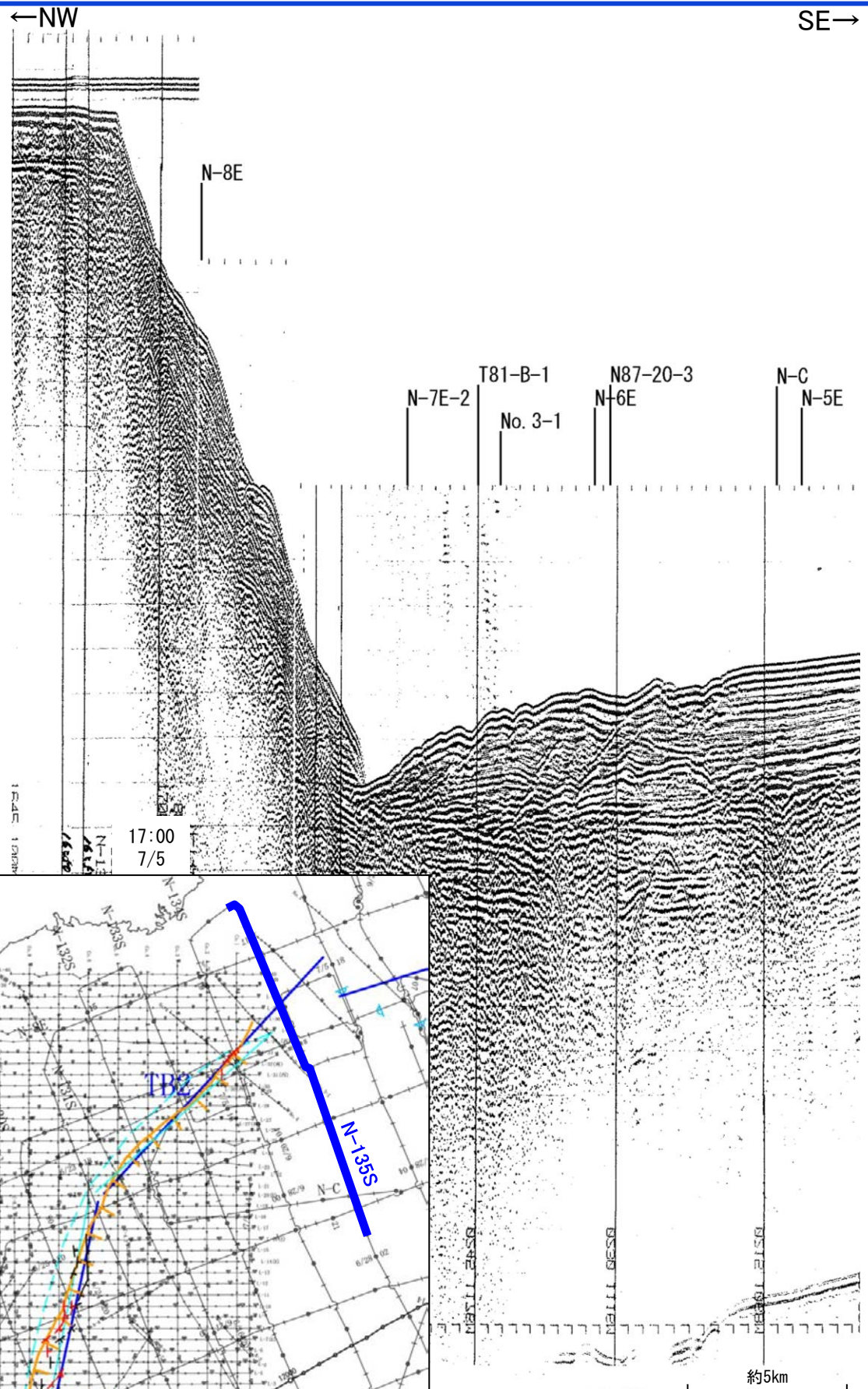
SE→



地質時代		地層名	
第四紀	全新世		
	後期	Q層	B層
	中期		
	前期		C層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		D層
古第三紀			
先第三紀			

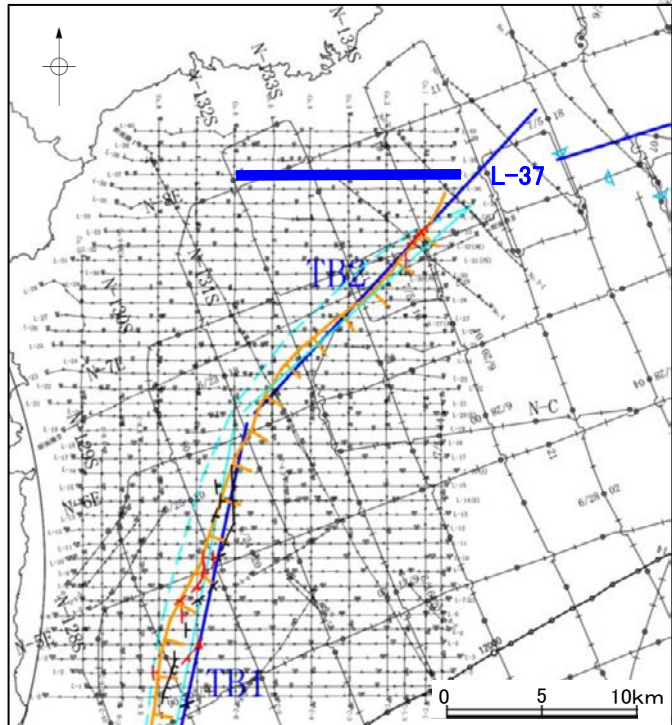
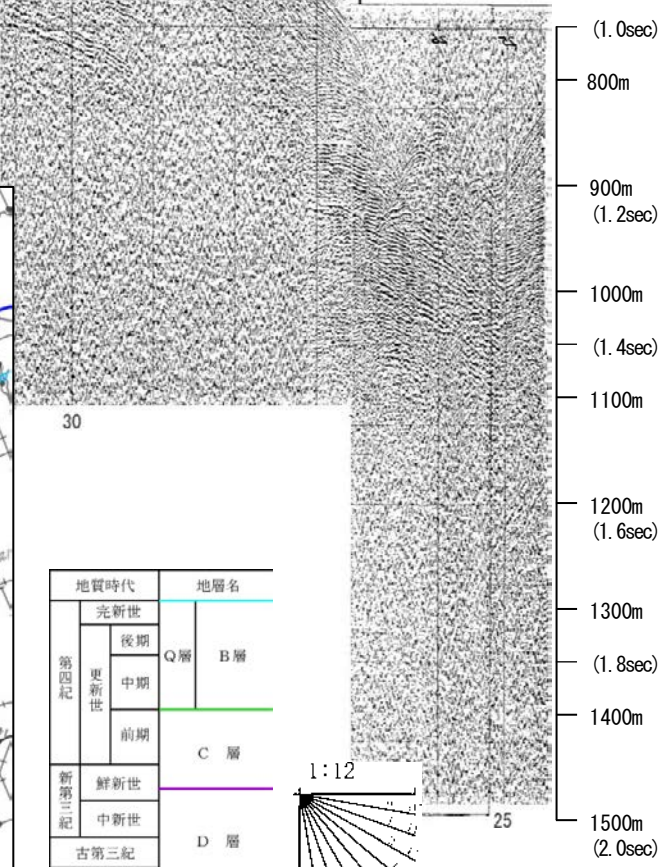
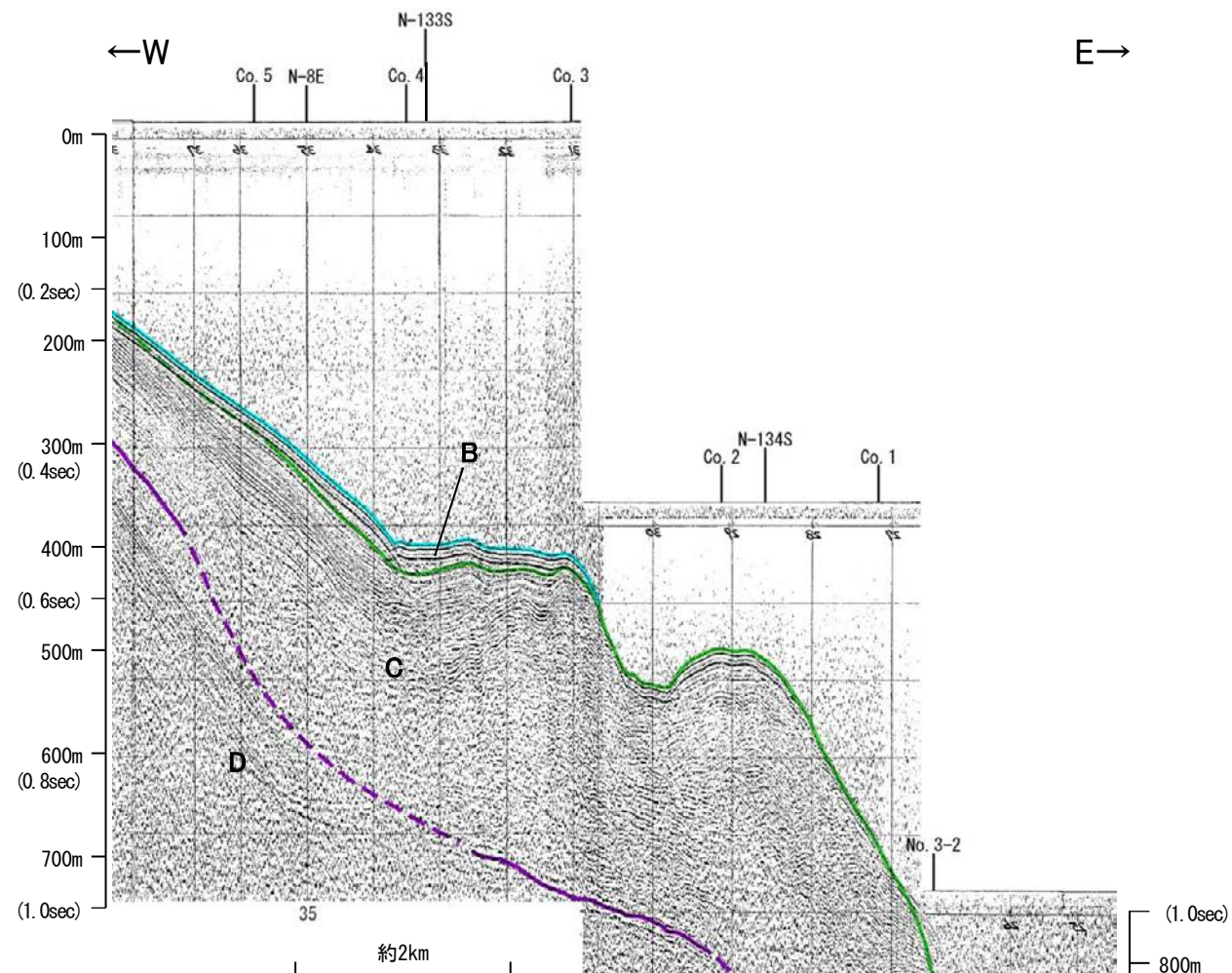
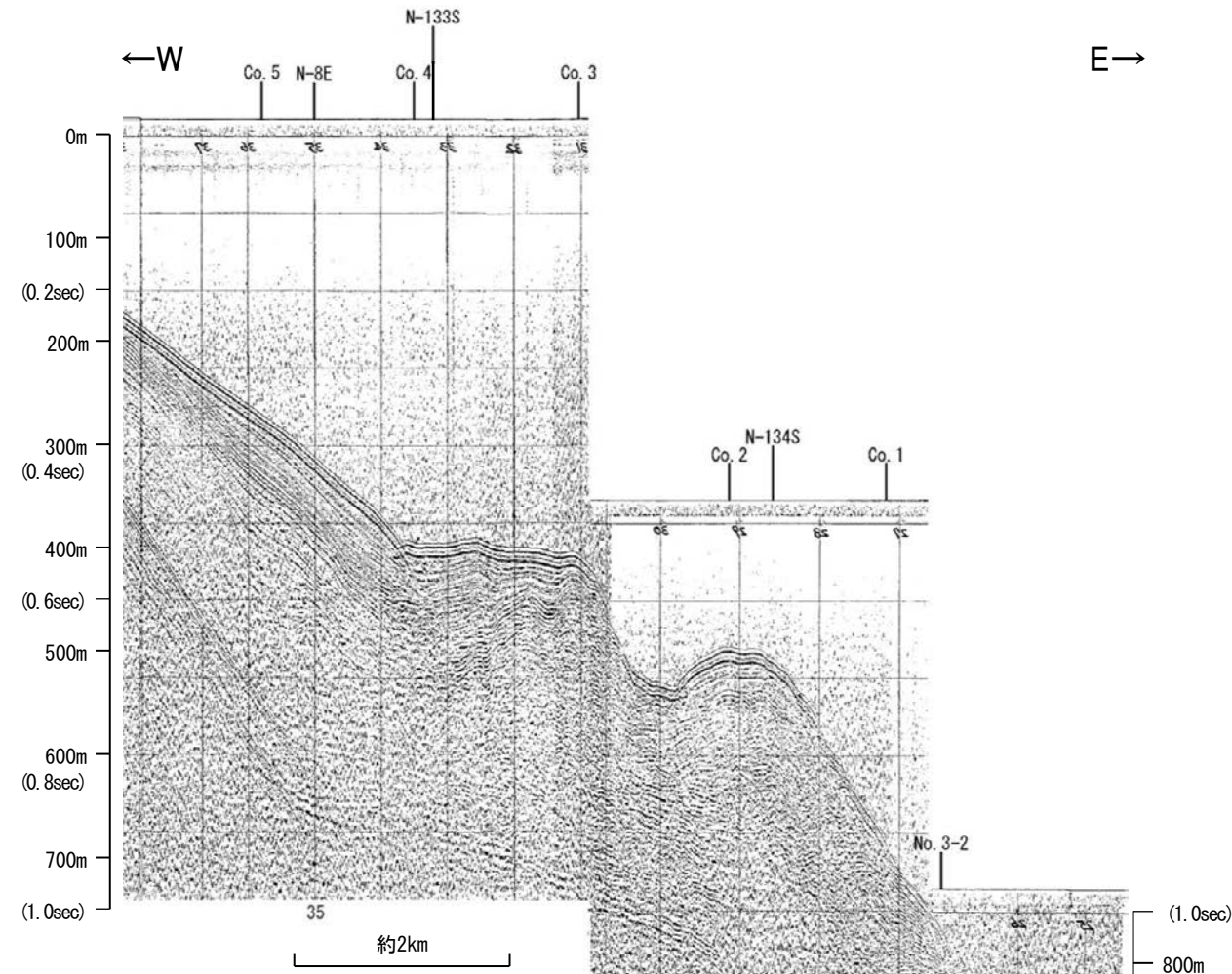
1:4

地質調査所エアガン N-135S

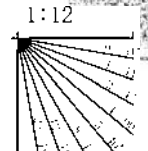


この図面は、地質調査所(現 産業技術総合研究所)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-37

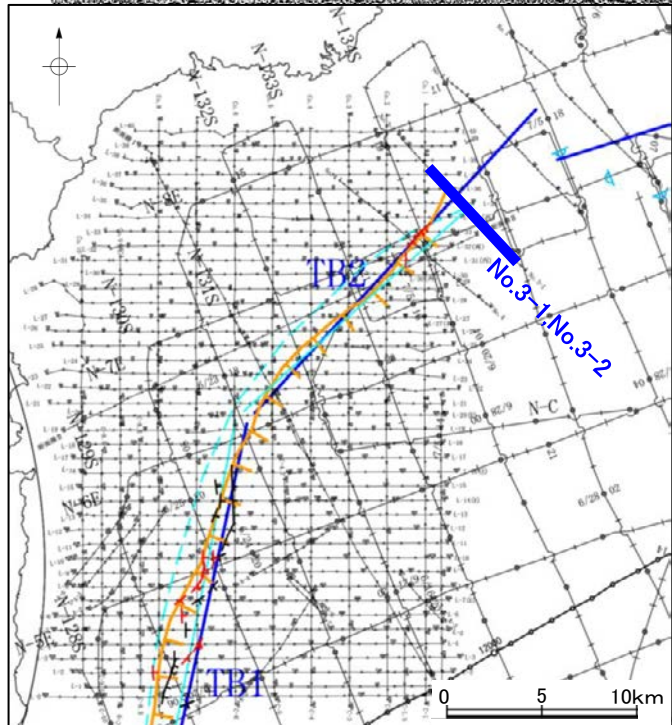
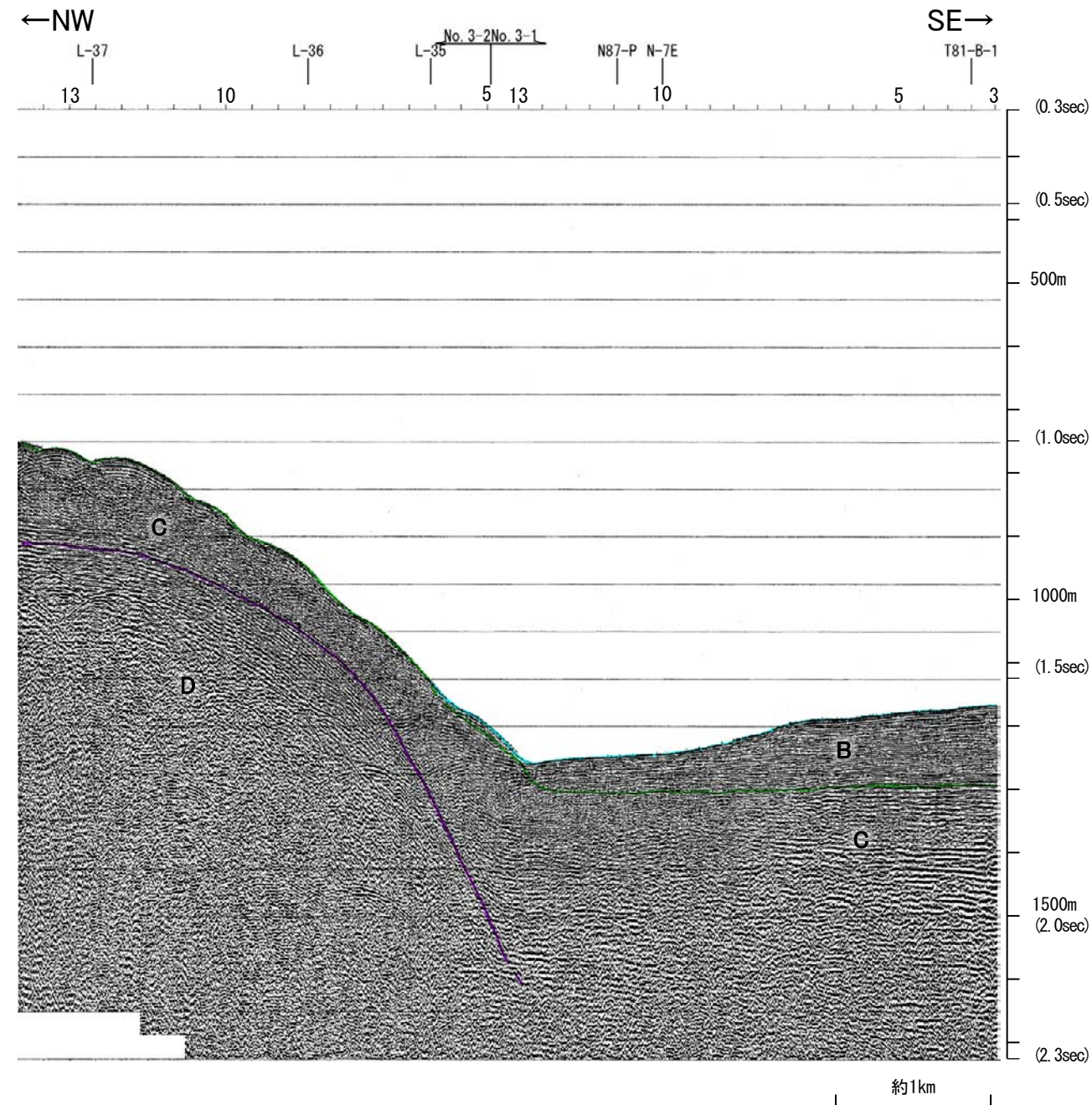
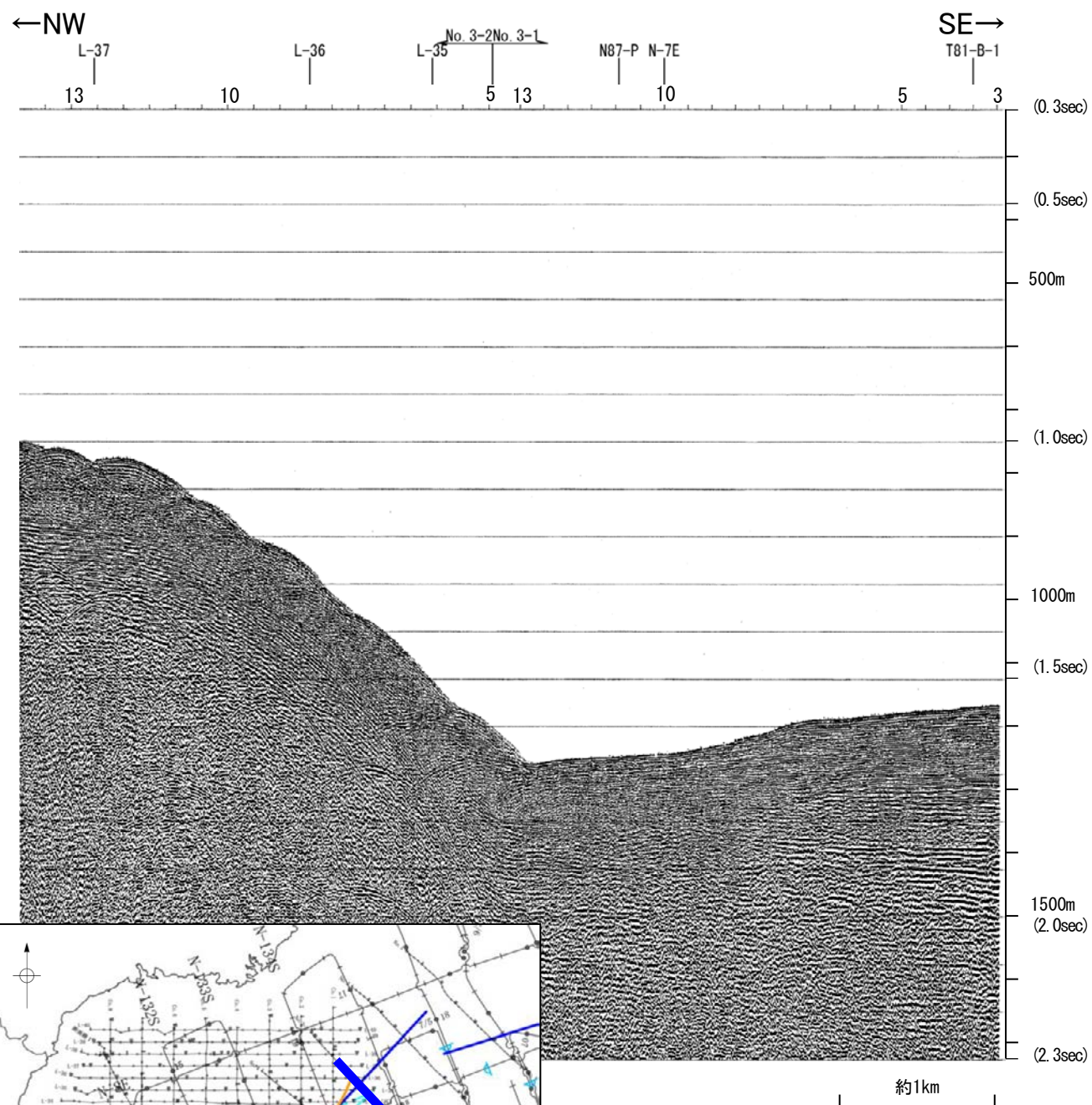


地質時代		地層名	
第四紀	更新世	後期	Q層
	中期		B層
			C層
	前期		D層
新第三紀	鮮新世		
	中新世		
古第三紀			
先第三紀			

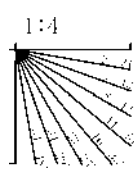


・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

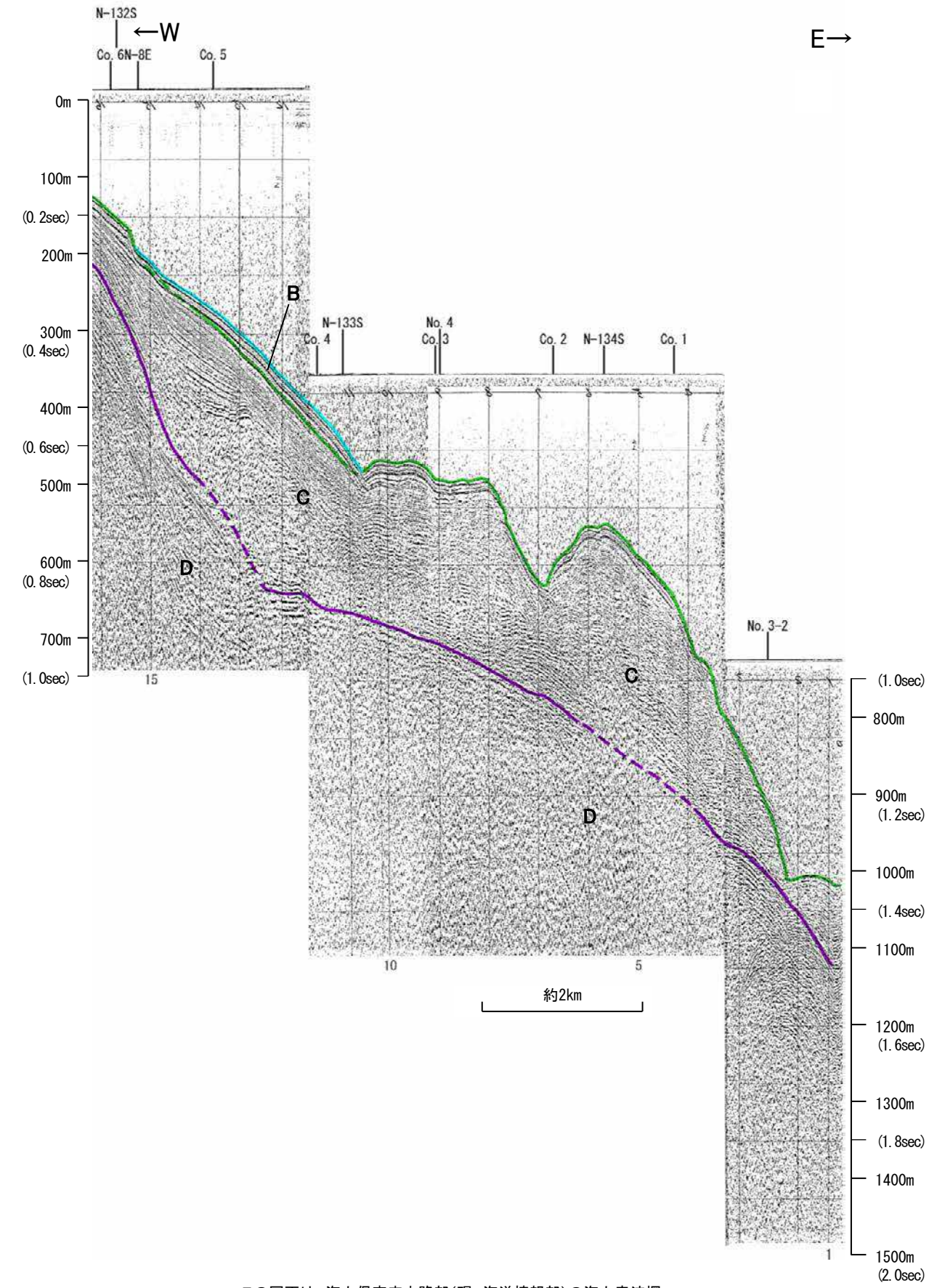
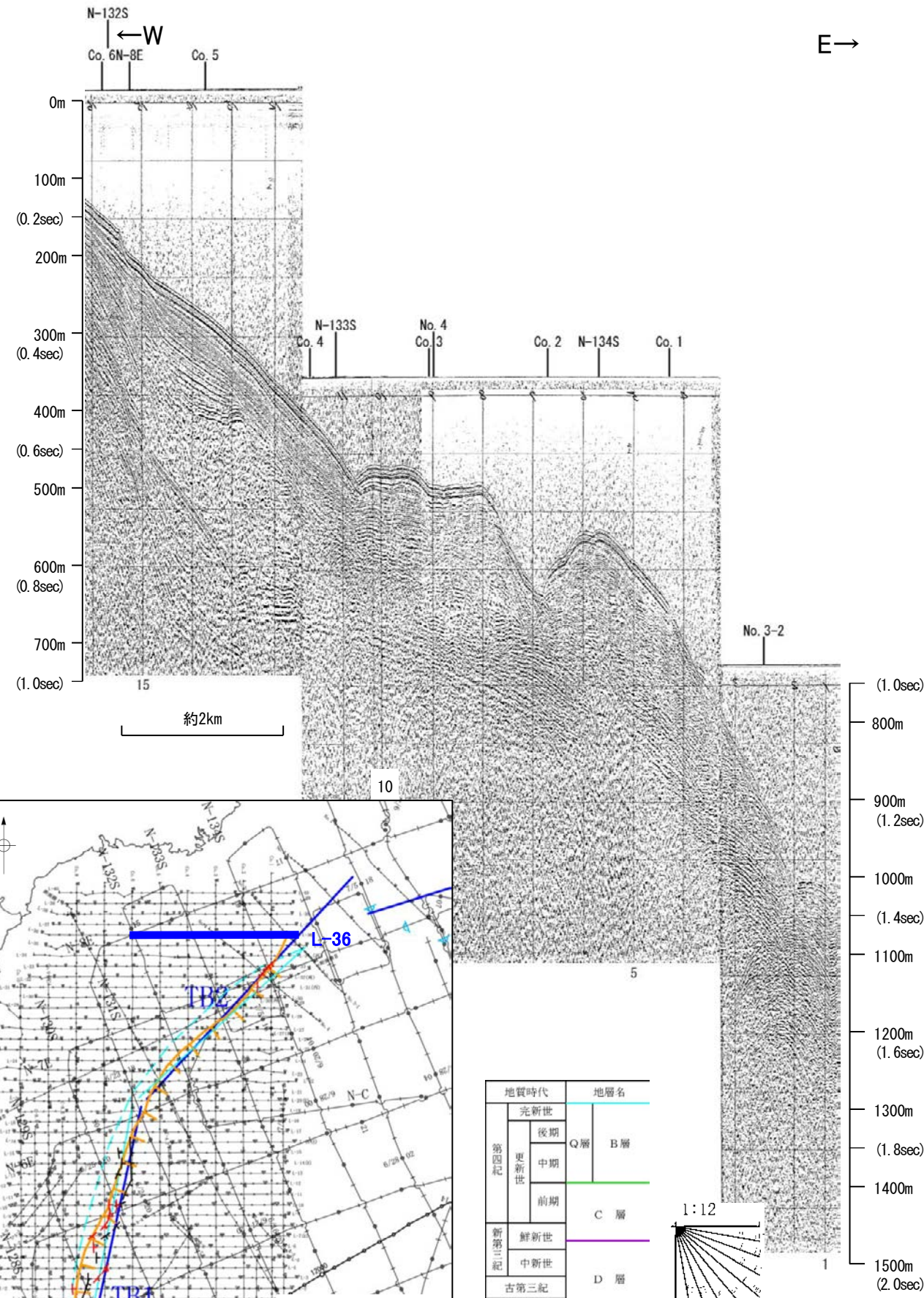
北陸電カスパーカー No.3-1, No.3-2



地質時代	地層名	
第四紀	完新世	
	後期	Q層 B層
	中期	
更新世	前期	C層
新第三紀	鮮新世	
	中新世	D層
古第三紀		
先第三紀		

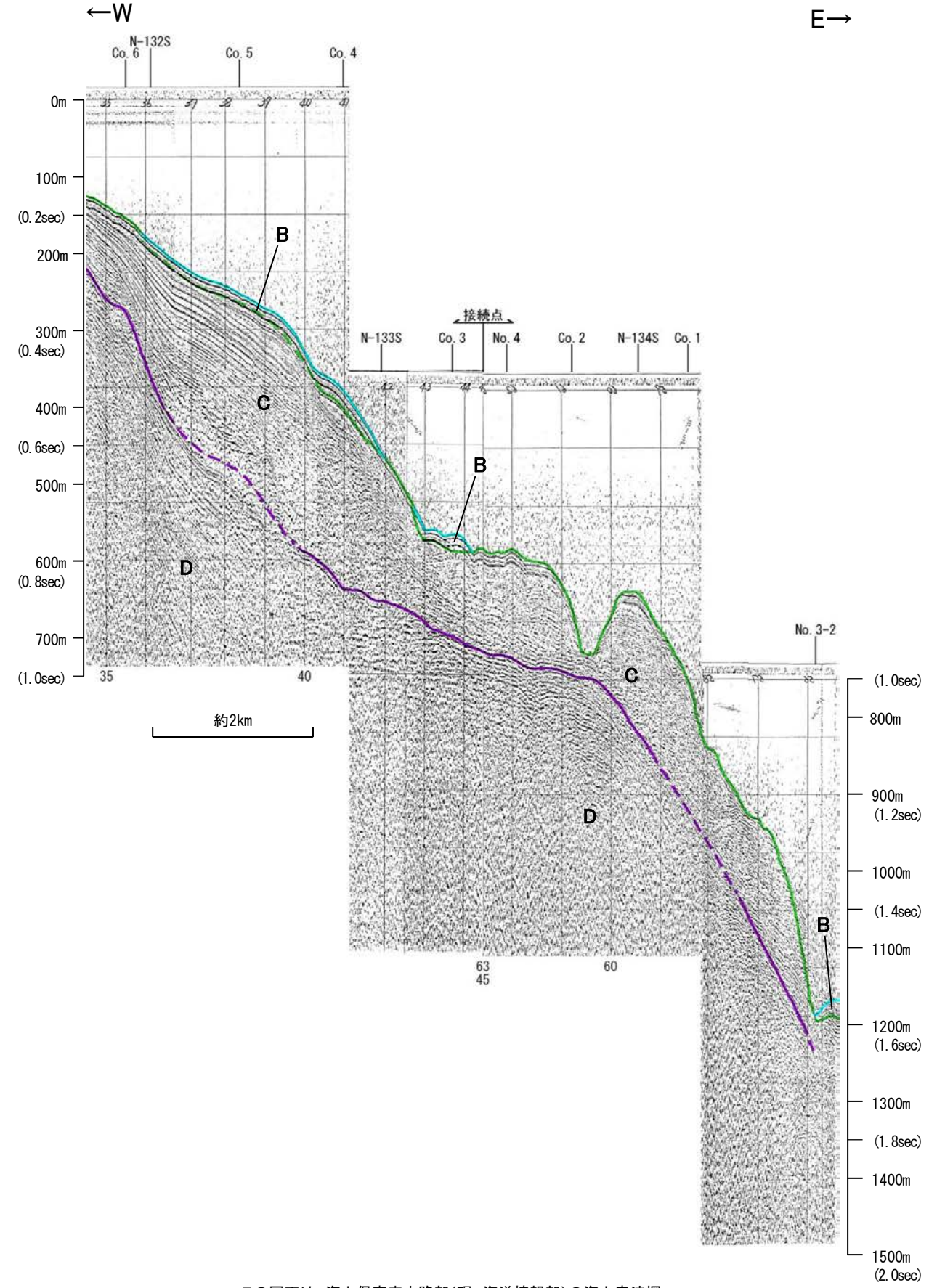
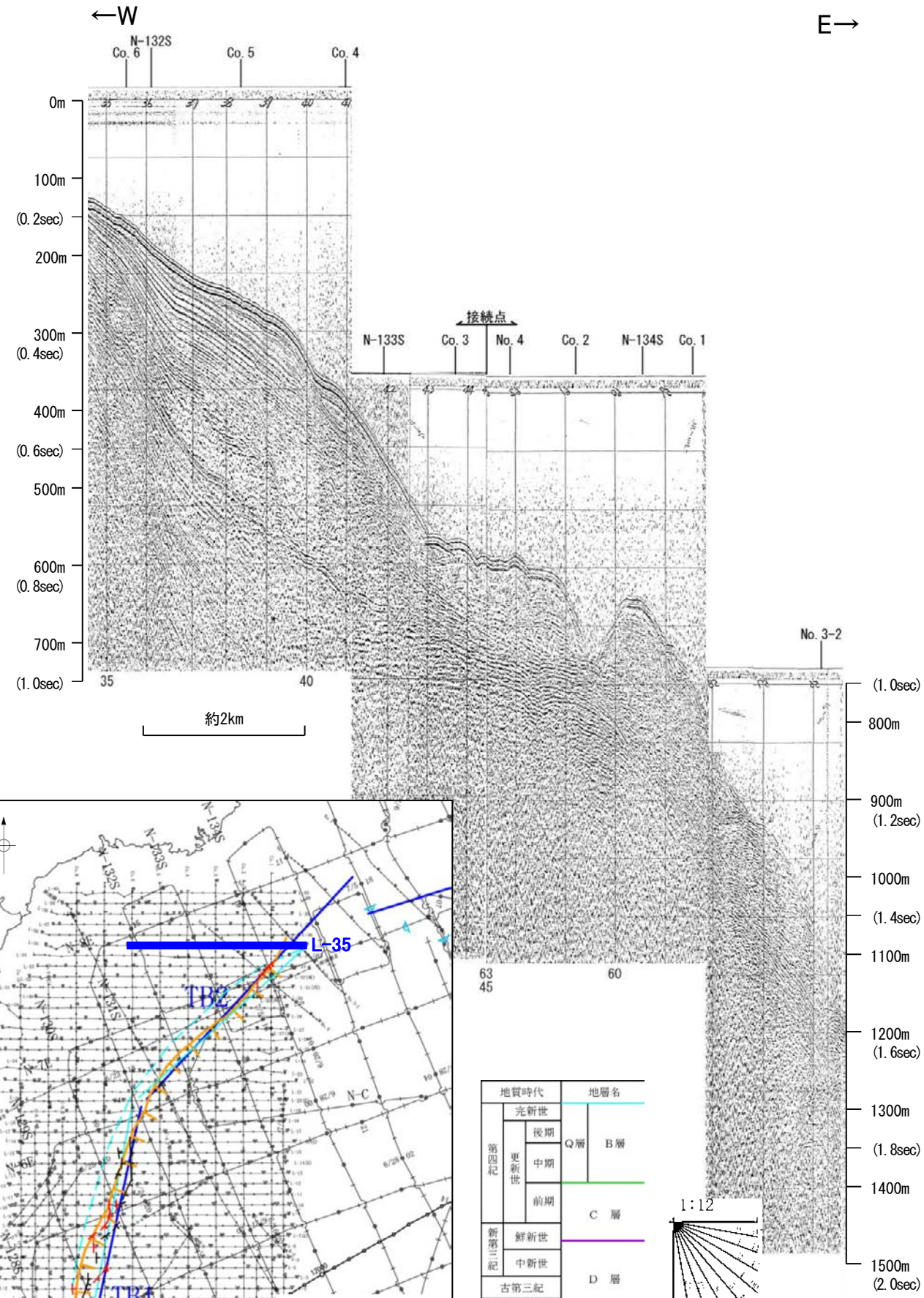


海上保安庁スパーカー L-36



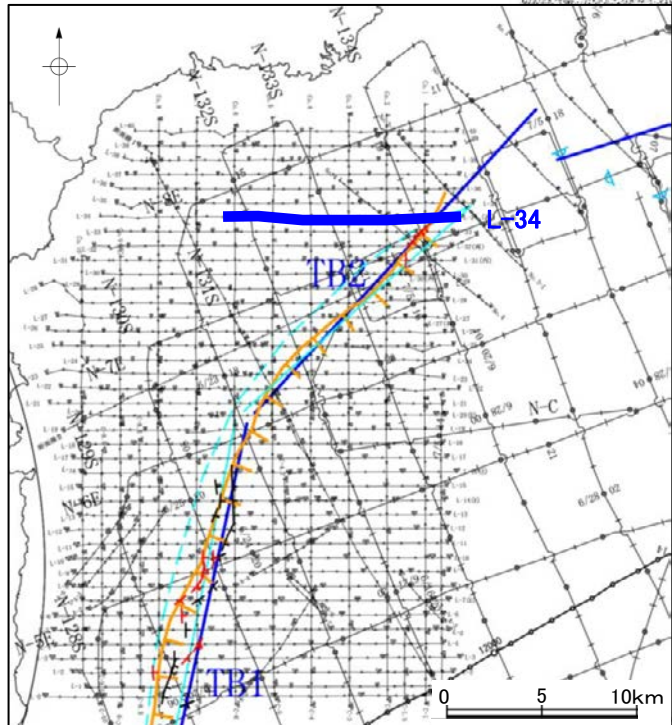
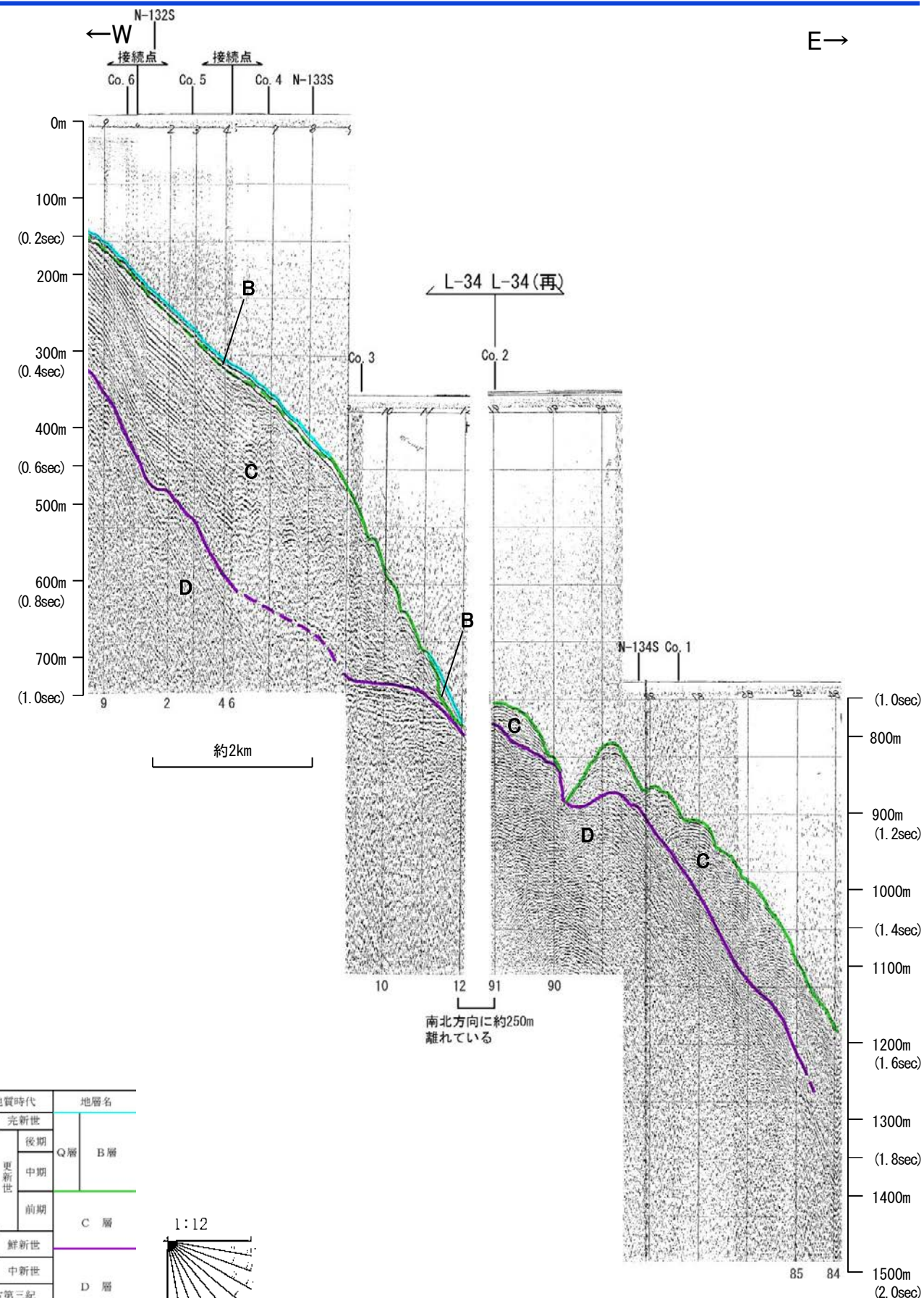
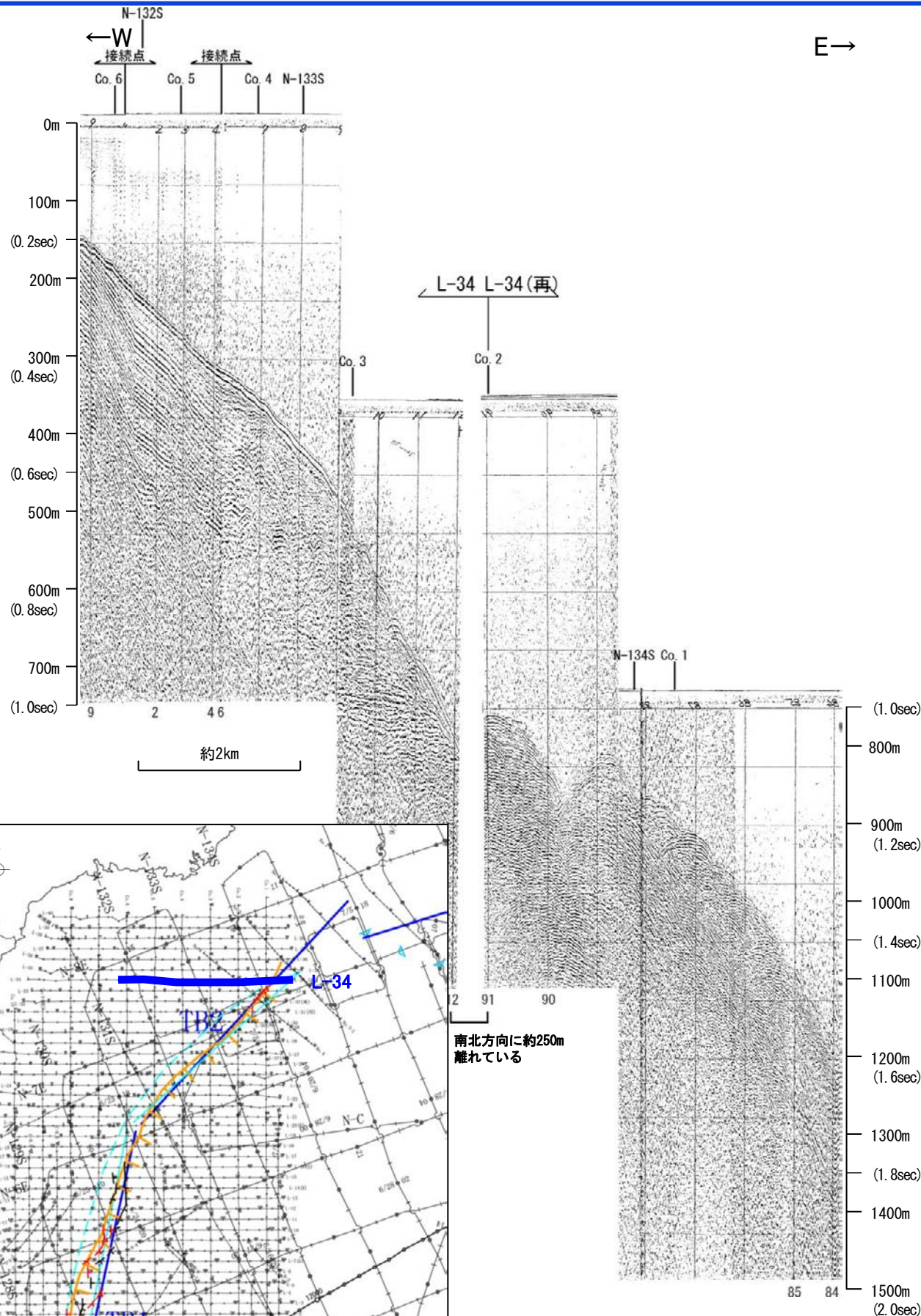
この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-35



この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである

海上保安庁スパーカー L-34



・この図面は、海上保安庁水路部(現、海洋情報部)の海上音波探査の記録を北陸電力が独自に解析・作成したものである